

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の生活の実態や本市での暮らしの課題について幅広く把握し、合志市における今後のまちづくりを進めていくために必要な基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査設計

(1) 調査対象地域

合志市内全域

(2) 調査対象

市内に在住する18歳以上の男女 3,000人

(3) 調査対象者の抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

(4) 回収率

37.2% (回収数1116通)

(5) 調査方法

郵送による配布、回収

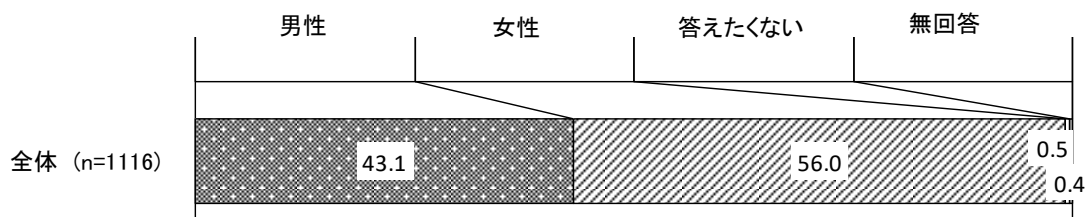
(6) 調査期間

平成31年4月24日～令和元年5月9日

3. 回答者の基本属性

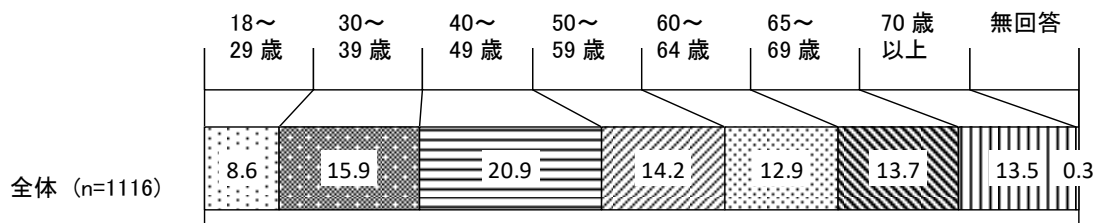
(1) 性別

- 「女性」が半数以上を占め、「男性」は4割と女性が上回っている。



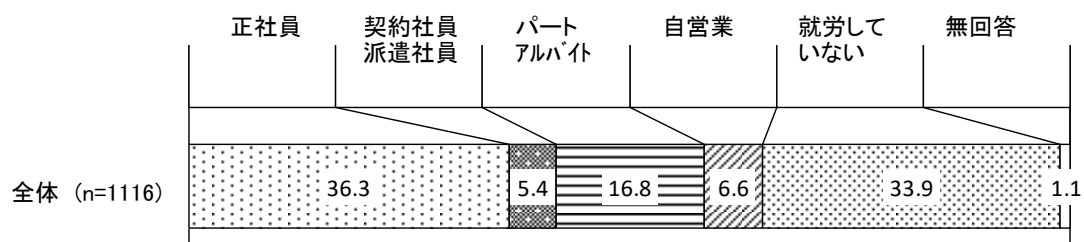
(2) 年齢

- 「40～49歳」が20.9%と最も多く、「30～39歳」が15.9%で続く。平成27年度の国勢調査結果と比較すると20代以下の若い世代と60代、70歳以上の高齢者の割合がやや少ない。



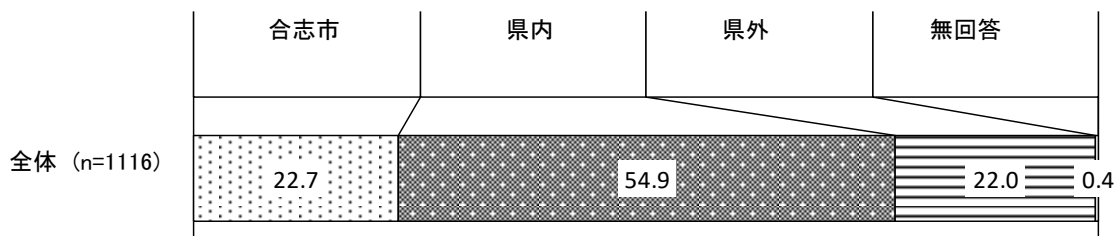
(3) 職業

- 「就労していない」が33.9%と6割強が就労しており、「正社員」が36.3%、「パート、アルバイト」が16.8%となっている。



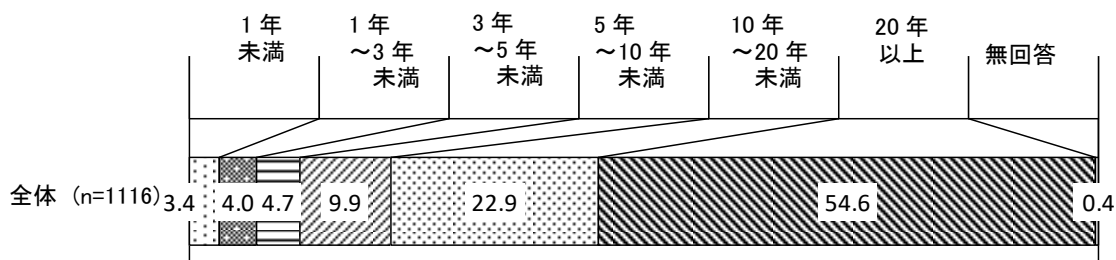
(4) 出身地

●「県内」が半数を占め、「合志市」出身者は2割である。



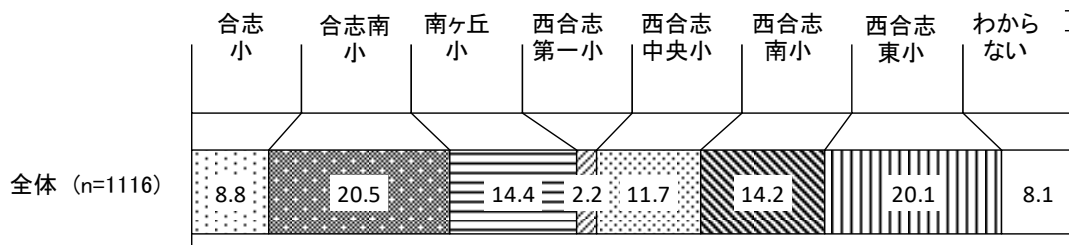
(5) 居住年数

●「20年以上」が54.6%と半数を占めている。



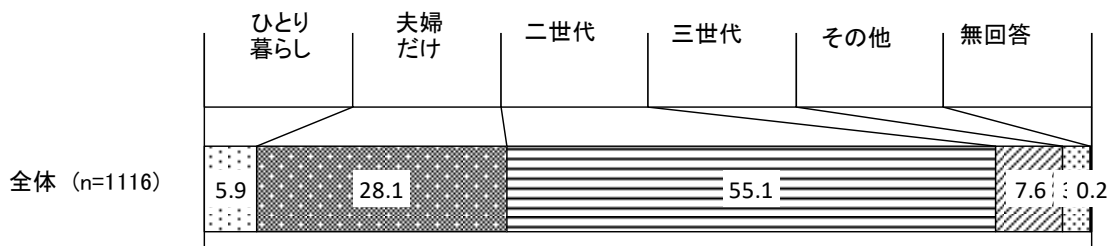
(6) 校区

●「合志南小」(20.5%)、「西合志東小」(20.1%)が2割、「南ヶ丘小」(14.4%)、「西合志南小」(14.2%)が15%弱である。なお西合志第一小は2.2%と少ないため、数値を見る際に注意が必要である。



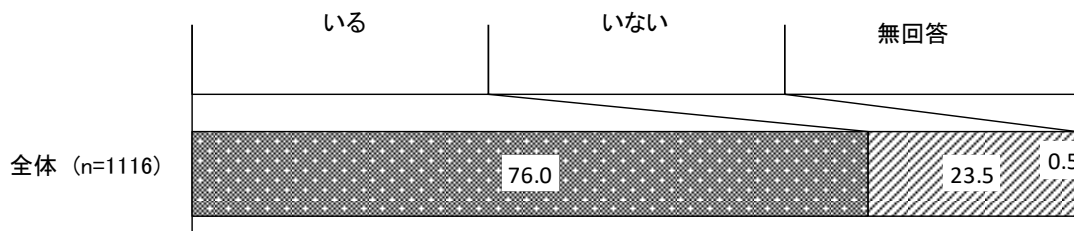
(7) 家族構成

- 「二世代世帯（親と子）」が55.1%と半数以上を占め、「夫婦だけの世帯」が28.1%と続く。ひとり暮らし世帯は5.9%と少ない。



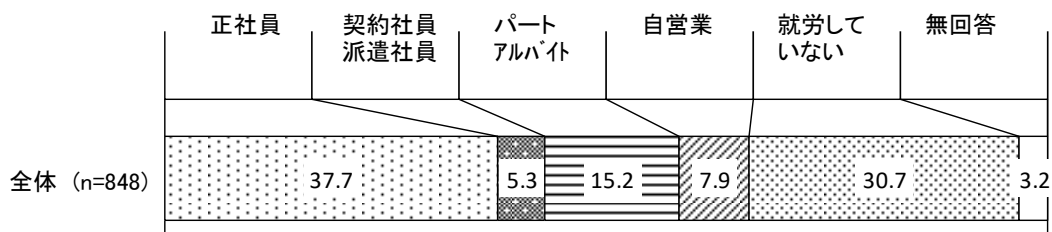
(8) 配偶者有無

- 「配偶者がいる」は76.0%と3分の2を占める。



(9) 配偶者の職業

- 配偶者が「就労していない」のは3割となっている。「正社員」が37.7%と最も多く、「パート、アルバイト」が15.2%で続く。



<今回と前回の基本属性の比較>

- 前回は国勢調査結果と比較して、65歳以上の高齢者の割合が4.9%と極端に低く、若い年齢層の回答者が多かったため、就労者が多く、二世帯世帯の割合が高いという特徴が見られたため、今回と比較する際には注意が必要である。

		平成31年度調査 n=1116	平成30年度調査 n=934	平成29年度調査 n=1135
性別	男	43.1	40.8	43.5
	女	56.0	58.0	55.8
	答えたくない	0.5	0.7	0.4
	無回答	0.4	0.4	0.3
年齢	18～29歳	8.6	10.4	8.7
	30～39歳	15.9	22.1	13.9
	40～49歳	20.9	24.0	16.7
	50～59歳	14.2	20.6	12.6
	60～64歳	12.9	17.9	9.4
	65～69歳	13.7	4.4	14.0
	70歳以上	13.5	0.5	24.3
	無回答	0.3	0.2	0.3
自身の職業	正社員	36.3	42.9	30.7
	契約・派遣社員	5.4	5.9	5.2
	パート・アルバイト	16.8	19.0	13.5
	自営業	6.6	8.1	8.3
	就労していない	33.9	22.3	39.4
	無回答	1.1	1.8	2.9
出身地	合志市	22.7	24.3	20.9
	県内	54.9	53.6	54.7
	県外	22.0	21.3	23.7
	無回答	0.4	0.7	0.7
居住年数	1年未満	3.4	4.9	3.2
	1～3年未満	4.0	7.5	6.1
	3～5年未満	4.7	6.5	4.4
	5～10年未満	9.9	13.1	8.5
	10～20年未満	22.9	20.4	20.1
	20年以上	54.6	47.3	57.4
	無回答	0.4	0.2	0.4
校区	合志小	8.8	8.4	8.0
	合志南小	20.5	20.4	22.5
	南ヶ丘小	14.4	12.3	13.6
	西合志第一小	2.2	2.0	2.3
	西合志中央小	11.7	11.3	10.5
	西合志南小	14.2	15.2	14.9
	西合志東小	20.1	21.1	17.9
	わからない	8.1	9.2	10.4
家族構成	ひとり暮らし	5.9	4.0	6.3
	夫婦だけ	28.1	21.5	27.3
	二世帯	55.1	62.2	50.5
	三世帯	7.6	8.4	10.7
	その他	3.0	3.5	3.9
	無回答	0.2	0.4	1.3
配偶者	いる	76.0	77.6	75.3
	いない	23.5	22.1	23.7
	無回答	0.5	0.3	1.0
配偶者の職業	正社員	37.7	42.9	32.6
	契約・派遣社員	5.3	5.9	2.8
	パート・アルバイト	15.2	19.0	12.2
	自営業	7.9	8.1	8.7
	就労していない	30.7	22.3	39.1
	無回答	3.2	1.8	4.7

II 調查結果

◆日常生活について

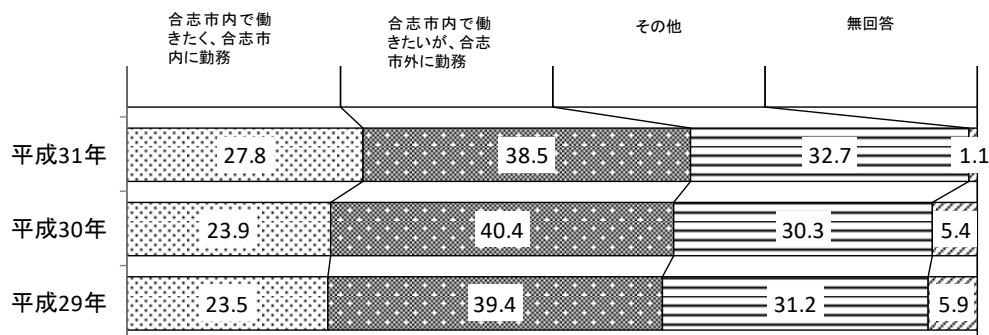
1. 職場について

(1) 働く場所（問10）

あなたは、合志市内で働きたいと思いますか。また合志市内で勤務していますか。

自営業以外で働いている652人について、合志市内での就労意向と実際の勤務状況を見たところ、合志市内で働きたいと思っている人は66.3%と6割以上を占めている。しかしながら実際に市内に勤務している人は、全体の27.8%にとどまり、市内で働きたいと思っている人の半数以下である。

昨年度と比較しても大きな変化はないが、合志市内で働きたいと思っており、市内に勤務している人は微増している。

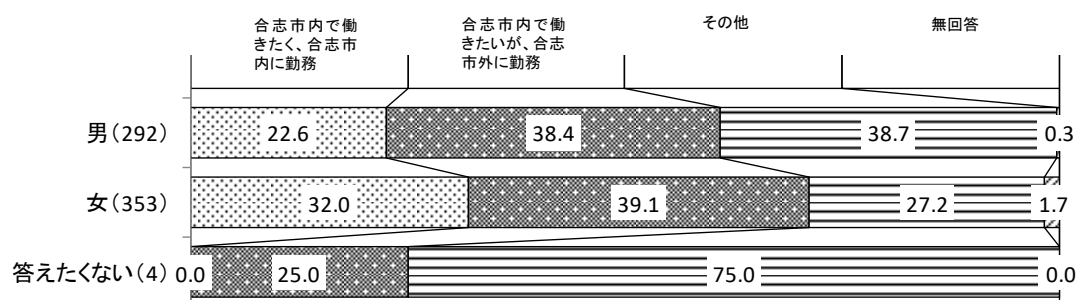


※前回までは今回の選択肢に加え「合志市内で働きたいと思っていないが、合志市内に勤務している」「合志市内で働きたいとは思ってはおらず、合志市外に勤務している」があったが、比較するためにこれらを「その他」としてまとめた。

	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 合志市内で働きたいと思っており、合志市内に勤務している	181	27.8	151	23.9	132	23.5
2 合志市内で働きたいとは思っているが、合志市外に勤務している	251	38.5	256	40.4	221	39.4
3 その他	213	32.7	192	30.3	175	31.2
4 無回答	7	1.1	34	5.4	33	5.9
合計	652	100.0	633	100.0	561	100.0

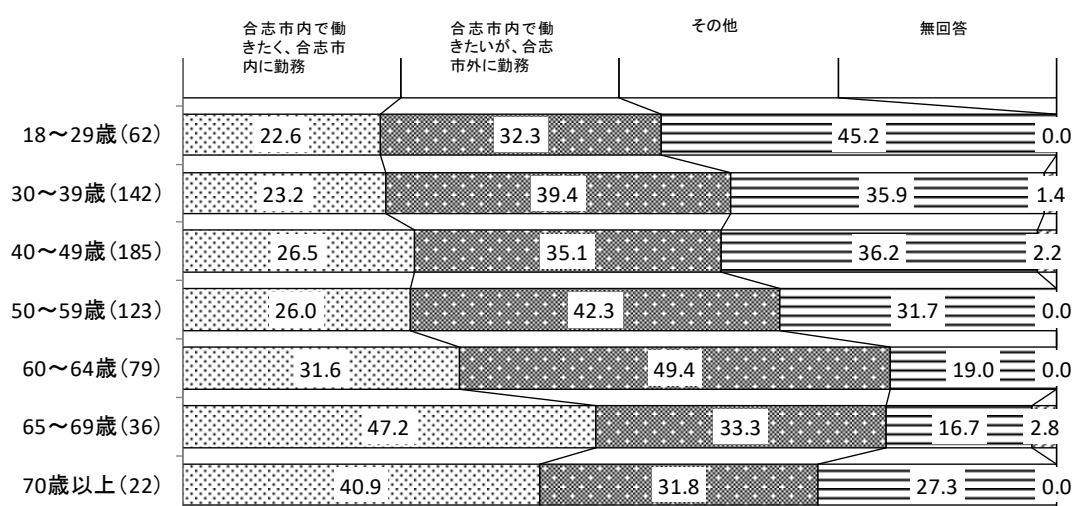
【性別】

- 合志市内で働きたいと思っている人は、男性 61.0%に対し、女性 71.1%と女性の方が高い。
- また実際に合志市内で勤務している割合も男性 22.6%、女性 32.0%と女性の方が高い。
- 合志市内で働きたいが市外に勤務している割合は4割弱と男女でほとんど差がない。
- 前回調査と大きな違いは見られないものの、男性では市内で働きたく、市内で勤務している割合がやや増えている。



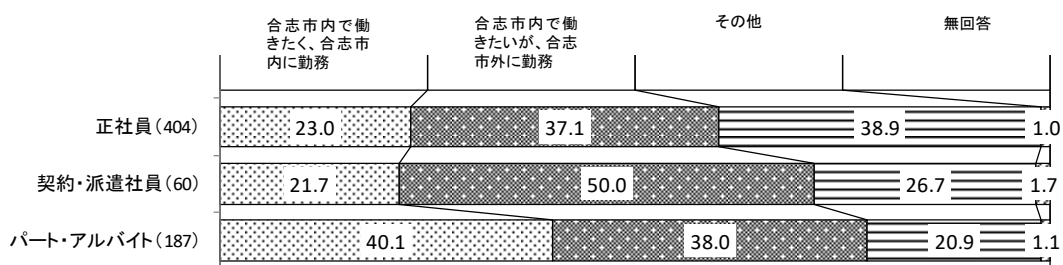
【年齢】

- いずれの年齢においても半数以上が合志市内で働きたいと思っており、30代以上では6割を超えている。
- 特に60歳以上の高齢者では市内で働きたいという人は8割以上を占め、実際に市内で働いている人も3割を超えている。



【職業】

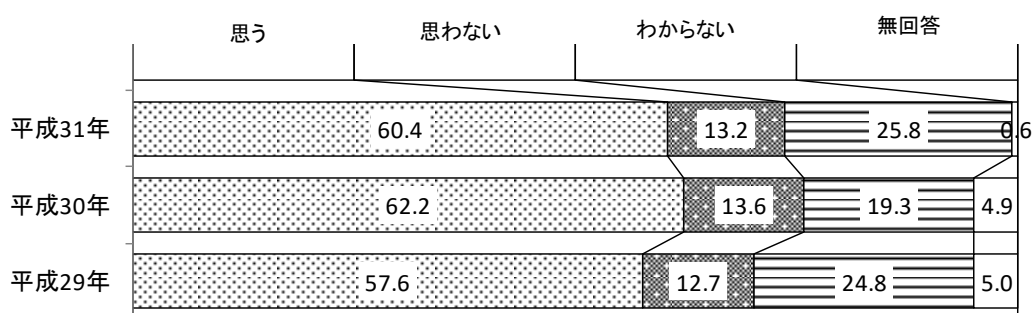
- 合志市内で働きたいと思っている割合は、正社員 60.1%、契約・派遣社員 71.7%、パート・アルバイト 78.1%となっており、非正規雇用で働いている人の方が市内で働きたいという意向を持つ人は多い傾向が見られる。
- 実際に合志市内に勤務している割合は、パート・アルバイトが 40.1%と最も高く、正社員 23.0%、契約・派遣社員 21.7%である。
- 契約・派遣社員の半数は、市内で働きたいが市外に勤務している状況となっている。



(2) 継続勤務意向 (問 1 1)

あなたは、今の職場で今後も継続して働きたいと思いますか？

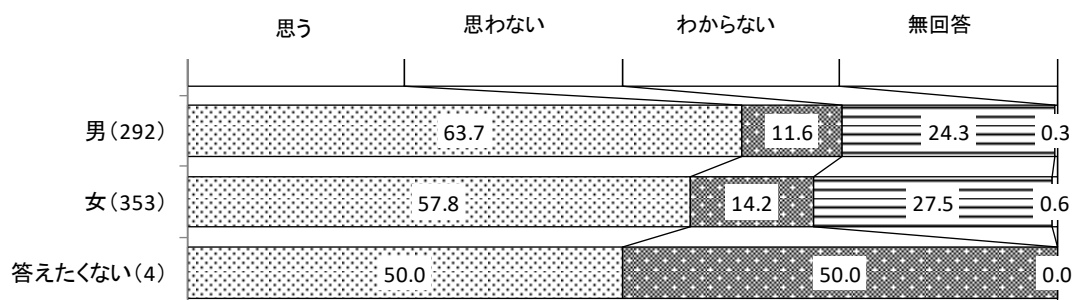
今後も今の職場で働きたいと思っている人は60.4%と6割を占めている。働きたいと思わない人は13.2%で、わからないが25.8%となっている。
昨年度と比較しても大きな違いはない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 思う	394	60.4	394	62.2	323	57.6
2 思わない	86	13.2	86	13.6	71	12.7
3 わからない	168	25.8	122	19.3	139	24.8
4 無回答	4	0.6	31	4.9	28	5.0
合計	652	100.0	633	100.0	561	100.0

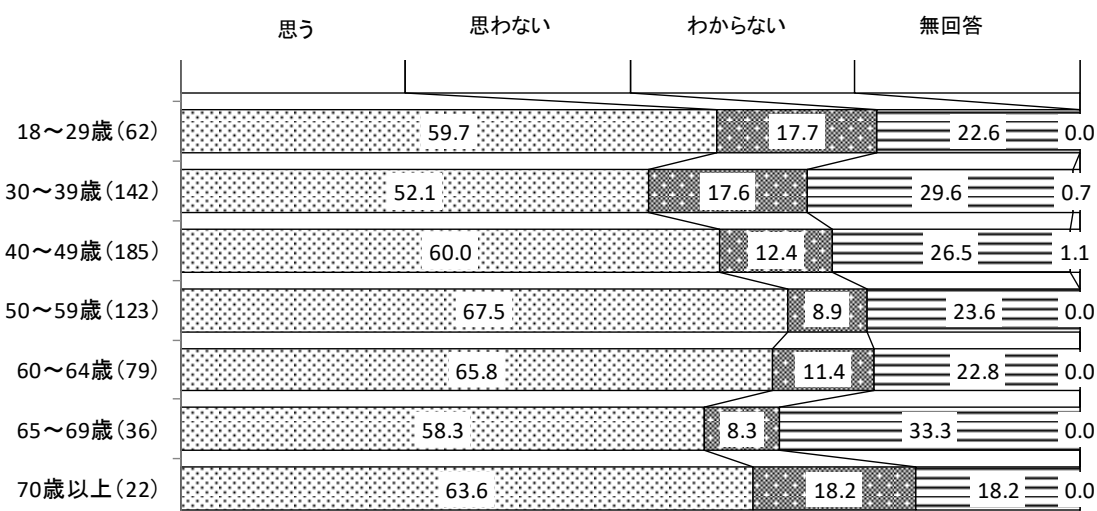
【性別】

- 男性では今後も今の職場で継続して働きたいという割合が63.7%と女性の57.8%をやや上回っている。



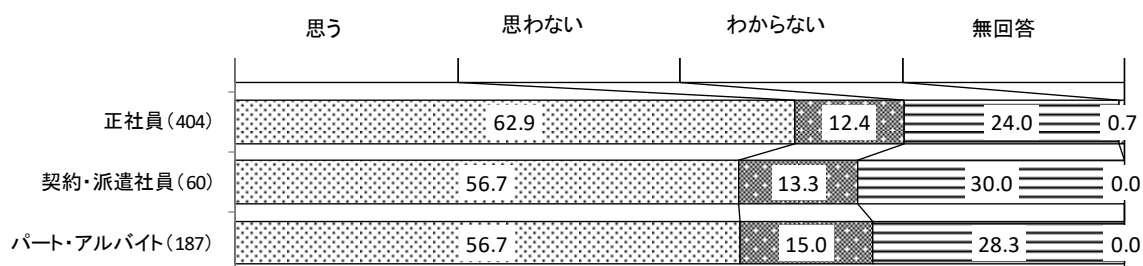
【年齢別】

- 30代以外では今の職場で働き続けたいと思っている人の割合は6割前後を占め、特に50代、60代前半では高い傾向が見られる。30代が低いのは、女性の割合が高いことによると考えられる。
- 昨年度と比較して、20代以下の若い層で、今の職場で働き続けたいと思っている割合がやや高くなっている。



【職業】

- 正社員の場合、今の職場で働き続けたいと思っている割合が他よりもやや高い傾向が見られる。

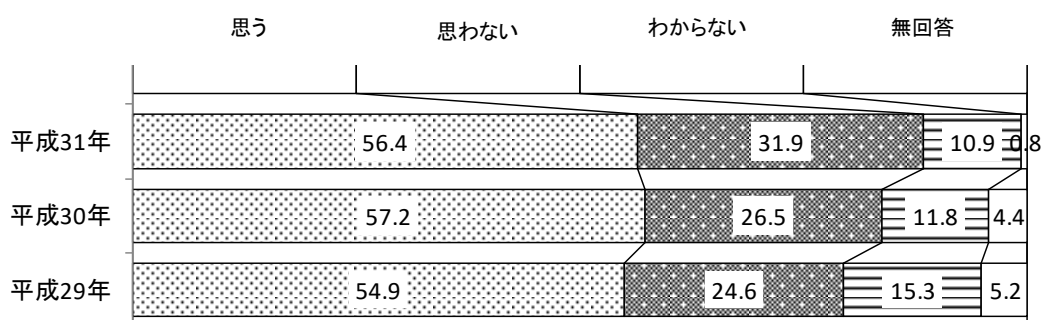


(3) 福利厚生 (問 1 2)

あなたの職場の福利厚生は、十分だと思いますか？

職場の福利厚生が十分だと「思う」割合は56.4%と半数を超え、「思わない」は31.9%となっている。

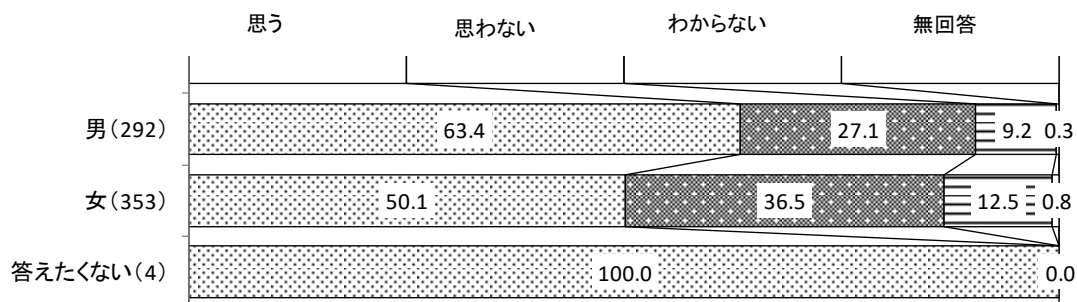
昨年度と比較して「思わない」という割合が5ポイント増えている。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 思う	368	56.4	362	57.2	308	54.9
2 思わない	208	31.9	168	26.5	138	24.6
3 わからない	71	10.9	75	11.8	86	15.3
4 無回答	5	0.8	28	4.4	29	5.2
合計	652	100.0	633	100.0	561	100.0

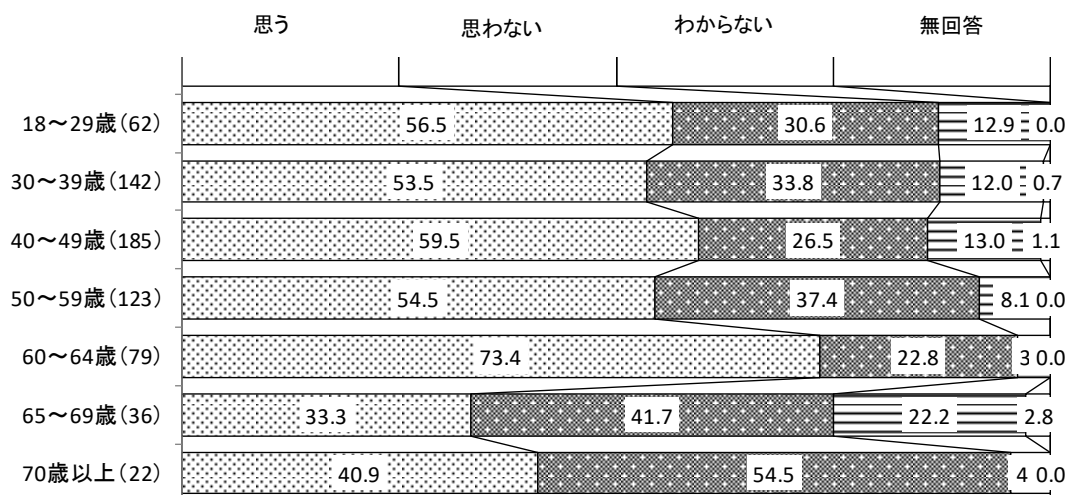
【性別】

- 現在の職場の福利厚生が十分だと思っている割合は、男性6割、女性5割と男性の方が高い傾向が見られる。女性では4割弱が十分だと思っていない。



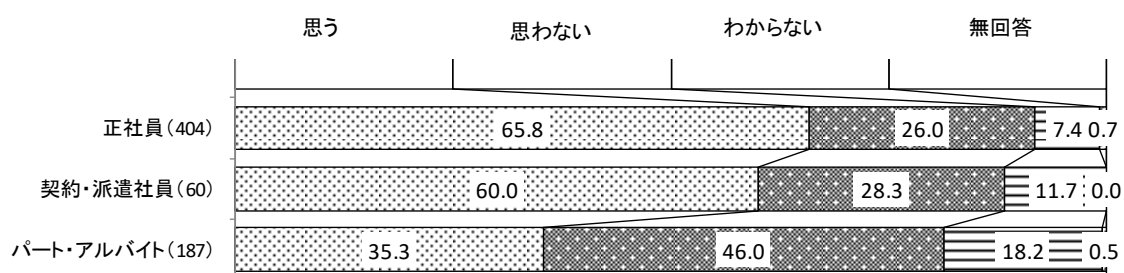
【年齢別】

- 64 歳以下では半数以上が現在の職場の福利厚生が十分だと思っているが、65 歳以上の高齢者では十分だと「思わない」人の方が上回っている。これは高齢者では正社員の割合が低いことによると考えられる。



【職業】

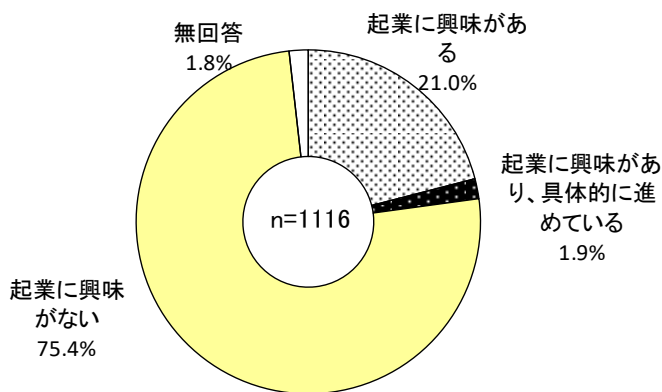
- 正社員や契約・派遣社員では6割以上が、現在の職場の福利厚生は十分だと思っているが、パート・アルバイトでは35.3%にとどまり、十分だと思っていないが46.0%と上回っている。



(4) 起業について (問9)

あなたは、起業に興味がありますか。

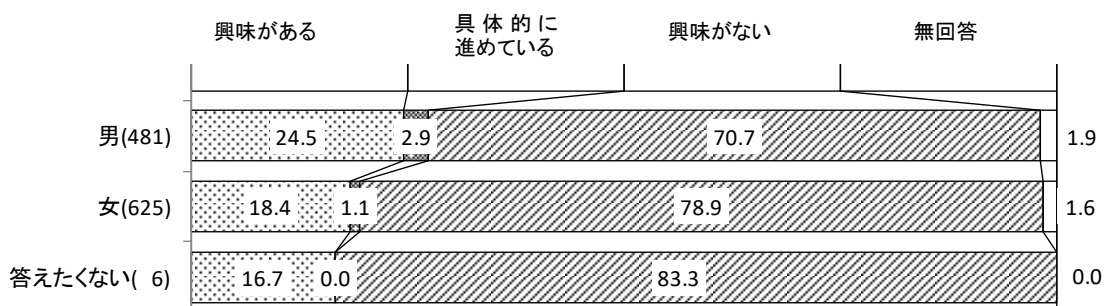
起業に興味がある人は、全体の22.9%となっており、興味がないが4分の3を占めている。興味があり具体的に進めているという人は1.9%にとどまる。



	平成31年度	
	人	%
1 起業に興味がある	234	21.0
2 起業に興味があり、具体的に進めている	21	1.9
3 起業に興味がない	841	75.4
4 無回答	20	1.8
合計	1116	100.0

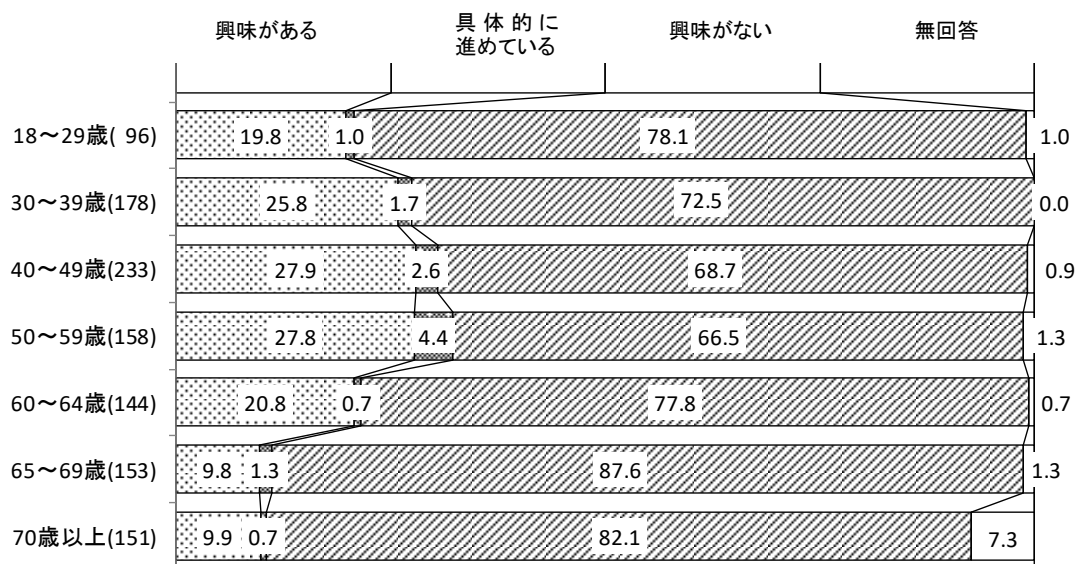
【性別】

- 起業に興味がある人の割合は男性の方が高く、男性では27.4%と女性の19.5%を上回っている。具体的に進めている割合は、男性2.9%に対し、女性1.1%である。



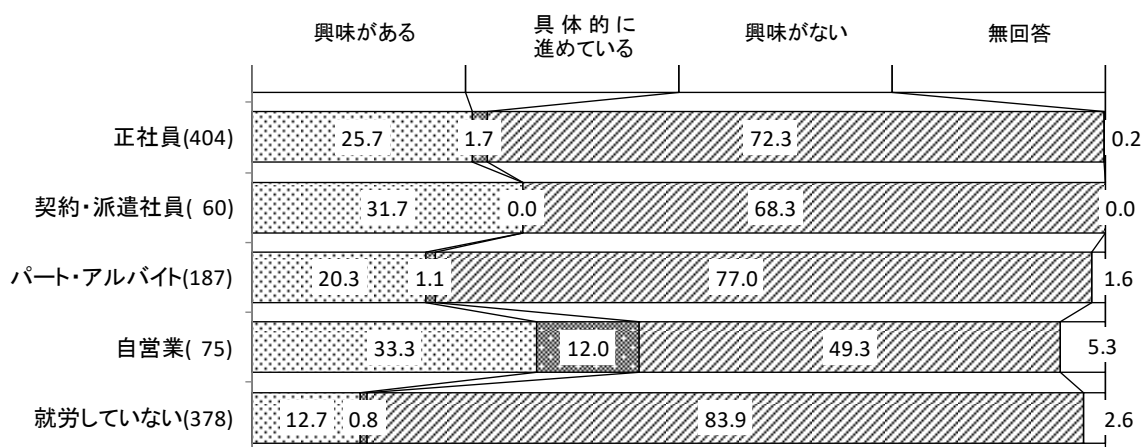
【年齢別】

- 起業に興味がある人の割合は、30代～50代で25%以上と高い。特に50代では具体的に進めている人も4.4%と他の年代よりも高い傾向となっている。
- 65歳以上の高齢者になると興味がある人は1割程度と低い。



【職業別】

- 起業への関心は就労している人の方が高く、自営業や契約・派遣社員では3割以上、正社員でも25.7%が関心を持っている。中でも自営業では具体的に進めているという割合も12.0%見られた。



2. 地域活動等への参加について

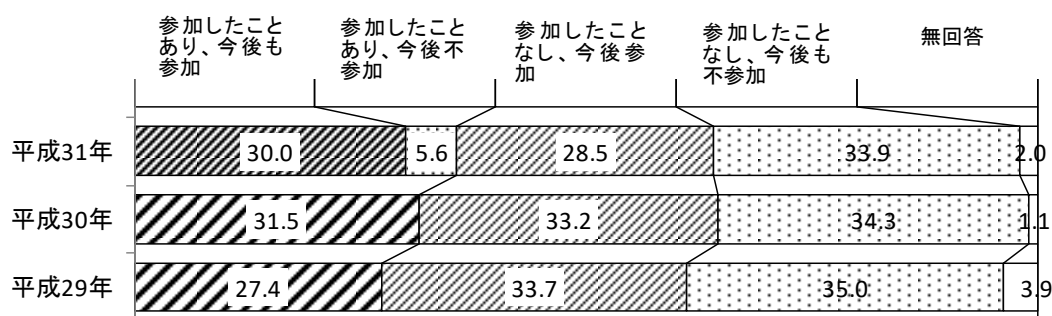
(1) 地域活動への参加（問16）

あなたは過去1年以内に、地域の活動やボランティア活動、NPO活動などに参加しましたか？また、今後参加したいと思いますか？

過去1年以内に、地域の活動やボランティア活動、NPO活動などに参加した人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはあるが、今後は参加しない」）は35.6%となっており、参加したことがないという人（参加したことはないが、今後は参加したい）＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」が62.4%と6割を占めている。

しかしながら、今後参加したいと考えている人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはないが、今後は参加したい」）は58.5%と参加意向がない人（「参加したことはあるが、今後は参加しない」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）の39.5%を上回っている。

昨年度までと比較して参加経験者は増加傾向にある。

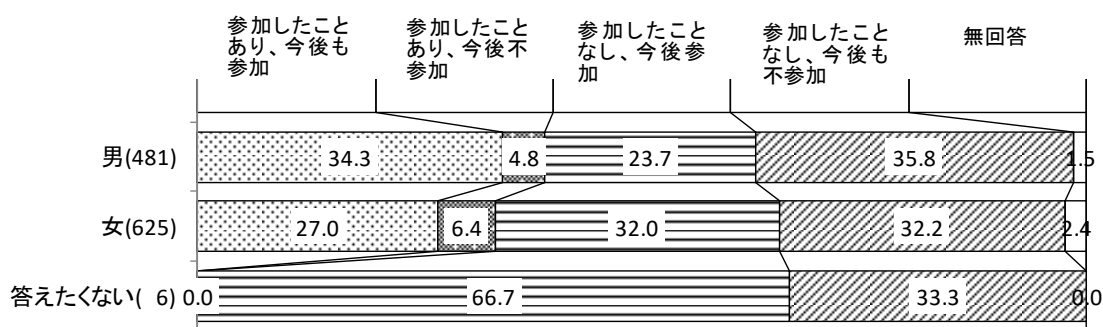


※昨年度までの選択肢は「参加したことがある、または現在参加している」「参加したことはないが、今後参加したい」「参加したこともなく、今後も参加したくない」であったため、今後の参加意向については比較に注意が必要である。

	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 参加したことがあり、今後も参加したい	335	30.0	294	31.5	311	27.4
2 参加したことはあるが、今後は参加しない	63	5.6				
3 参加したことはないが、今後は参加したい	318	28.5	310	33.2	383	33.7
4 参加したこともなく、今後も参加したくない	378	33.9	320	34.3	397	35.0
5 無回答	22	2.0	10	1.1	44	3.9
	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

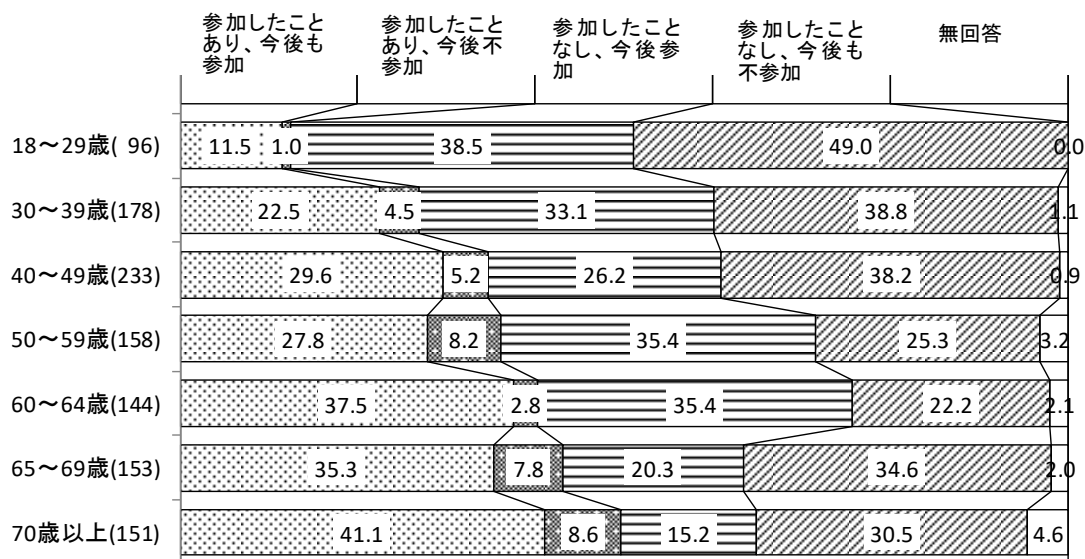
【性別】

- 参加したことがある人は、男性 39.1%、女性 33.4%と男性の方がやや多い。男女ともに前回よりやや増加している。
- 今後の参加意向がある人は、男性 58.0%、女性 59.0%とほぼ同率となっている。



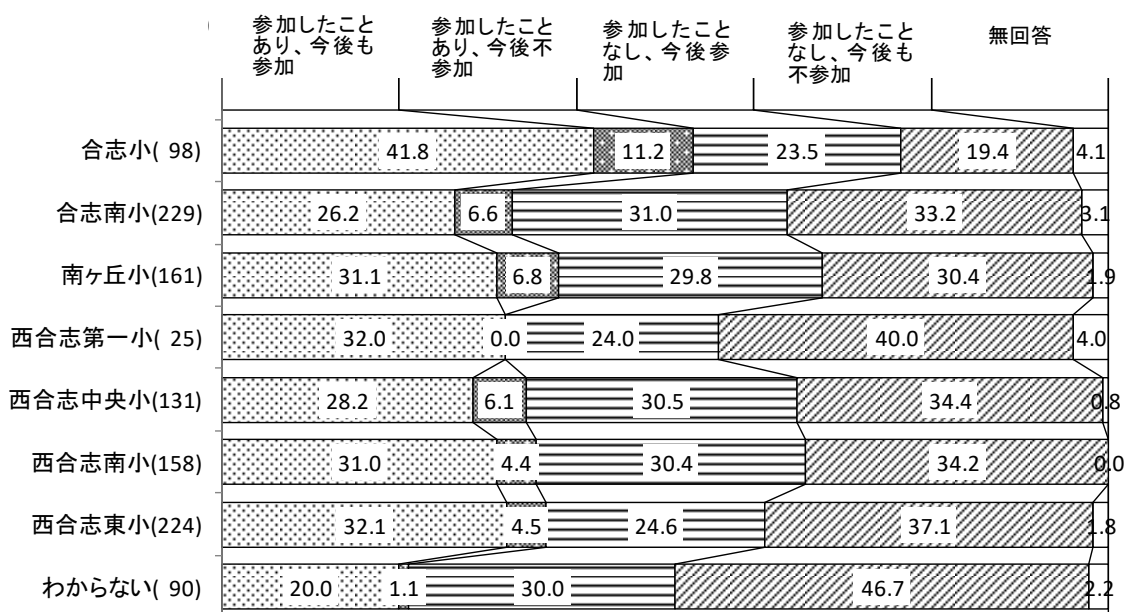
【年齢別】

- 参加経験者は年齢とともに増える傾向が見られ、20代以下では 12.5%だが、70歳以上では 49.7%とほぼ半数を占めている。
- 今後の参加意向については、最も低い20代以下の若者層でも 50.0%と半数を占め、最も高い60代前半では 72.9%と今後の参加意向は各年代で高い傾向となっている。



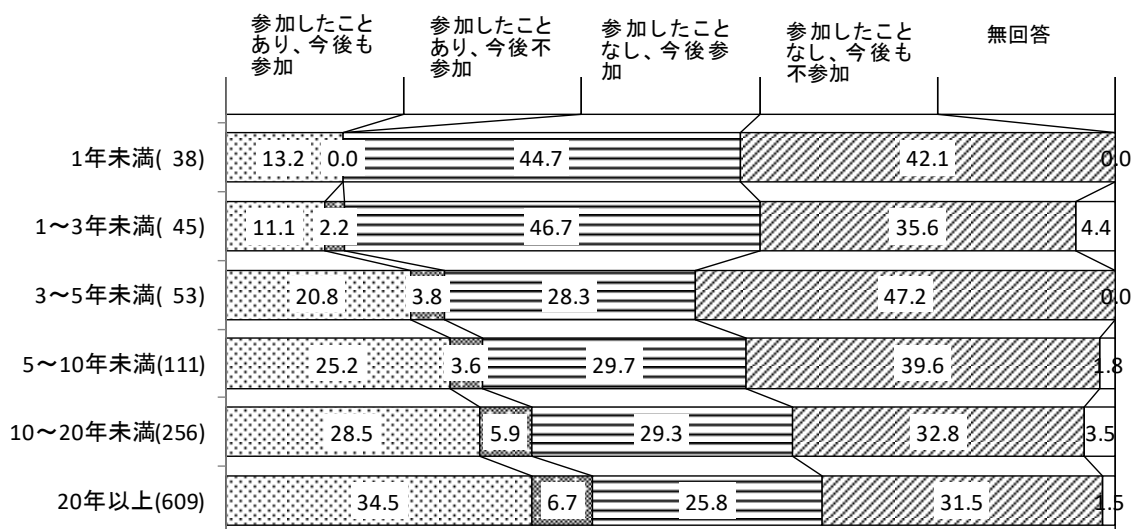
【校區別】

- 参加経験者の割合が最も高いのは合志小の53.0%である。他の校区でも3割以上を占めている。(ただし西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要)
- 今後の参加意向がある人はすべての校区で半数を超えており、最も高い合志小は65.3%と現状の参加経験者の割合を超えている。



【居住年数別】

- 居住年数3年未満では参加経験者は1割程度であるが、3年を超えると居住年数が高いほど参加経験者は増える傾向となっており、20年以上では41.2%となっている。
- 今後の参加意向については、居住年数に関係なくほぼ半数以上が参加したいとしている。



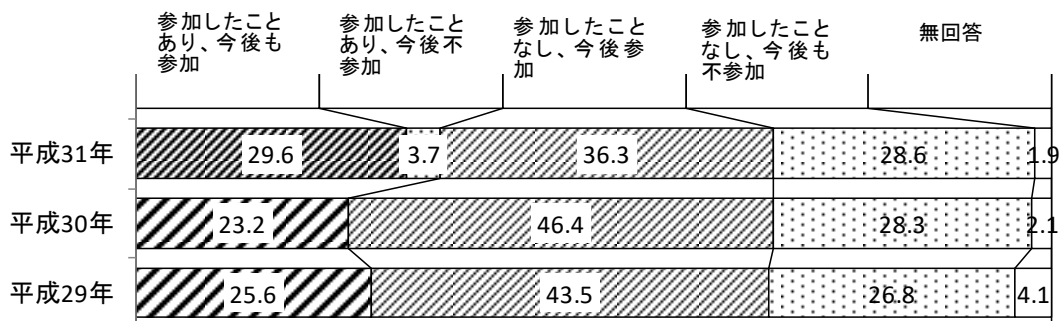
(2) 市のイベント等への参加（問17）

あなたは過去1年以内に、市が行う説明会や行事、イベントなどに参加しましたか？また、今後参加したいと思いますか？

過去1年以内に、市が行う説明会や行事、イベントなどに参加した人（「参加したことがあります、今後も参加したい」＋「参加したことはあるが、今後は参加しない」）は33.3%となっており、参加したことがないという人（参加したことはないが、今後は参加したい）＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」が64.9%と6割を占めている。

しかしながら、今後参加したいと考えている人（「参加したことがあります、今後も参加したい」＋「参加したことはないが、今後は参加したい」）は65.9%と参加意向がない人（「参加したことはあるが、今後は参加しない」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）の32.3%を上回っている。

昨年度までと比較して参加経験者は増加傾向にある。

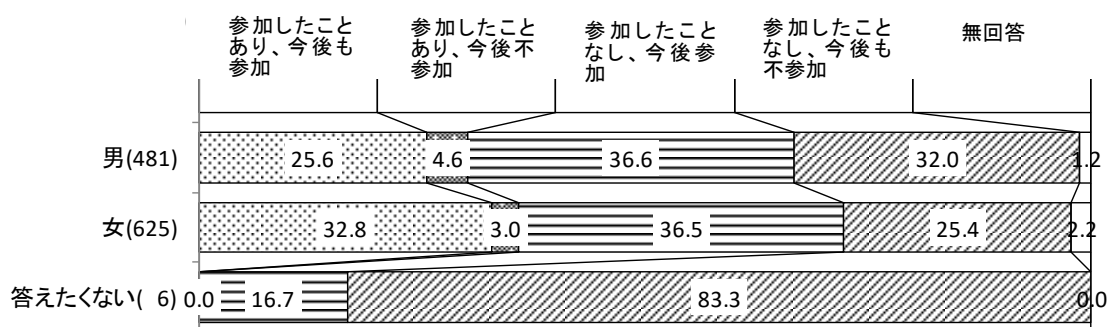


※昨年までの選択肢は「参加したことがある、または現在参加している」「参加したことはないが、今後参加したい」「参加したこともなく、今後も参加したくない」であったため、今後の参加意向については比較に注意が必要である。

	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 参加したことがあります、今後も参加したい	330	29.6	217	23.2	291	25.6
2 参加したことはあるが、今後は参加しない	41	3.7				
3 参加したことはないが、今後は参加したい	405	36.3	433	46.4	494	43.5
4 参加したこともなく、今後も参加したくない	319	28.6	264	28.3	304	26.8
5 無回答	21	1.9	20	2.1	46	4.1
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

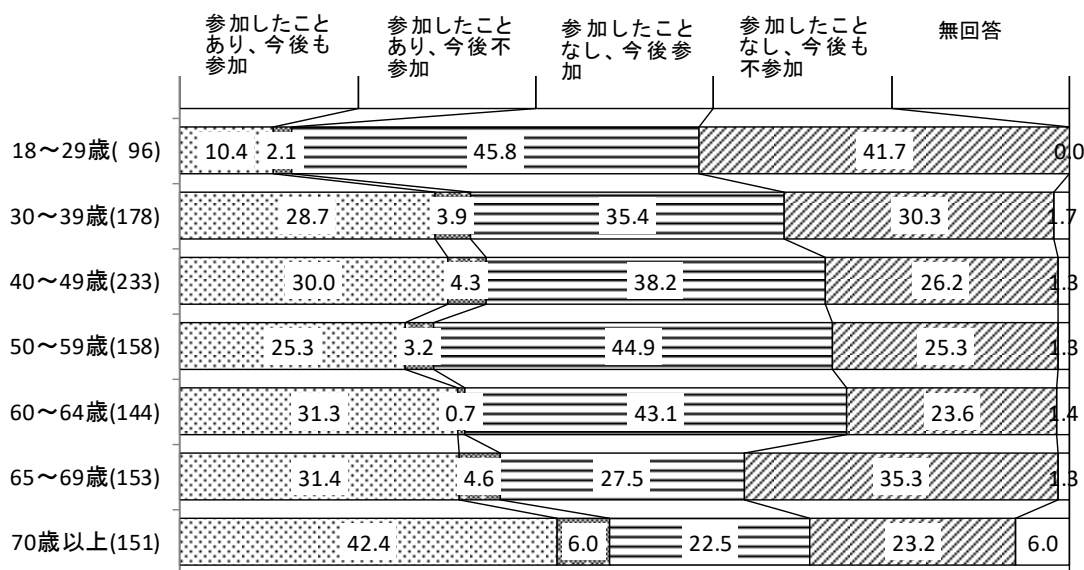
【性別】

- 参加したことがある人は、男性 30.2%、女性 35.8%と女性の方がやや多い。男女ともに前回より 10 ポイント増加している。
- 今後の参加意向がある人は、男性 62.2%、女性 69.3%と女性の方がやや高い。



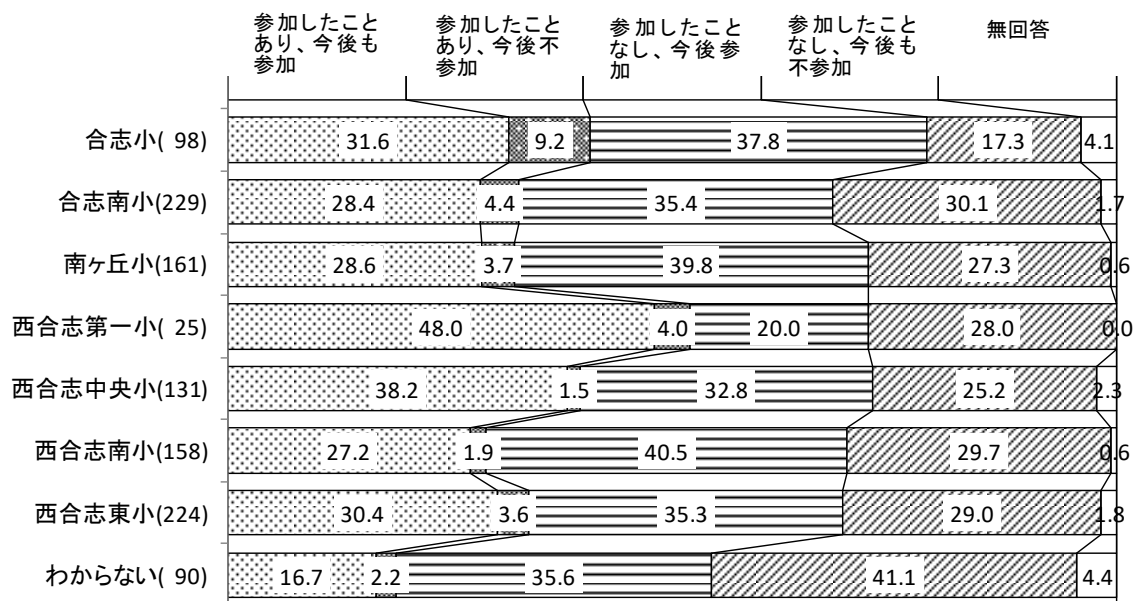
【年齢別】

- 参加したことがある人は 20 代以下の若い層では 1 割と低く、30 代～60 代までは 3 割前後となっている。70 歳以上の高齢者では 48.4%とほぼ半数に参加経験がある。
- 今後の参加意向がある人は、最も低い 20 代以下の若い層では 56.2%と半数を超えており、他の年代も 6 割以上と高い。
- 前回と比較して、ほとんどすべての年代で参加経験者は増加している。



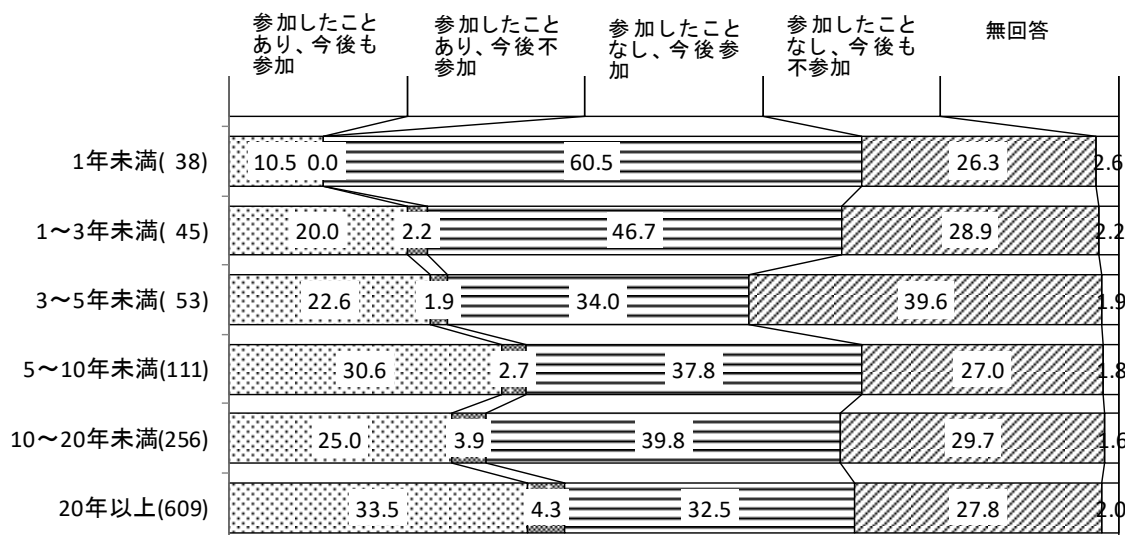
【校区別】

- 西合志中央小、合志小、西合志第一小では参加経験者が4割以上と高い。(ただし西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要)
- 今後の参加意向については、いずれの校区についても参加意向がある人が6割以上を占めている。
- なお、すべての校区で参加経験者は前回を上回っている。



【居住年数別】

- 参加経験者は1年未満では1割、5年未満では2割、20年未満では3割前後、20年以上では4割弱となっている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、居住年数に関係なく、ほぼ6割以上となっている。



3. 子育てについて

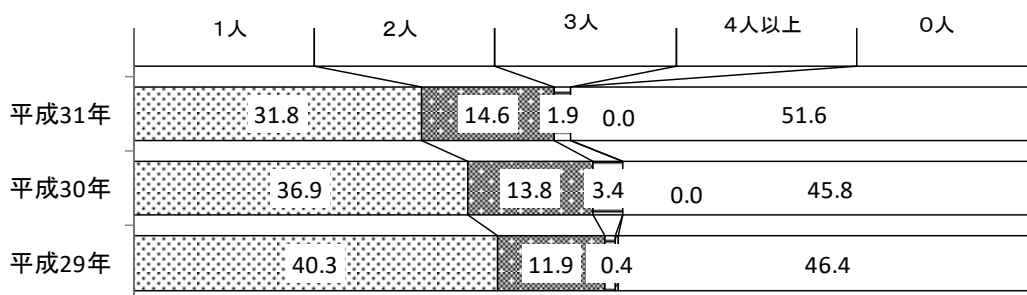
(1) 子どもの数 (問13)

中学生以下のお子様は何人いますか？

中学生以下の子どもがいる314人のうち、就学前の子どもがいる人は48.3%、そのうち「1人」が31.8%。小学生の子どもがいる人は58.3%、そのうち「1人」が39.5%。中学生の子どもがいる人は33.1%、そのうち「1人」が30.9%である。

昨年度と比較すると、小学生の子どものいる割合はほぼ同じだが、就学前の子どもは5.8ポイント低く、中学生の子どもは5.2ポイント高くなっている。

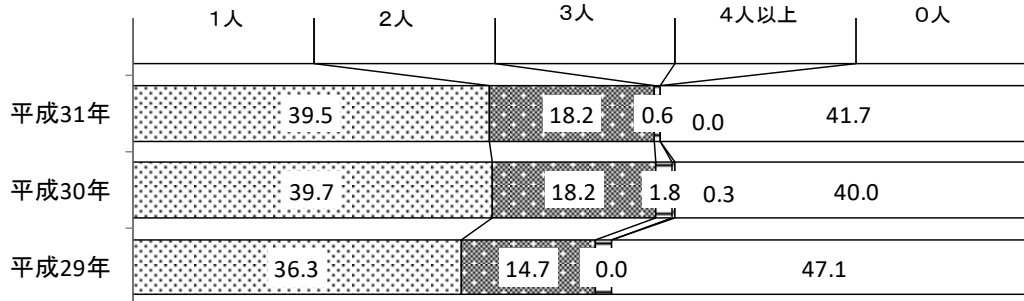
<就学前の子ども>



【就学前】

	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 0人	162	51.6	149	45.8	129	46.4
2 1人	100	31.8	120	36.9	112	40.3
3 2人	46	14.6	45	13.8	33	11.9
4 3人	6	1.9	11	3.4	3	1.1
5 4人以上	-	-	-	-	1	0.4
6 無回答	-	-	-	-	-	-
合計	314	100.0	325	100.0	278	100.0

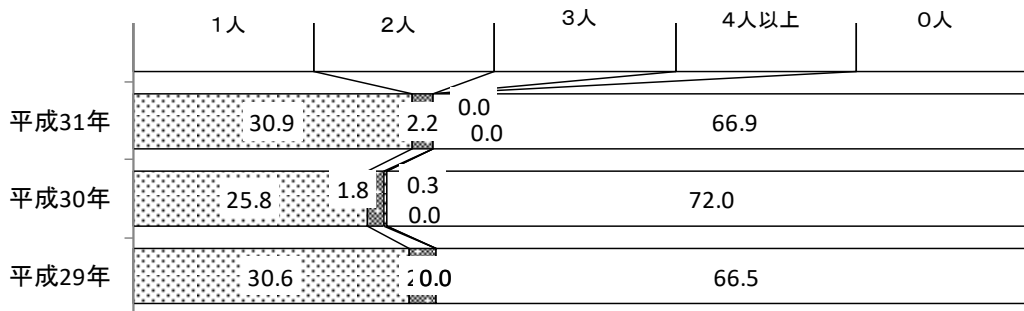
<小学生の子ども>



【小学生】

	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 0人	131	41.7	130	40.0	131	47.1
2 1人	124	39.5	129	39.7	101	36.3
3 2人	57	18.2	59	18.2	41	14.7
4 3人	2	0.6	6	1.8	5	1.8
5 4人以上	-	-	1	0.3	-	-
6 無回答	-	-	-	-	-	-
合計	314	100.0	325	100.0	278	100.0

<中学生の子ども>



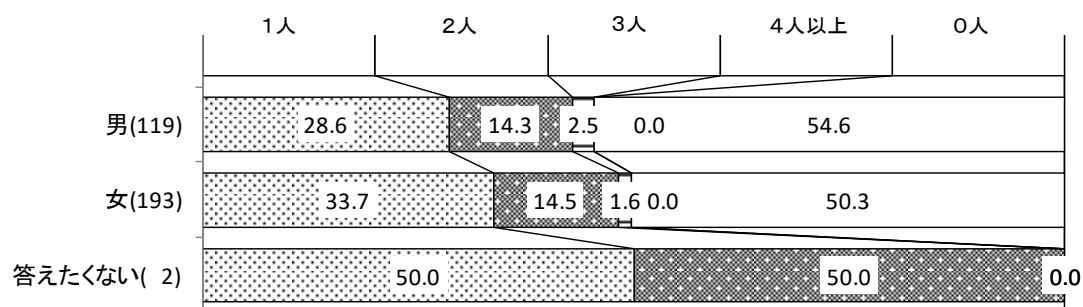
【中学生】

	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 0人	210	66.9	234	72.0	185	66.5
2 1人	97	30.9	84	25.8	85	30.6
3 2人	7	2.2	6	1.8	8	2.9
4 3人	-	-	1	0.3	-	-
5 4人以上	-	-	-	-	-	-
6 無回答	-	-	-	-	-	-
合計	314	100.0	325	100.0	278	100.0

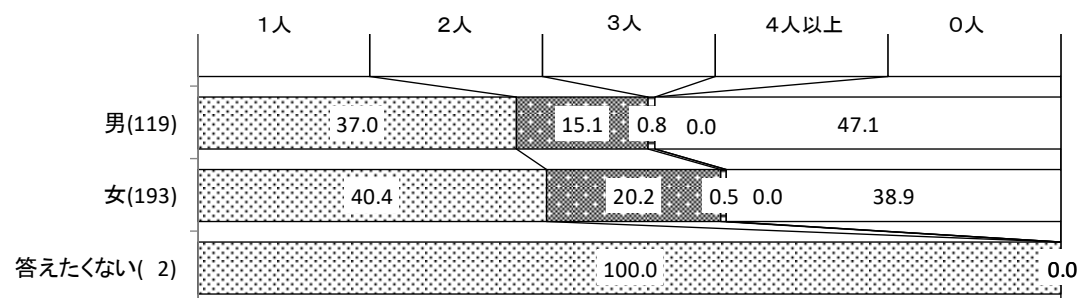
【性別】

- 中学生の子どものいる割合が男性の方がやや高いが、就学前や小学生の子どものいる割合は女性の方が高い傾向となっており、特に小学生の子どもでは 10 ポイント弱の差となっている。

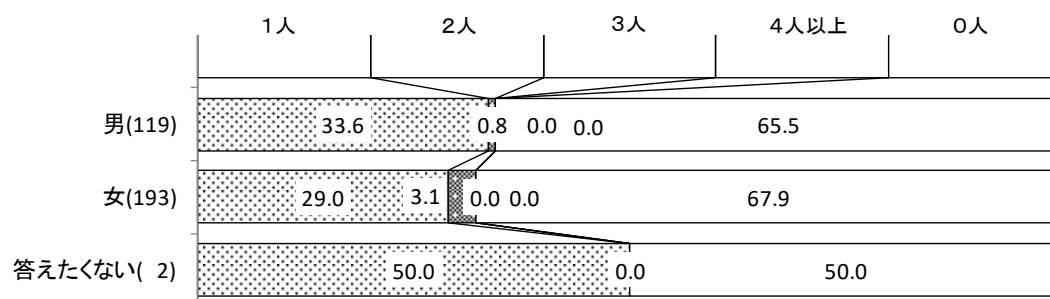
<就学前の子ども>



<小学生の子ども>



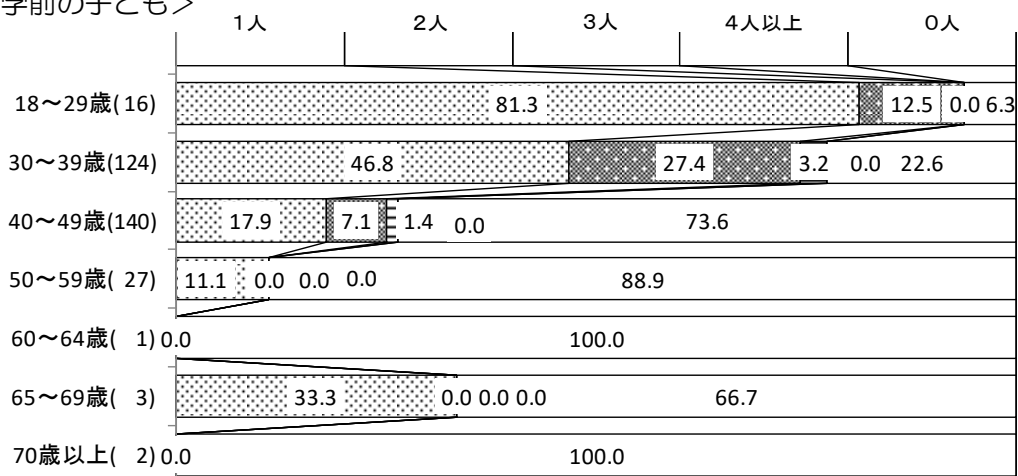
<中学生の子ども>



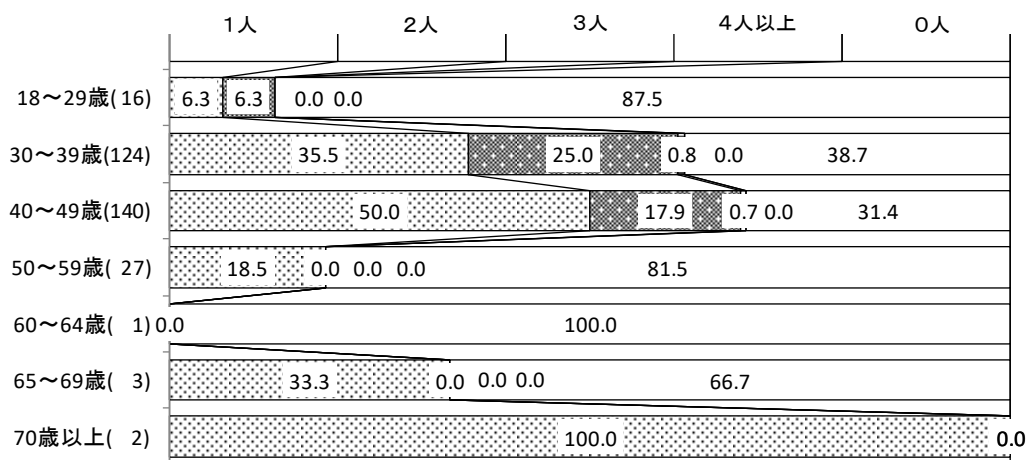
【年齢別】

- 就学前の子どもは20代、30代が多い。20代では「1人」が8割を占めるが、30代では「1人」46.8%、「2人」27.4%となつてっている。
- 小学生の子どもは30代、40代、中学生の子どもは40代、50代で多く見られる。

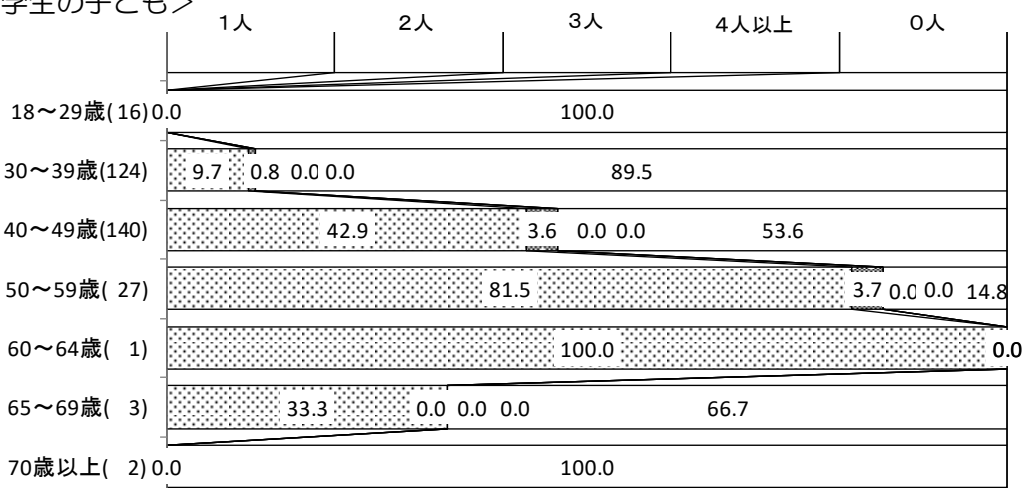
＜就学前の子ども＞



＜小学生の子ども＞



＜中学生の子ども＞



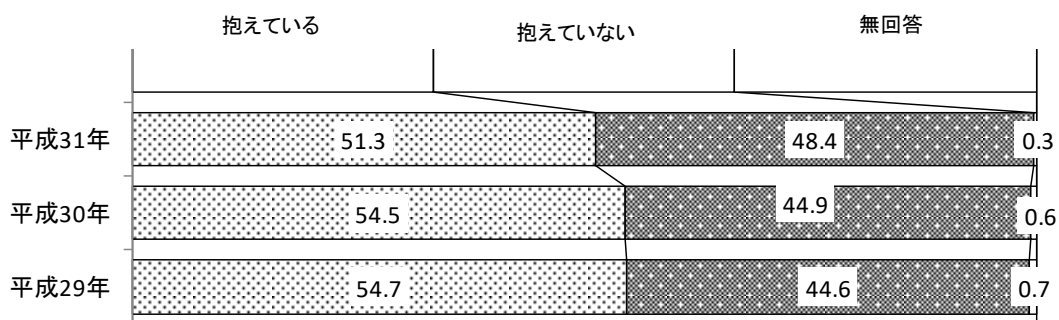
(2) 子育ての悩み (問14)

①悩みの有無

あなたは、子育てに関する悩みを抱えていますか。

中学生以下の子どもがいる人で、子育ての悩みを抱えている人は51.3%と半数を占め、抱えていないのは48.4%である。

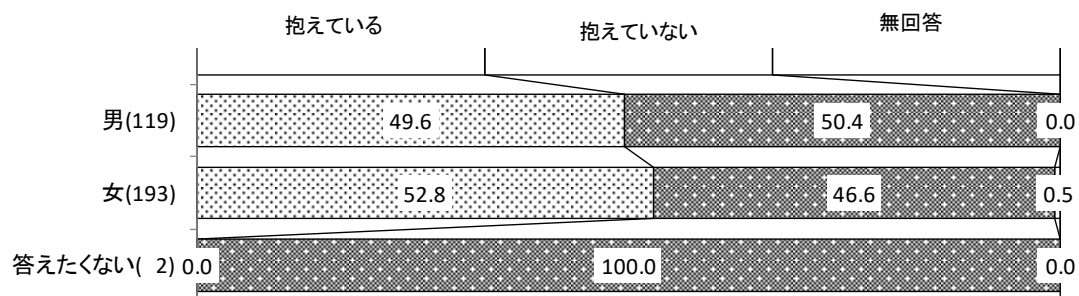
昨年度から大きな変化は見られない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 抱えている	161	51.3	177	54.5	152	54.7
2 抱えていない	152	48.4	146	44.9	124	44.6
3 無回答	1	0.3	2	0.6	2	0.7
合計	314	100.0	325	100.0	278	100.0

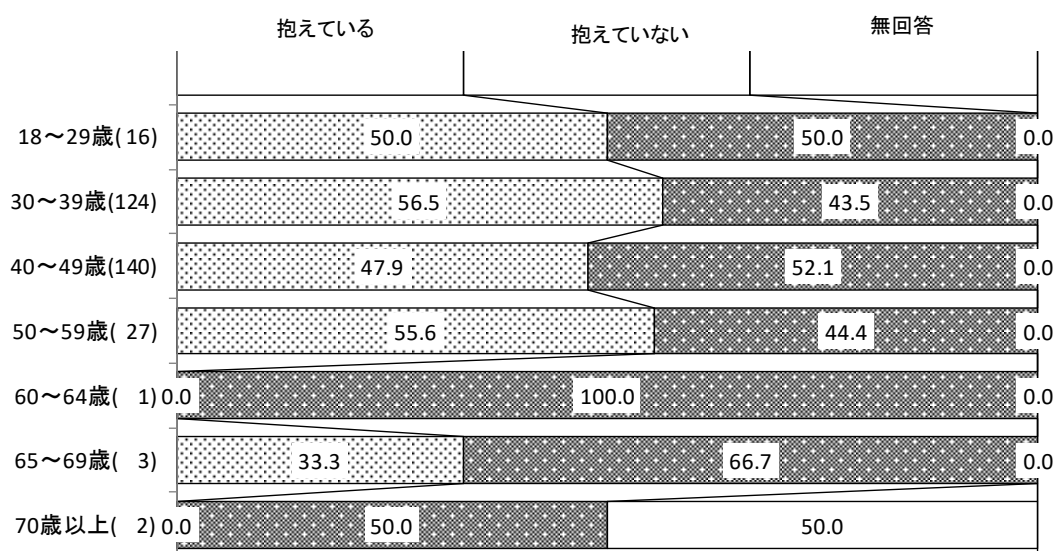
【性別】

●悩みを抱えている割合は男性 49.6%、女性 52.8%と男女で大きな違いは見られない。



【年齢別】

- 就学前や小学生の子どもがいる割合の高い30代では、悩みを抱えている割合が56.5%とやや高い傾向が見られる。他方、小学生や中学生の子どもがいる割合の高い40代では悩みを抱えている割合は47.9%とやや低い傾向が見られる。
- 昨年度と比較すると40代で悩みを抱えている割合が若干減少している。



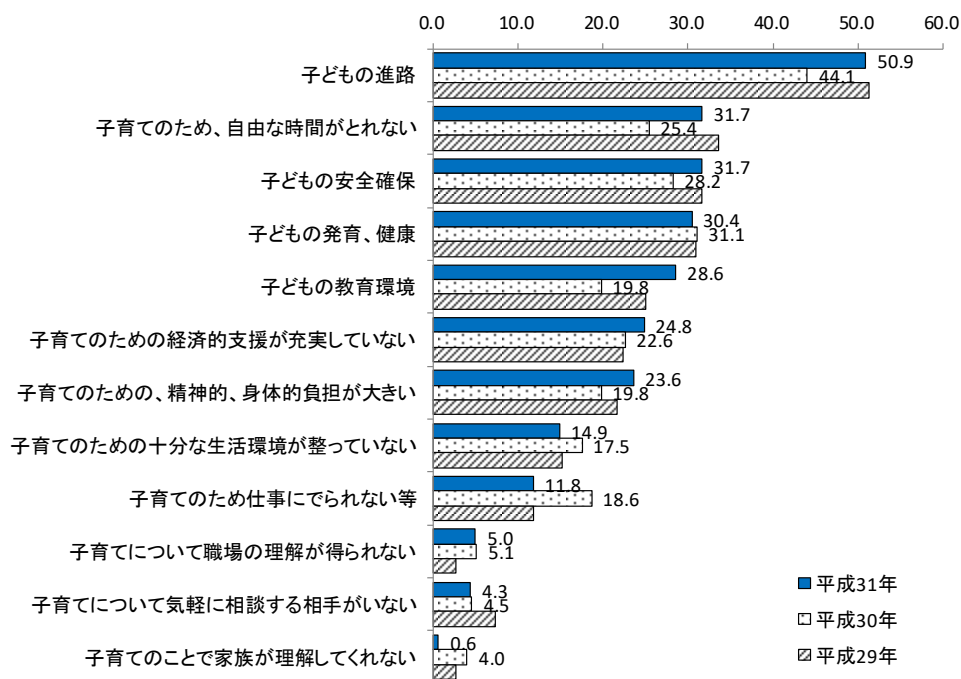
②具体的な悩み(問15)

問14で「1.抱えている」と答えた方にお尋ねします。

あなたが子育ての上で特に不安に思っていること、悩んでいることは何ですか。

子育ての悩みを抱えている161人の具体的な悩みとしては、「子どもの進路」が50.9%と最も多く、次いで「子育てのため、自由な時間がとれない」「子どもの安全確保」31.7%、「子どもの発育、健康」30.4%、「子どもの教育環境」28.6%、「子育てのための経済的支援が充実していない」24.8%と続く。

昨年度と比較すると上位にあげられる項目に大きな変化はないが、「子育てのため、自由な時間がとれない」「子どもの教育環境」をあげる人が前回よりも増えている。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	n=161		n=177		n=152	
	人	%	人	%	人	%
1 子育てのための経済的支援が充実していない	40	24.8	40	22.6	34	22.4
2 子育てのための、精神的、身体的負担が大きい	38	23.6	35	19.8	33	21.7
3 子育てのため、自由な時間がとれない(趣味や学習活動、外出、遊興など)	51	31.7	45	25.4	51	33.6
4 子育てのため仕事にでられない、希望する仕事につけない、家業が思うようにできない	19	11.8	33	18.6	18	11.8
5 子育てのことで家族が理解してくれない	1	0.6	7	4.0	4	2.6
6 子育てのための十分な生活環境が整っていない(住居、遊び場、交通など)	24	14.9	31	17.5	23	15.1
7 子育てについて職場の理解が得られない	8	5.0	9	5.1	4	2.6
8 子育てについて気軽に相談する相手がいない	7	4.3	8	4.5	11	7.2
9 子どもの進路(進学、就職など)	82	50.9	78	44.1	78	51.3
10 子どもの発育、健康	49	30.4	55	31.1	47	30.9
11 子どもの安全確保(犯罪、事件、事故など)	51	31.7	50	28.2	48	31.6
12 子どもの教育環境(いじめ、非行など)	46	28.6	35	19.8	38	25.0

【性別】

- 男女ともに「子どもの進路」「子どもの発育、健康」「子どもの教育環境」「子どもの安全確保」が上位にあげられている。
- 男性の場合は、女性よりも「子どもの安全確保」に不安を抱いている割合が高く、「経済的支援が充実していない」も上位にあげられている。
- 女性の場合は、「子育てのため自由な時間がとれない」「精神的、身体的負担」といった子育てに伴う負担をあげる割合が男性よりも多い傾向が見られる。

男 (n=59)		女 (n=102)	
子どもの進路	54.2	子どもの進路	49.0
子どもの安全確保	40.7	自由な時間がとれない	36.3
子どもの発育、健康	32.2	子どもの発育、健康	29.4
経済的支援が充実していない	28.8	子どもの教育環境	28.4
子どもの教育環境	28.8	精神的、身体的負担	27.5
自由な時間がとれない	23.7	子どもの安全確保	26.5
精神的、身体的負担	16.9	経済的支援が充実していない	22.5
十分な生活環境が整っていない	13.6	仕事にでられない等	15.7
気軽に相談する相手がいない	10.2	十分な生活環境が整っていない	15.7
仕事にでられない等	5.1	職場の理解	5.9
職場の理解	3.4	家族が理解してくれない	1.0
家族が理解してくれない	-	気軽に相談する相手がいない	1.0

【年齢別】

- 悩みを抱えている人が少ないものの、20代以下の若い年齢層では、「子育てのため自由な時間がとれない」をあげる人が最も多い。
- 30代では、「子どもの進路」「子どもの安全確保」「子どもの教育環境」が上位にあげられているほか、「子育てのため自由な時間がとれない」をあげる人も多い。
- 40代では6割以上が「子どもの進路」を上げており、「子どもの発育、健康」も他の年代よりもあげる割合は高い傾向がみられる。
- 50代で悩みを抱えている人は少ないものの、半数以上が「子どもの進路」「子どもの発育、健康」をあげている。

18～29歳 (n=8)		30～39歳 (n=70)		40～49歳 (n=67)		50～59歳 (n=15)	
自由な時間がとれない	37.5	子どもの進路	41.4	子どもの進路	64.2	子どもの進路	66.7
経済的支援が充実していない	25.0	子どもの安全確保	37.1	子どもの発育、健康	32.8	子どもの発育、健康	53.3
精神的、身体的負担	25.0	自由な時間がとれない	35.7	自由な時間がとれない	29.9	精神的、身体的負担	40.0
仕事にでられない等	25.0	子どもの教育環境	34.3	子どもの安全確保	29.9	子どもの教育環境	33.3
十分な生活環境が整っていない	25.0	精神的、身体的負担	27.1	子どもの教育環境	23.9	経済的支援が充実していない	26.7
子どもの安全確保	25.0	子どもの発育、健康	27.1	経済的支援が充実していない	22.4	自由な時間がとれない	20.0
職場の理解	12.5	経済的支援が充実していない	25.7	精神的、身体的負担	16.4	仕事にでられない等	20.0
子どもの教育環境	12.5	十分な生活環境が整っていない	12.9	十分な生活環境が整っていない	16.4	子どもの安全確保	20.0
家族が理解してくれない	-	仕事にでられない等	10.0	仕事にでられない等	10.4	十分な生活環境が整っていない	13.3
気軽に相談する相手がいない	-	職場の理解	4.3	気軽に相談する相手がいない	6.0	職場の理解	6.7
子どもの進路	-	気軽に相談する相手がいない	2.9	職場の理解	4.5	気軽に相談する相手がいない	6.7
子どもの発育、健康	-	家族が理解してくれない	1.4	家族が理解してくれない	0.0	家族が理解してくれない	-

【子どもの年齢別】

- 就学前の子どもがいる場合、「子育てのため自由な時間がとれない」「子どもの安全確保」「子どもの進路」に不安を抱いている人が3割以上と高い。
- 小学生の子どもがいる場合、「子どもの進路」に不安を抱いている人が半数以上おり、「子どもの発育、健康」「子どもの安全確保」にも不安を抱いている人が3割以上見られる。
- 中学生の子どもがいる場合、「子どもの進路」に不安を抱いている人は 76.9%と高く、「子どもの発育、健康」のほか、「経済的支援が充実していない」「子どもの教育環境」にも3割前後が不安を抱いている。

就学前 (n=83)		小学生 (n=89)		中学生 (n=52)	
自由な時間がとれない	43.4	子どもの進路	52.8	子どもの進路	76.9
子どもの安全確保	36.1	子どもの発育、健康	31.5	子どもの発育、健康	30.8
子どもの進路	34.9	子どもの安全確保	31.5	経済的支援が充実していない	28.8
経済的支援が充実していない	26.5	自由な時間がとれない	29.2	子どもの教育環境	28.8
精神的、身体的負担	26.5	子どもの教育環境	28.1	子どもの安全確保	25.0
子どもの発育、健康	26.5	経済的支援が充実していない	21.3	精神的、身体的負担	21.2
子どもの教育環境	26.5	精神的、身体的負担	20.2	自由な時間がとれない	17.3
十分な生活環境が整っていない	16.9	仕事にでられない等	12.4	十分な生活環境が整っていない	15.4
仕事にでられない等	15.7	十分な生活環境が整っていない	10.1	仕事にでられない等	7.7
職場の理解	4.8	職場の理解	5.6	職場の理解	3.8
気軽に相談する相手がいない	4.8	気軽に相談する相手がいない	4.5	家族が理解してくれない	1.9
家族が理解してくれない	1.2	家族が理解してくれない	1.1	気軽に相談する相手がいない	1.9

◆健康づくりについて

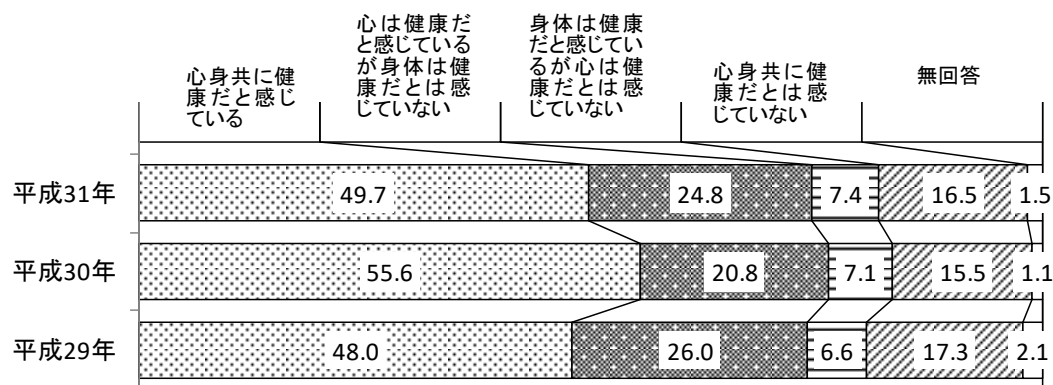
1. 自身の健康状態（問18）

あなたは、心身ともに健康だと感じていますか。

「心身ともに健康だと感じている」という割合は49.7%とほぼ半数を占め、「心は健康だが、身体は健康とは感じていない」が24.8%と続く。

身体が健康だと感じている人は全体の57.1%、心は健康だと感じている人は全体の74.5%となっている。「心身ともに健康だとは感じていない」人は16.5%である。

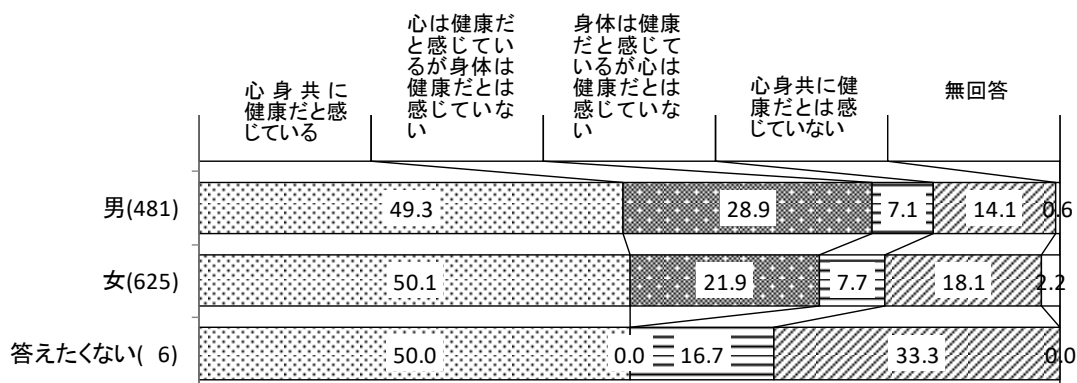
昨年度と比較して、身体が健康だと感じている人は5.6ポイント減少、心は健康だと感じている人は1.9ポイント減少している。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 心身共に健康だと感じている	555	49.7	519	55.6	545	48.0
2 心は健康だと感じているが、体は健康とは感じていない	277	24.8	194	20.8	295	26.0
3 体は健康だと感じているが、心は健康とは感じていない	83	7.4	66	7.1	75	6.6
4 心身共に健康だとは感じていない	184	16.5	145	15.5	196	17.3
5 無回答	17	1.5	10	1.1	24	2.1
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

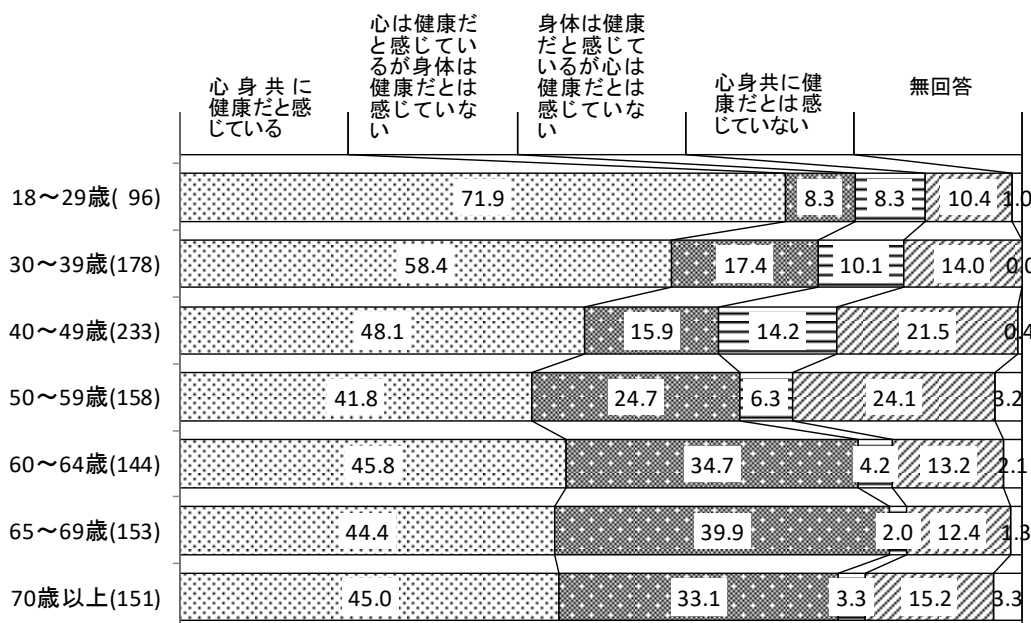
【性別】

- 女性では「心は健康だが、身体は健康とは感じていない」が男性よりも7ポイント高い。



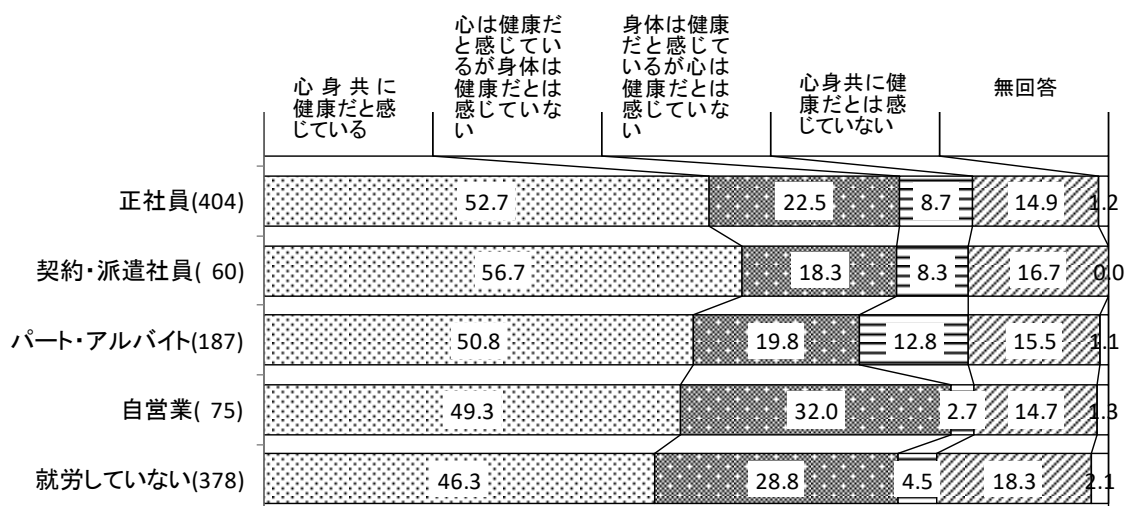
【年齢別】

- 「心身ともに健康だと感じている」割合は年齢が若いほど高く、20代以下では7割を占めるが、50代以上では4割強で推移している。「心は健康だが、身体は健康とは感じていない」という割合は60代以上では3割以上見られる。
- 「心身ともに健康だとは感じていない」という割合は、40代、50代では2割以上と高い。



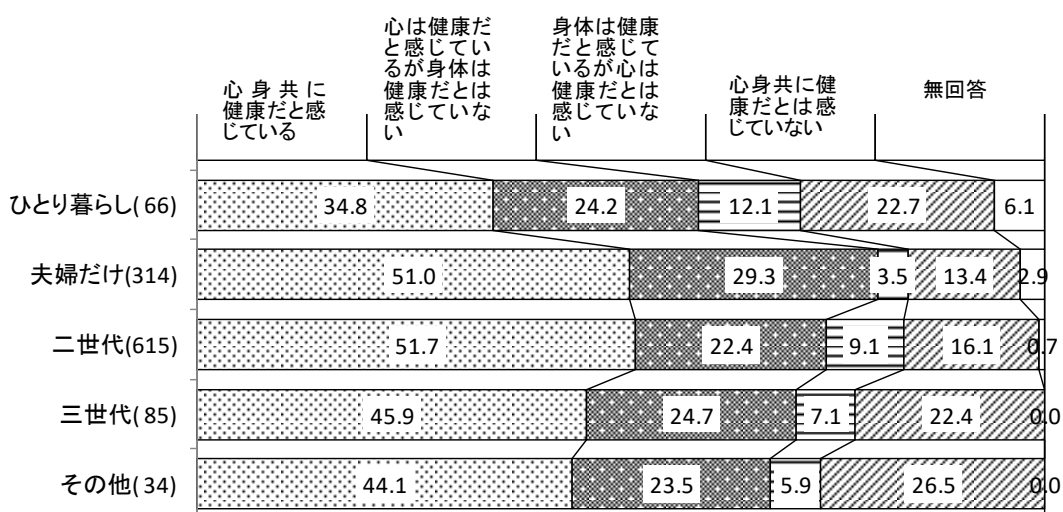
【職業別】

- 「心身ともに健康だと感じている」人は、就労していない場合にやや低い傾向が見られるものの、ほぼ半数を占めている。
- 「心は健康だが、身体は健康とは感じていない」人は自営業や就労していない場合に3割前後と高いが、これは年齢層が高いことによると考えられる。



【家族構成別】

- ひとり暮らしの場合、「心身ともに健康だと感じている」人は34.8%と他の家族構成よりも低い。また、心が健康ではない人は34.8%と他の家族構成より最も高い。



2. 健康づくりの取組みについて

(1) 健康づくりへの取組み状況

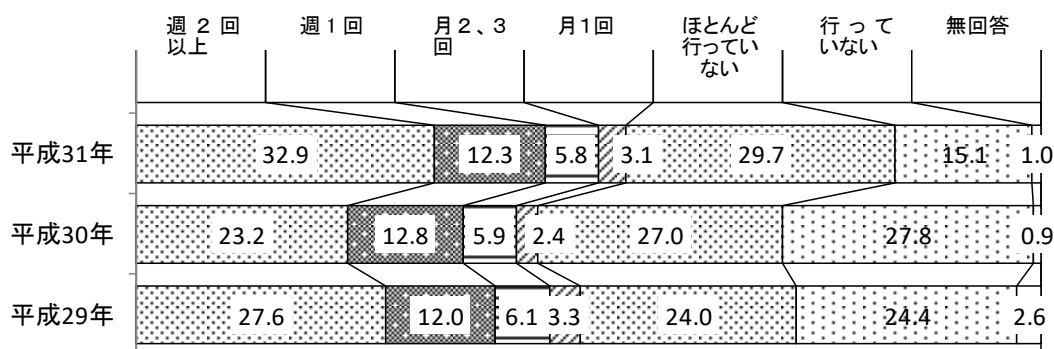
①健康づくりの取組み頻度(問19)

あなたは、日頃から、体を動かすことに取り組んでいますか。

日頃から体を動かすことに取り組んでいる人は全体の54.1%と半数を超え、取り組んでいない(「ほとんど行っていない」+「行っていない」)人は44.8%となっている。

取り組んでいる場合の頻度では、「週2回以上」32.9%、「週1回」12.3%と比較的頻度が高い人が多い。

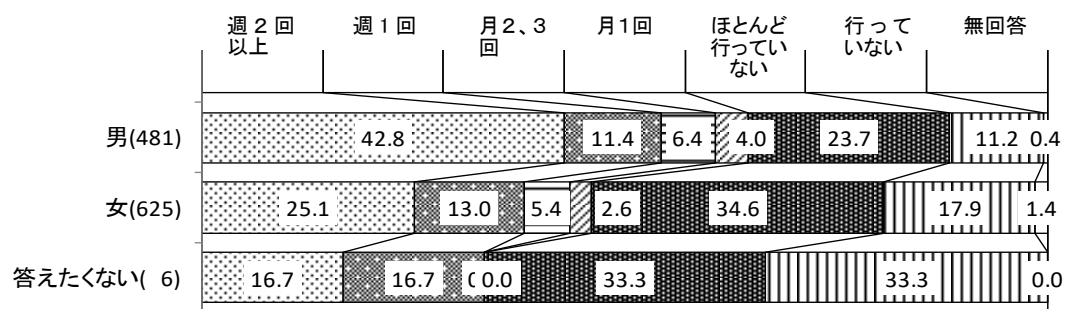
昨年度までは、健康づくりを行っているかという設問であったため、厳密には比較できないものの、参考までに比較すると、取り組んでいる割合は9.8ポイント増加している。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 週2回以上行っている	367	32.9	217	23.2	313	27.6
2 週に1回行っている	137	12.3	120	12.8	136	12.0
3 月に2,3回行っている	65	5.8	55	5.9	69	6.1
4 月に1回行っている	35	3.1	22	2.4	38	3.3
5 ほとんど行っていない	332	29.7	252	27.0	272	24.0
6 行っていない	169	15.1	260	27.8	277	24.4
7 無回答	11	1.0	8	0.9	30	2.6
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

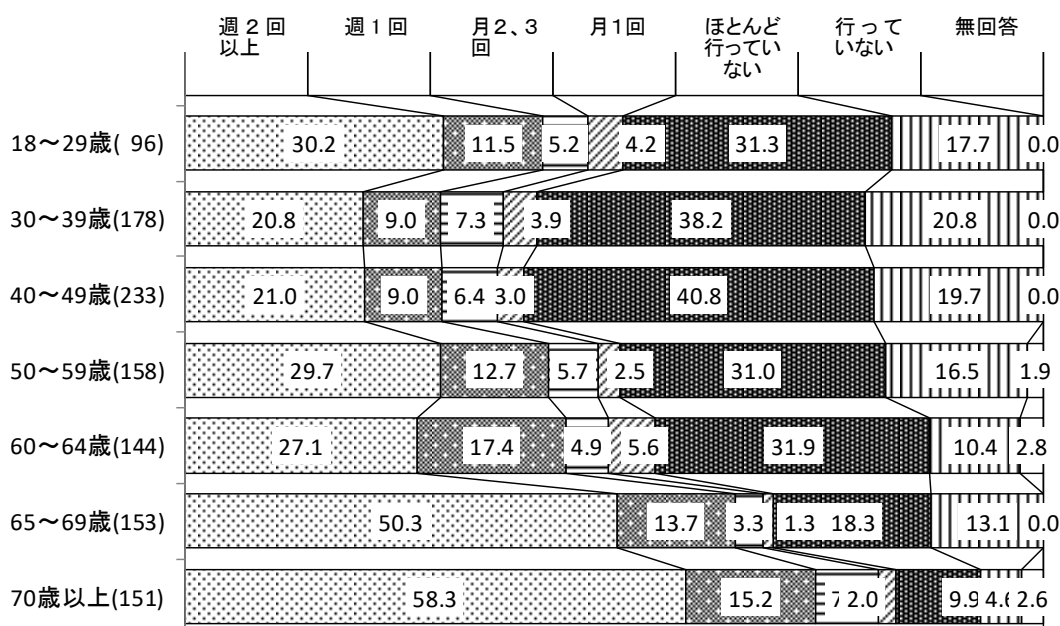
【性別】

- 日頃から体を動かしている割合は、男性 64.6%、女性 46.1%と男性が女性を上回っている。特に男性は「週2回以上」が42.8%を占め、「週1回」11.4%と合わせると半数以上が高頻度で行っている。
- 一方、女性の場合は52.5%が体を動かすことを行っていない。



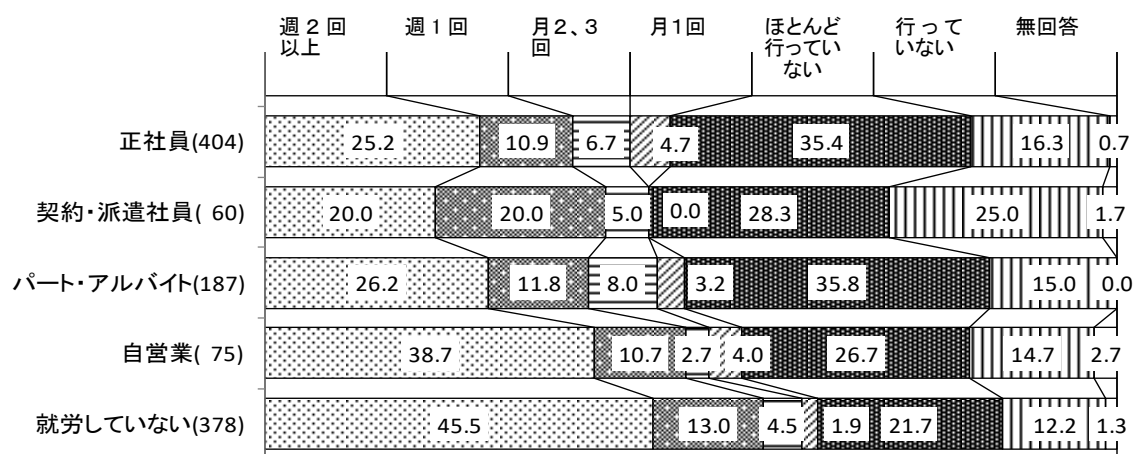
【年齢別】

- 体を動かすことに取り組んでいる割合は、20代以下の若い年齢層では半数を占めるが、30代、40代で4割程度に減少、50代で増加に転じ、年齢とともに取り組む人は増え、70歳以上では82.8%となっている。特に65歳以上の高齢者では半数以上が週2回以上行っている。



【職業別】

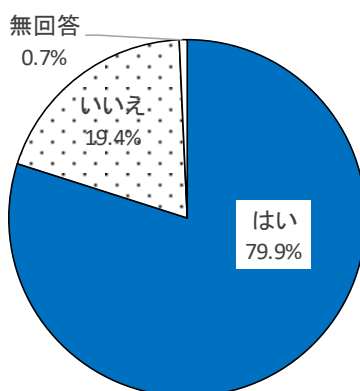
- 就労していない場合や自営業では6割前後が取り組んでいるが、他の職業では行っていない人が半数を超えている。



(2) ストレス解消法 (問20)

自分なりのストレス解消法を持っていますか。

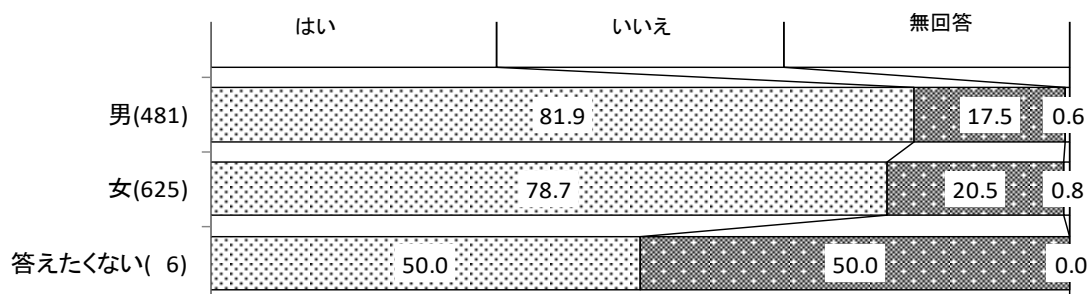
自分なりのストレス解消法を持っている人は、全体の79.9%となっており、多くは自分なりのストレス解消法をもっている。



	平成31年度	
	人	%
1 はい	892	79.9
2 いいえ	216	19.4
3 無回答	8	0.7
合計	1116	100.0

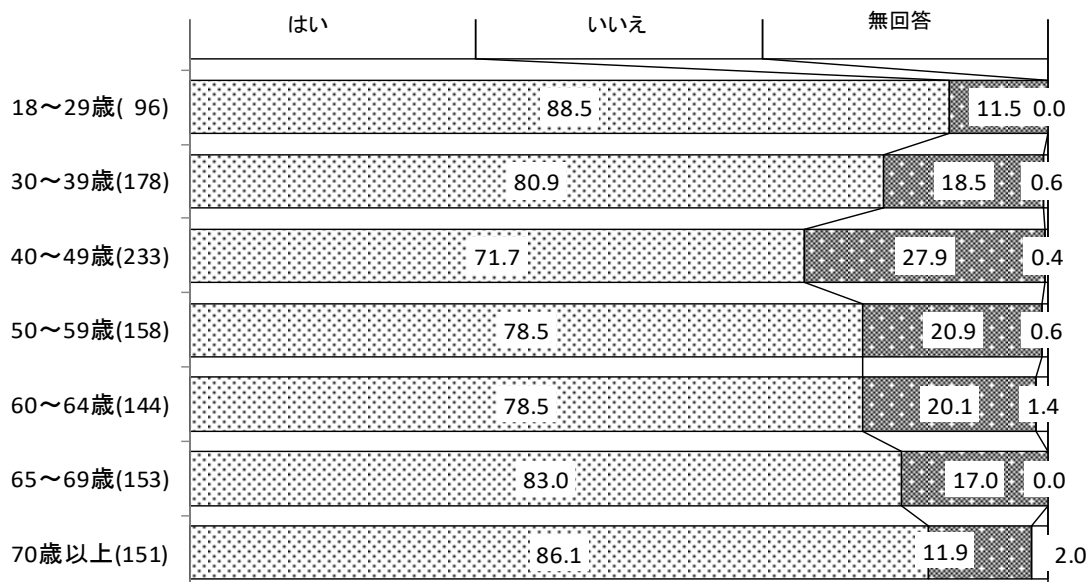
【性別】

- ストレス解消法を持っている人は、男性81.9%、女性78.7%と男性の方がやや多いが、大きな違いは見られない。



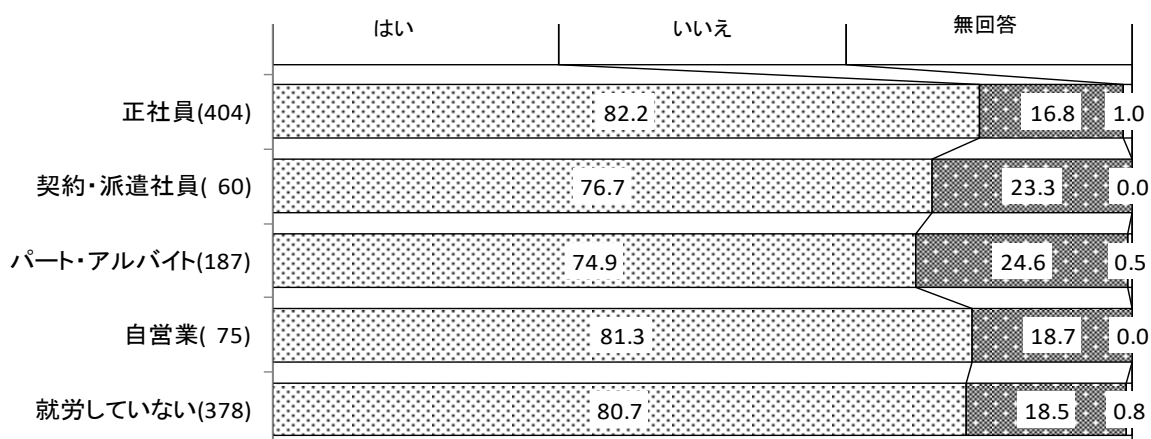
【年齢別】

- ストレス解消法を持っている人は、40代で7割とやや低いものの、そのほかの年代では8割前後が持っている。



【職業別】

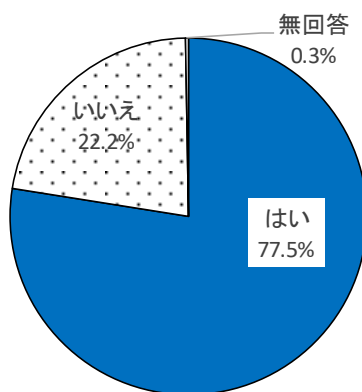
- パート・アルバイトや契約・派遣社員といった非正規の雇用形態でストレス解消法を持っている割合が75%前後とやや低いものの、大きな差は見られない。



(3) 規則正しい食生活 (問 2 1)

食事は1日3回(朝・昼・晩)規則正しく食べていますか。

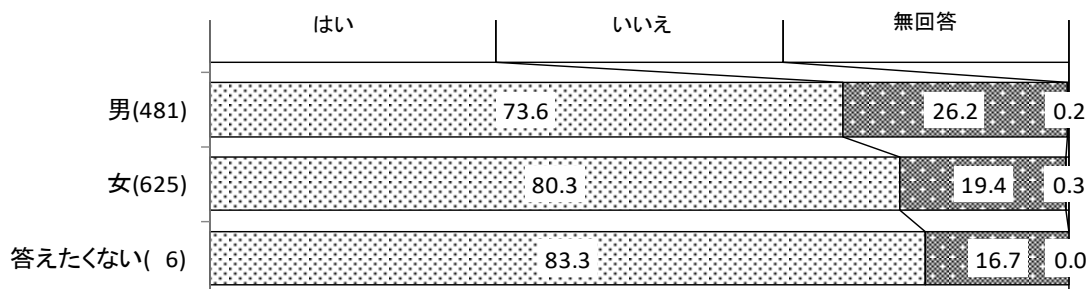
食事を1日3回規則正しく食べている人は、全体の77.5%を占め、規則正しい食生活を送っていないという人は2割となっている。



	平成31年度	
	人	%
1 はい	865	77.5
2 いいえ	248	22.2
3 無回答	3	0.3
合計	1116	100.0

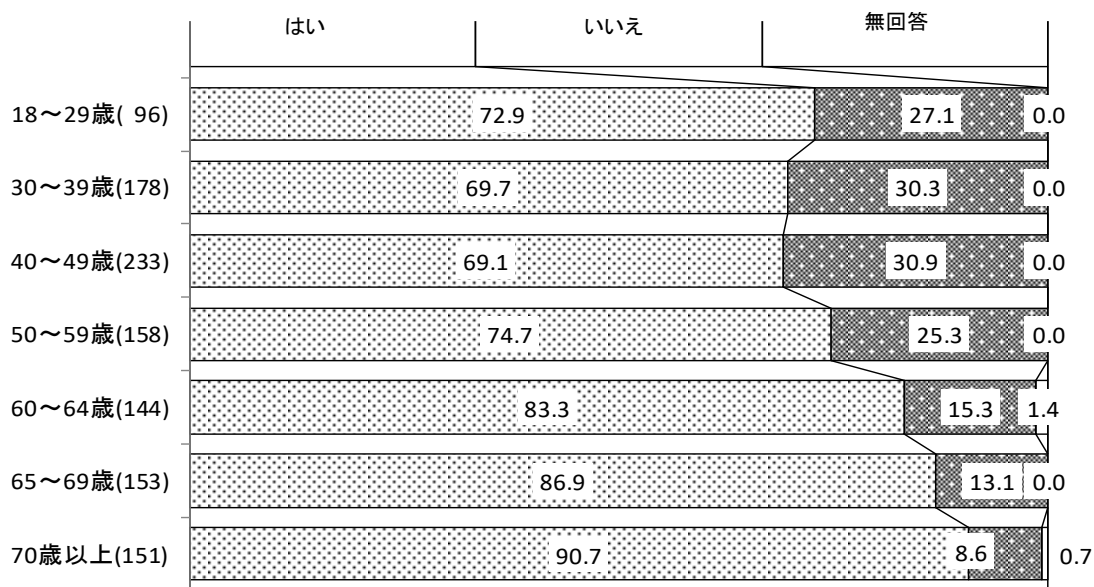
【性別】

- 規則正しい食事を行っている人は、男性73.6%に対し、女性80.3%と女性がやや上回っている。男性の4人に1人は規則正しい食生活を送っていない。



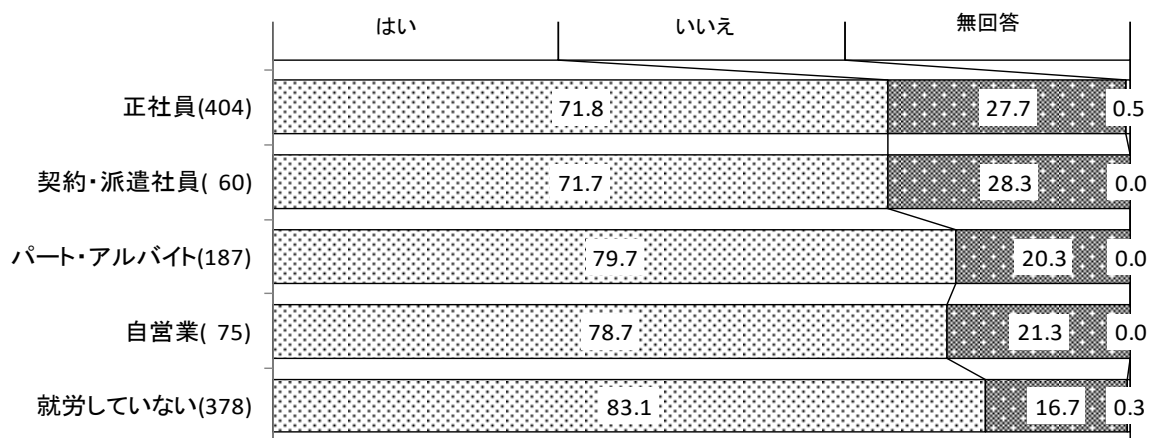
【年齢別】

- 30代、40代では規則正しい食事を行っている割合が7割を切っているが、それ以外の年代では7割以上が1日3回規則正しく食事をとっている。特に65歳以上の高齢者では8割以上と高い。



【職業別】

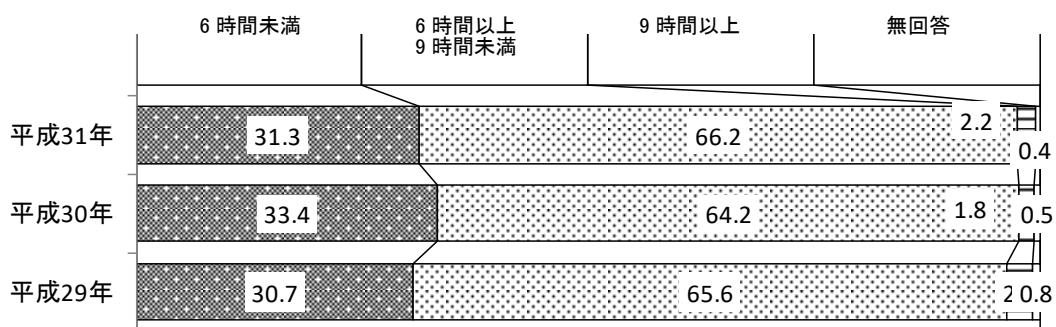
- 正社員や契約・派遣社員では他よりも規則正しく食事をとっているという割合はやや低く、3割近くが不規則な食生活を送っている。



(4) 睡眠時間(問22)

昼寝を含めて1日の睡眠時間は何時間くらいですか

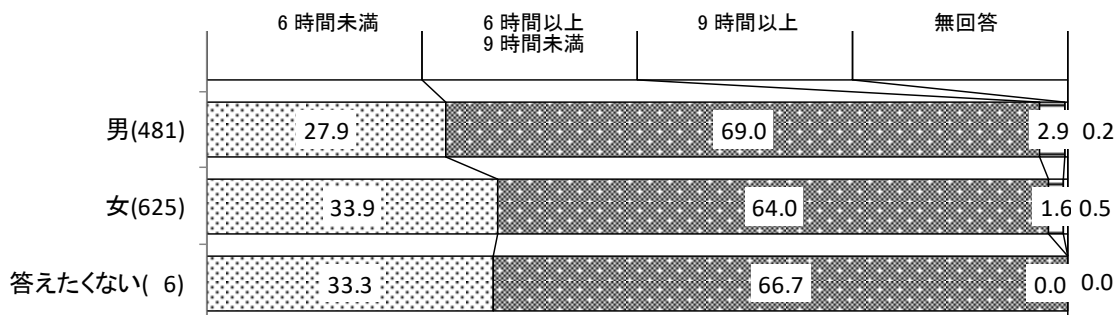
1日の睡眠時間は昼寝を含めて「6時間以上9時間未満」が66.2%と最も多く、次いで「6時間未満」31.3%となっている。
この傾向は昨年度と違いはない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 6時間未満	349	31.3	312	33.4	348	30.7
2 6時間以上9時間未満	739	66.2	600	64.2	745	65.6
3 9時間以上	24	2.2	17	1.8	33	2.9
4 無回答	4	0.4	5	0.5	9	0.8
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

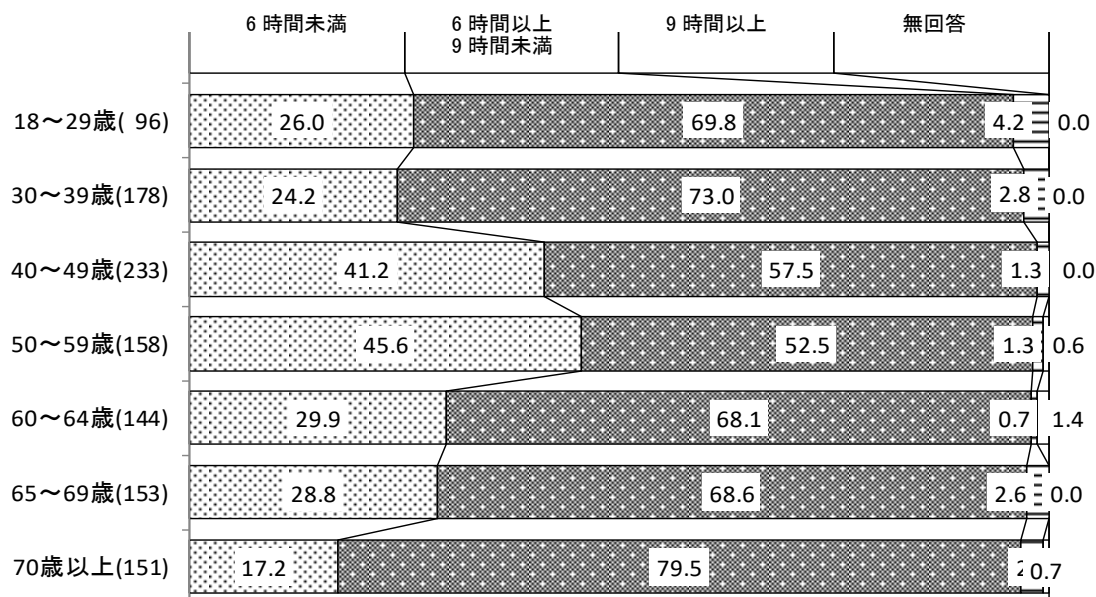
【性別】

●睡眠時間「6時間未満」は女性 33.9%、男性 27.9%と女性がやや上回っており、男性よりも女性の方が睡眠時間が若干短い傾向が見られる。



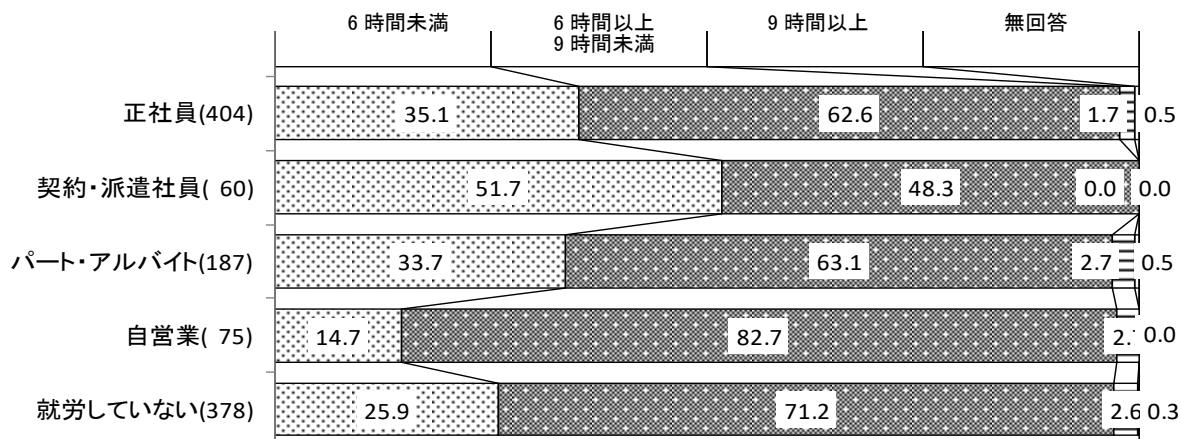
【年齢別】

- 働き盛りの40代、50代では睡眠時間が短い傾向が見られ、「6時間未満」が4割以上となっている。
- 70歳以上の高齢者では「6時間以上9時間未満」が79.5%と多く見られた。



【職業別】

- 契約・派遣社員で「6時間未満」が半数以上と高く、正社員、パート・アルバイトでも35%前後見られた。

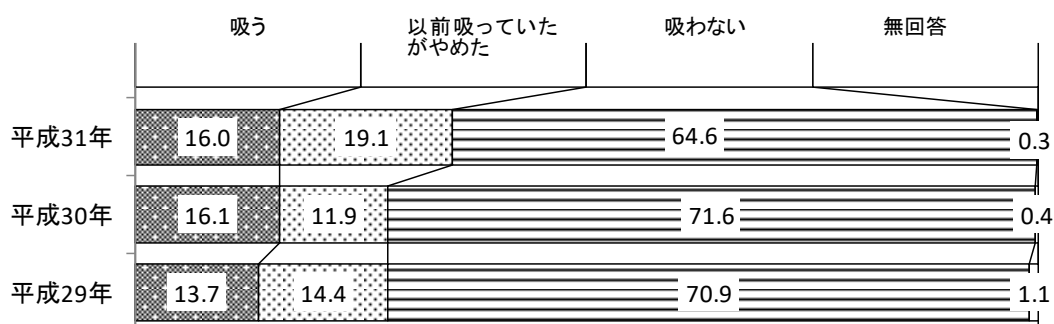


(3) 喫煙（問23）

タバコを吸いますか。

タバコを吸わない人が64.6%と最も多く、以前吸っていたがやめた人19.1%と合わせると非喫煙者が83.7%と8割以上を占める。喫煙者は16.0%となっている。

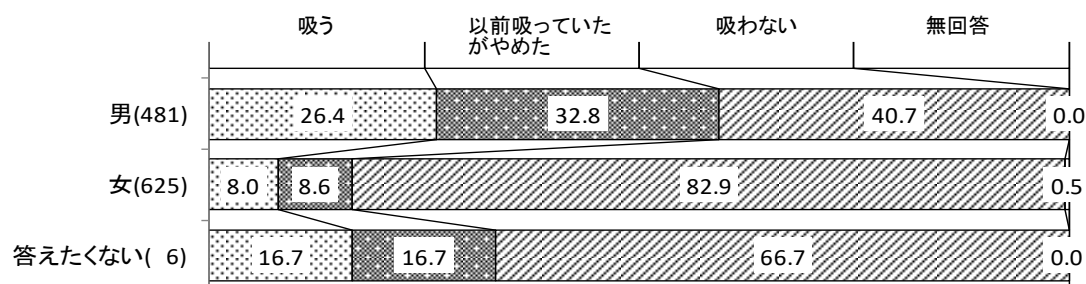
昨年度と比較して、以前吸っていたがやめた人が増えているが、喫煙者の割合については変化ない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 吸う	179	16.0	150	16.1	155	13.7
2 以前吸っていたがやめた	213	19.1	111	11.9	163	14.4
3 吸わない	721	64.6	669	71.6	805	70.9
4 無回答	3	0.3	4	0.4	12	1.1
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

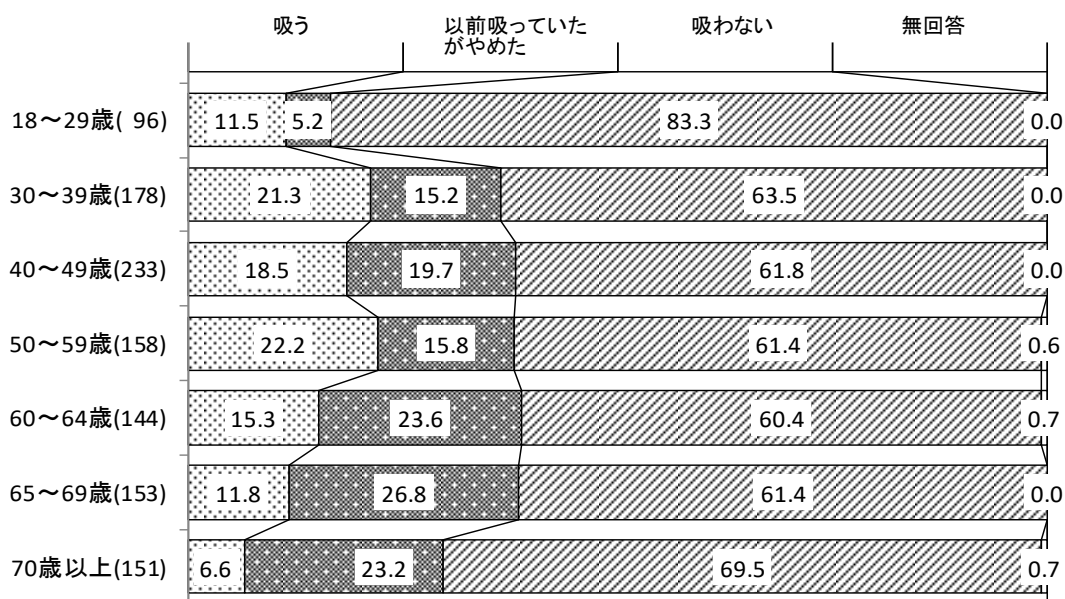
【性別】

- 男性の喫煙者は26.4%、女性の喫煙者は8.0%となっている。
- 男性では「以前吸っていたがやめた」という人が32.8%と高い。
- 昨年度と比較して男性で「以前吸っていたがやめた」という割合が10ポイント以上増加している。



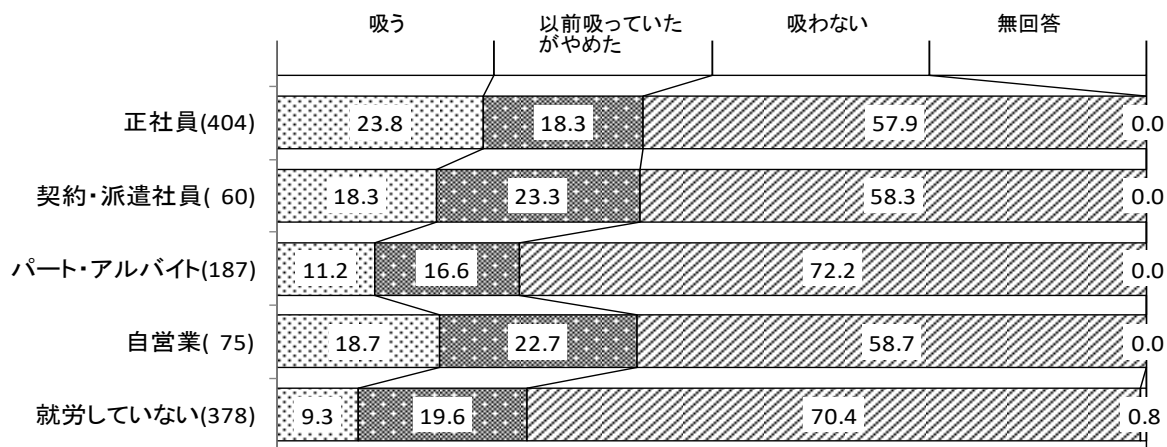
【年齢別】

- 非喫煙者は年齢に関係なく8割以上を占める。特に20代以下の若い年齢層では83.3%が「吸わない」としている。
- 60歳以上の高齢層では2割以上が「以前吸っていたがやめた」としている。



【職業別】

- 正社員、自営業では喫煙者が2割を占め、他の職業よりもやや高い傾向が見られる。

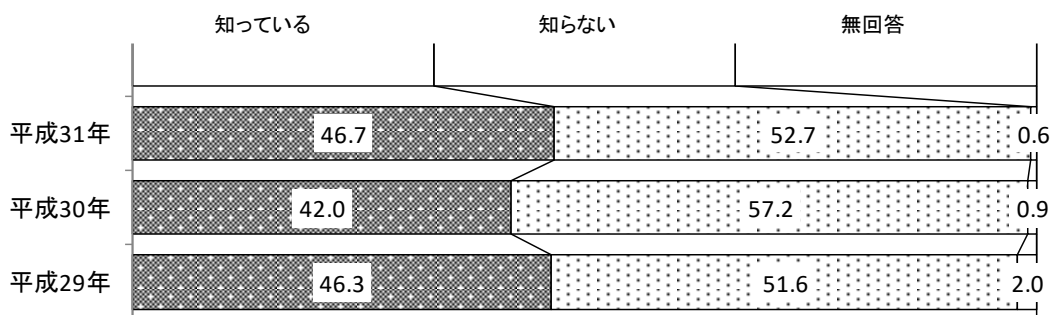


3. 健康知識について

(1) 飲酒量(問24)

生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知っていますか

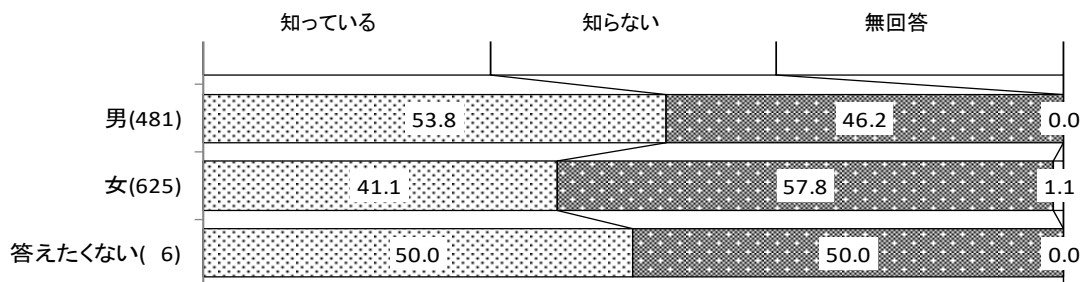
生活習慣病のリスクを高める飲酒量を「知っている」人は46.7%となっており、半数以上は「知らない」としている。
 昨年度と比較して「知っている」割合は4.7ポイント増加している。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 知っている	521	46.7	392	42.0	526	46.3
2 知らない(今回の調査で初めて聞いた)	588	52.7	534	57.2	586	51.6
3 無回答	7	0.6	8	0.9	23	2.0
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

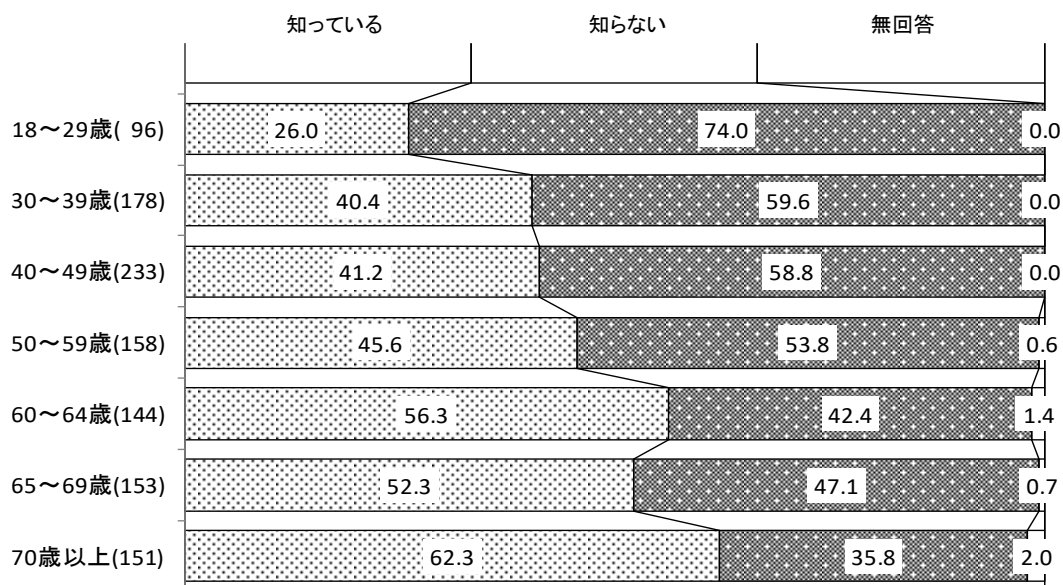
【性別】

- 生活習慣病のリスクを高める飲酒量については、女性よりも男性で認知が進んでおり、男性では半数以上が「知っている」が、女性では4割にとどまる。



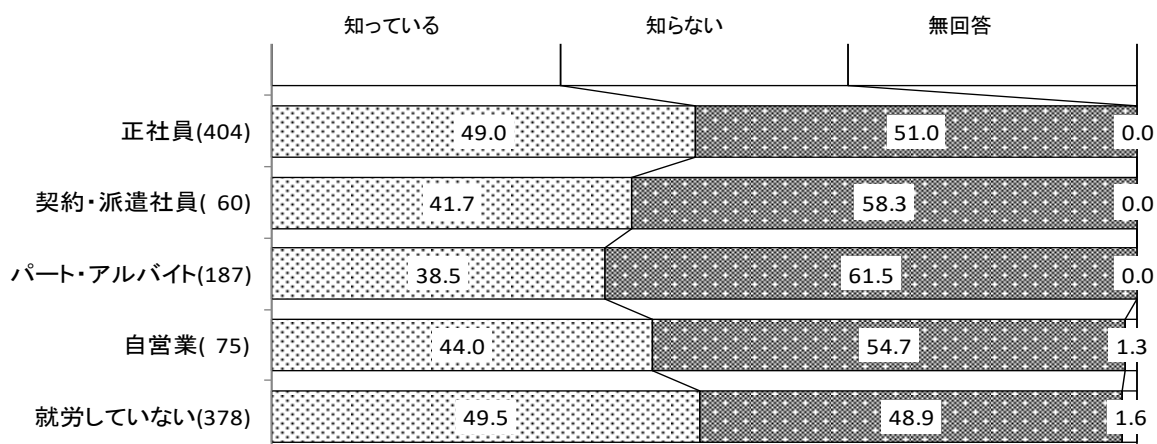
【年齢別】

- 20代以下の若い年齢層では7割以上が「知らない」が、60代以上の高齢者層では半数以上で認知が進んでいる。



【職業別】

- 正社員や就労していない場合は「知っている」、「知らない」がほぼ同率となっているが、他の職業では「知らない」が多くなっている。

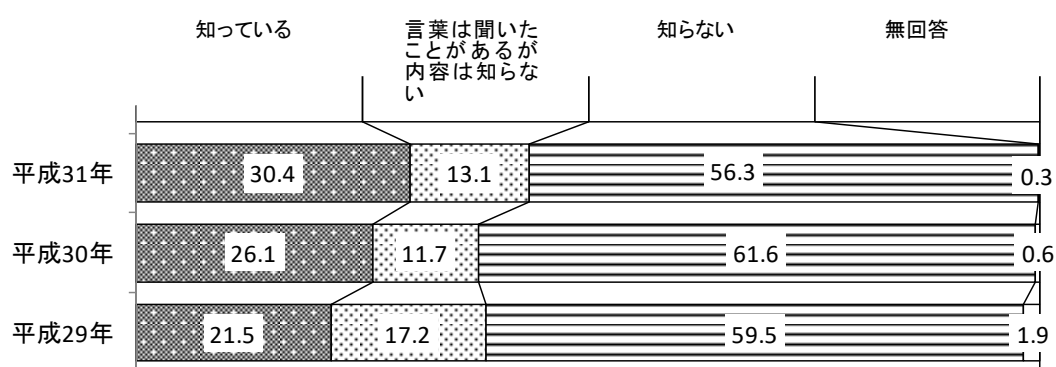


(2) COPD (問25)

COPDを知っていますか

COPDを今回の調査で初めて聞いたという「知らない」人は56.3%と半数以上であった。「知っている」は30.4%、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」は13.1%となっている。

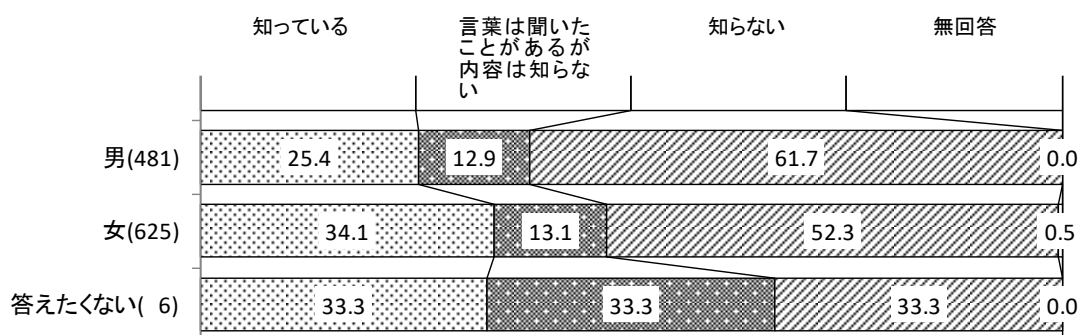
平成29年度から「知っている」という割合は若干増加してきており、認知は進んできていることがうかがえる。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 知っている	339	30.4	244	26.1	244	21.5
2 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない	146	13.1	109	11.7	195	17.2
3 知らない(今回の調査で初めて聞いた)	628	56.3	575	61.6	675	59.5
4 無回答	3	0.3	6	0.6	21	1.9
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

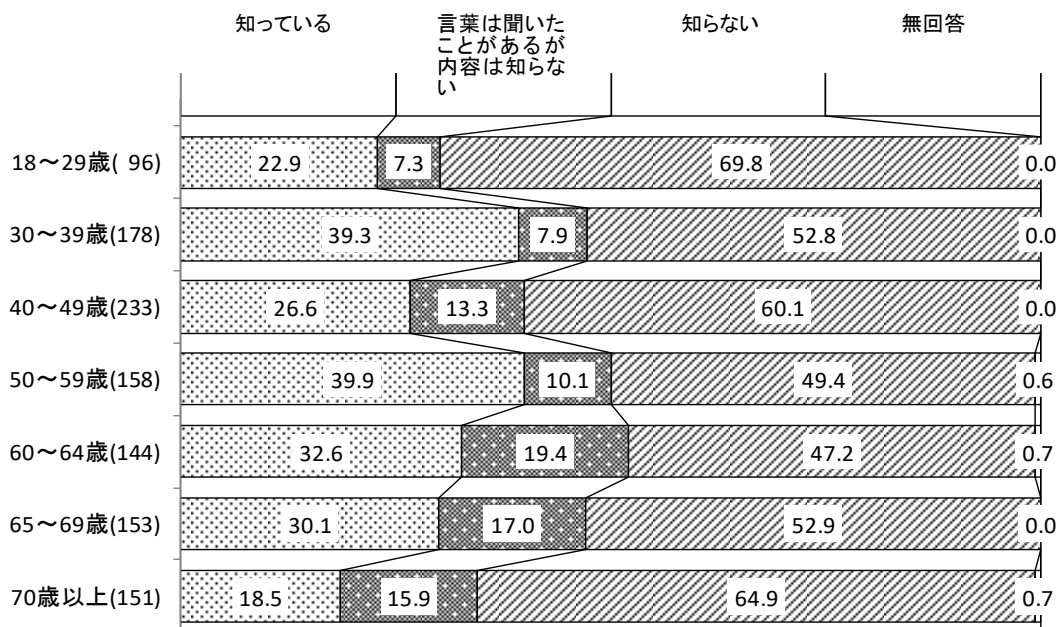
【性別】

- 男性より女性の方が認知は進んでおり、「知っている」割合は女性34.1%に対し、男性25.4%となっている。



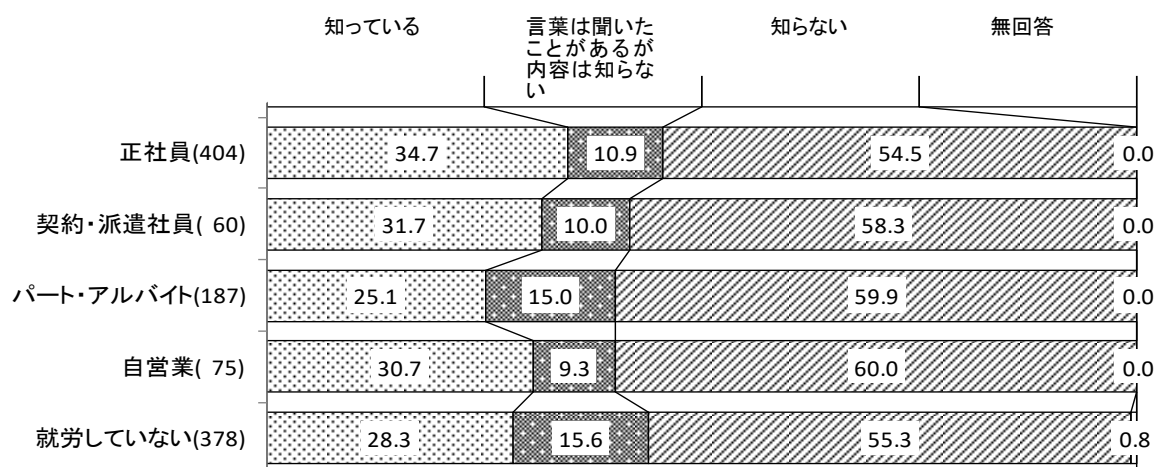
【年齢別】

- 20代以下の若い年齢層と70歳以上の高齢者層で「知っている」という割合は2割前後と低く、7割弱の人が「知らない」としている。



【職業別】

- いずれの職業でも半数以上が「知らない」としている。「知っている」割合は、最も高い正社員で34.7%、最も低いパート・アルバイトで25.1%となっている。

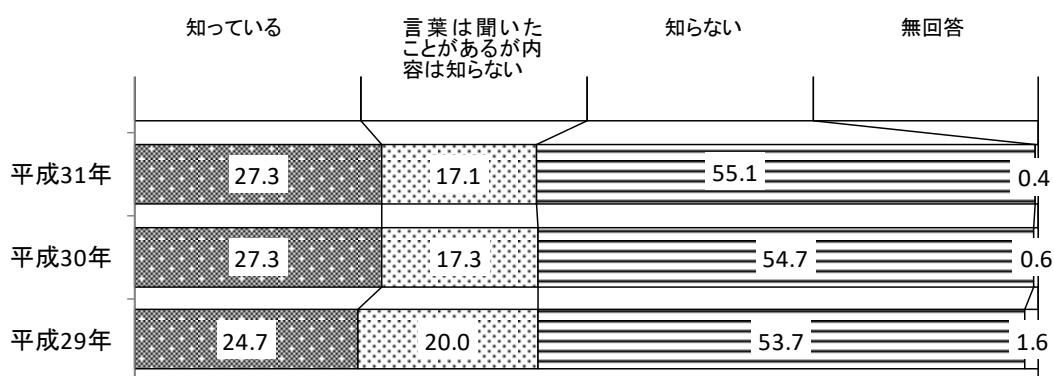


(3) ロコモティブシンドローム(問26)

ロコモティブシンドロームを知っていますか

ロコモティブシンドロームを今回の調査で初めて聞いたという「知らない」人が55.1%と半数を占めた。「知っている」は27.3%、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」は17.1%となっている。

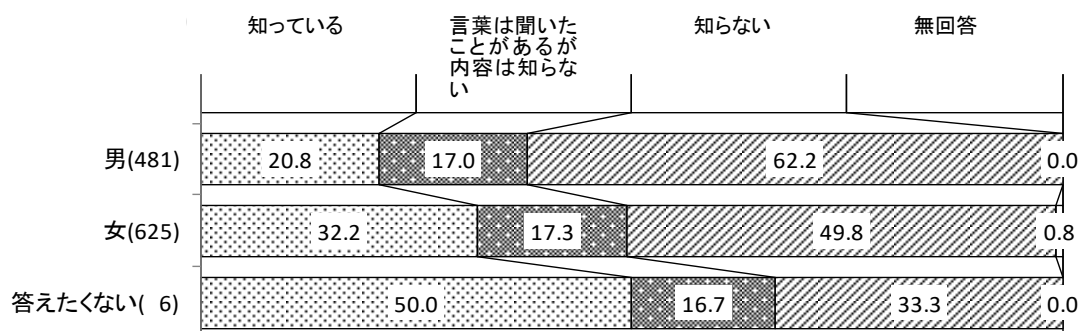
昨年度と大きな違いはなく、理解はあまり進んでいない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 知っている	305	27.3	255	27.3	280	24.7
2 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない	191	17.1	162	17.3	227	20.0
3 知らない(今回の調査で初めて聞いた)	615	55.1	511	54.7	610	53.7
4 無回答	5	0.4	6	0.6	18	1.6
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

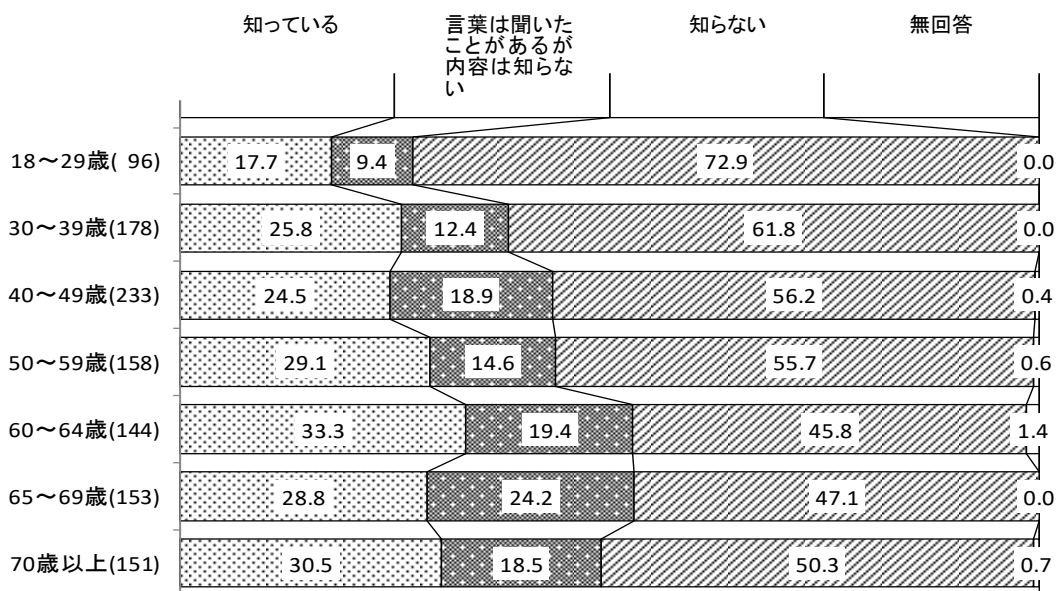
【性別】

- 「知っている」割合は、女性では3割、男性で2割となっており、女性の方が理解は進んでいる。
- 男性では6割が今回の調査で初めて知ったとしている。
- いずれも昨年度から変わっていない。



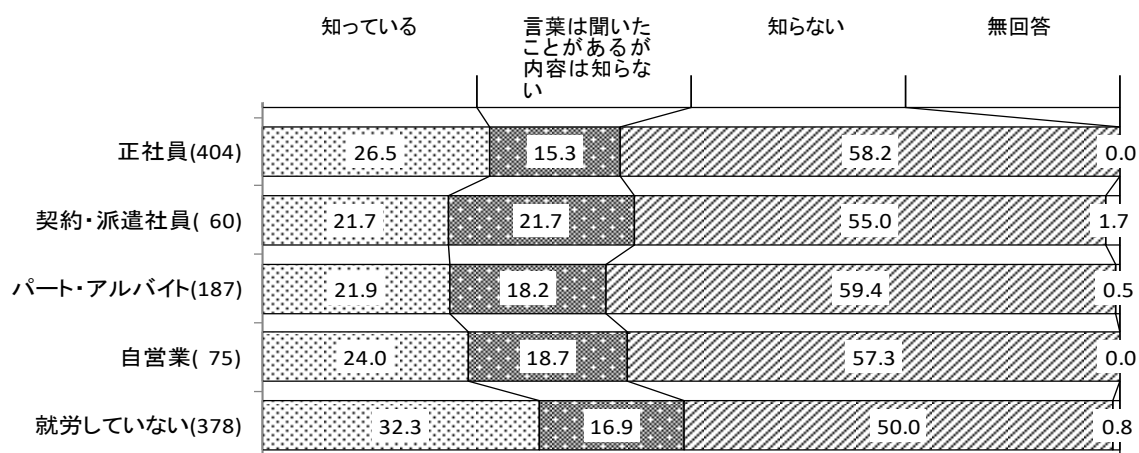
【年齢別】

- 50代以上では「知っている」が3割前後見られるが、30代、40代では25%前後、20代以下の若い年齢層では2割以下となっている。



【職業別】

- 就労していない場合は「知っている」が3割を超えているが、他の職業では25%前後にとどまり、半数以上が知らない状況となっている。

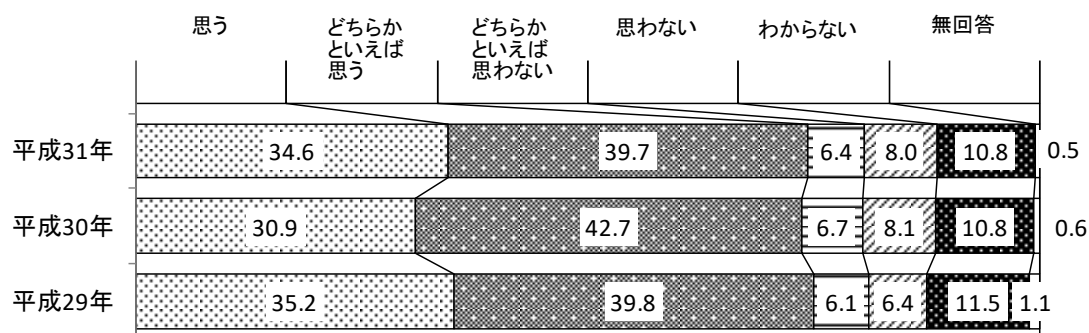


4. 生涯学習等について

(1) 生きがいを持った生活(問28)

あなたは、生きがいを持って生活していると思いますか？

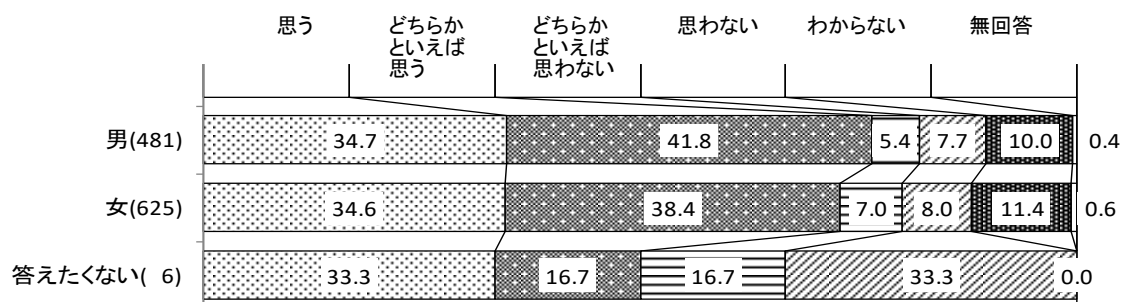
生きがいを持って生活していると思う人(「思う」+「どちらかといえば思う」)は74.3%と7割以上を占める。思わない人(「思わない」+「どちらかといえば思わない」)は14.4%、「わからない」は10.8%となっている。
昨年度と大きな違いは見られない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 思う	386	34.6	289	30.9	399	35.2
2 どちらかといえば思う	443	39.7	399	42.7	452	39.8
3 どちらかといえば思わない	71	6.4	63	6.7	69	6.1
4 思わない	89	8.0	76	8.1	73	6.4
5 わからない	121	10.8	101	10.8	130	11.5
6 無回答	6	0.5	6	0.6	12	1.1
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

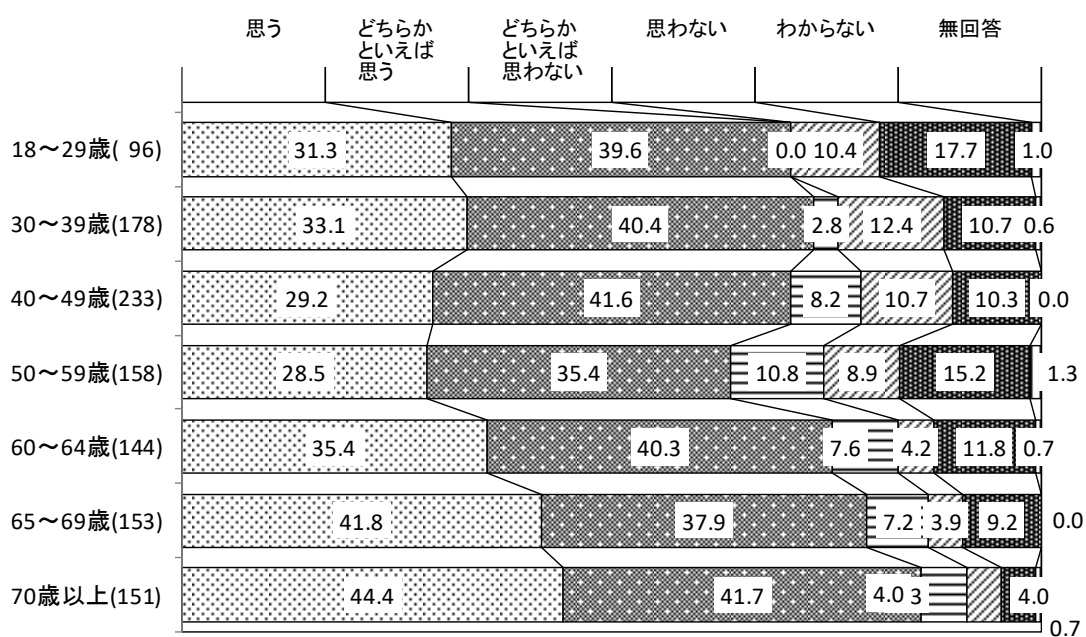
【性別】

- 生きがいをもって生活していると思う人（「思う」+「どちらかといえば思う」）の割合は、男性 76.5%、女性 73.0%と男性の方がやや高いが、大きな違いは見られない。



【年齢別】

- 生きがいをもって生活していると思う人（「思う」+「どちらかといえば思う」）の割合は、50代で63.9%と低い以外は、いずれの年代も70%以上を占め、70歳以上では86.1%と高い。



(2) 生涯学習について

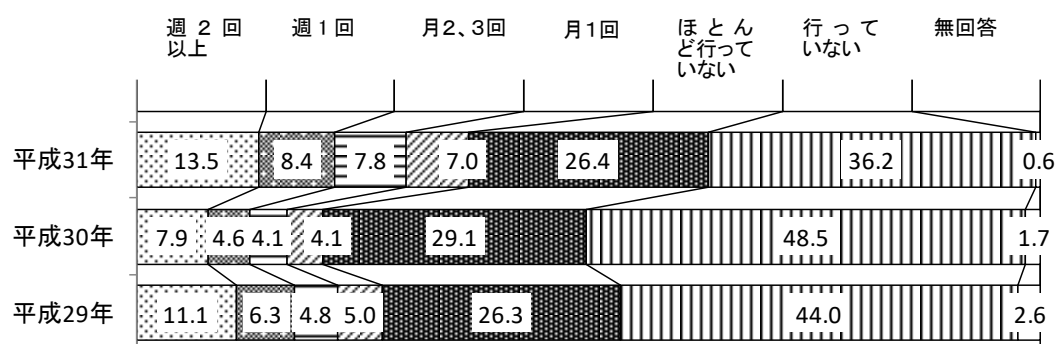
①生涯学習の実施（問29）

あなたは、生涯学習（学び：文化活動、趣味、レクリエーション活動など）をどのくらい行っていますか。

生涯学習を行っている人は36.7%となっており、「ほとんど行っていない」26.4%、「行っていない」36.2%を合わせると6割の人は行っていない。

なお、行っている人の頻度では、「週2回以上」が13.5%と最も高い。

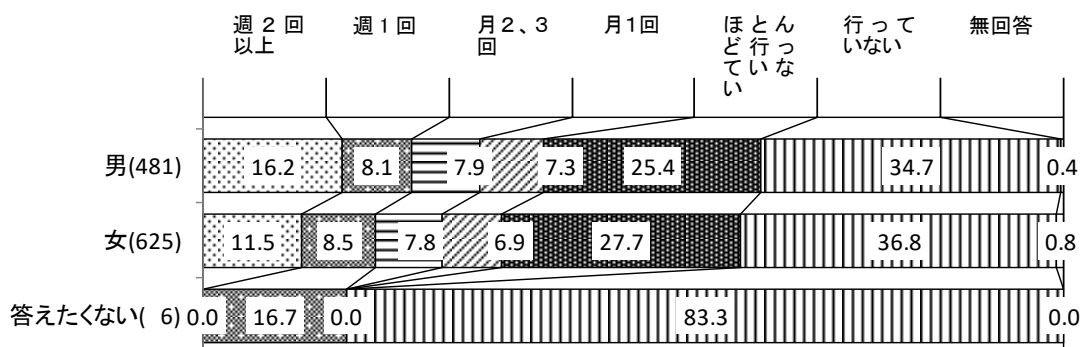
昨年度までは「目標・目的を持って生涯学習を行っているか」との問いであったため、厳密には比較できないものの、参考までに比較すると、生涯学習を行っている人は16ポイント増加している。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 週2回以上行っている	151	13.5	74	7.9	126	11.1
2 週1回行っている	94	8.4	43	4.6	72	6.3
3 月2、3回行っている	87	7.8	38	4.1	54	4.8
4 月1回行っている	78	7.0	38	4.1	57	5.0
5 ほとんど行っていない	295	26.4	272	29.1	298	26.3
6 行っていない	404	36.2	453	48.5	499	44.0
7 無回答	7	0.6	16	1.7	29	2.6
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

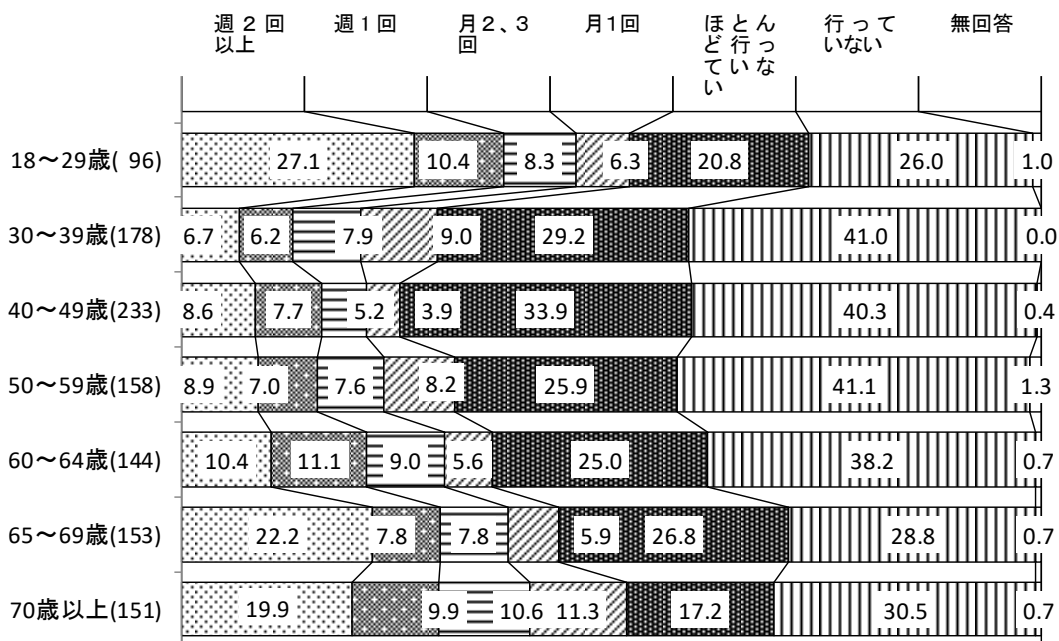
【性別】

- 男女別にみると、生涯学習を行っている人の割合は、男性 39.5%、女性 34.7%とやや男性の方が多い。特に男性は「週2回以上」の高頻度の割合が 16.2%と高い。



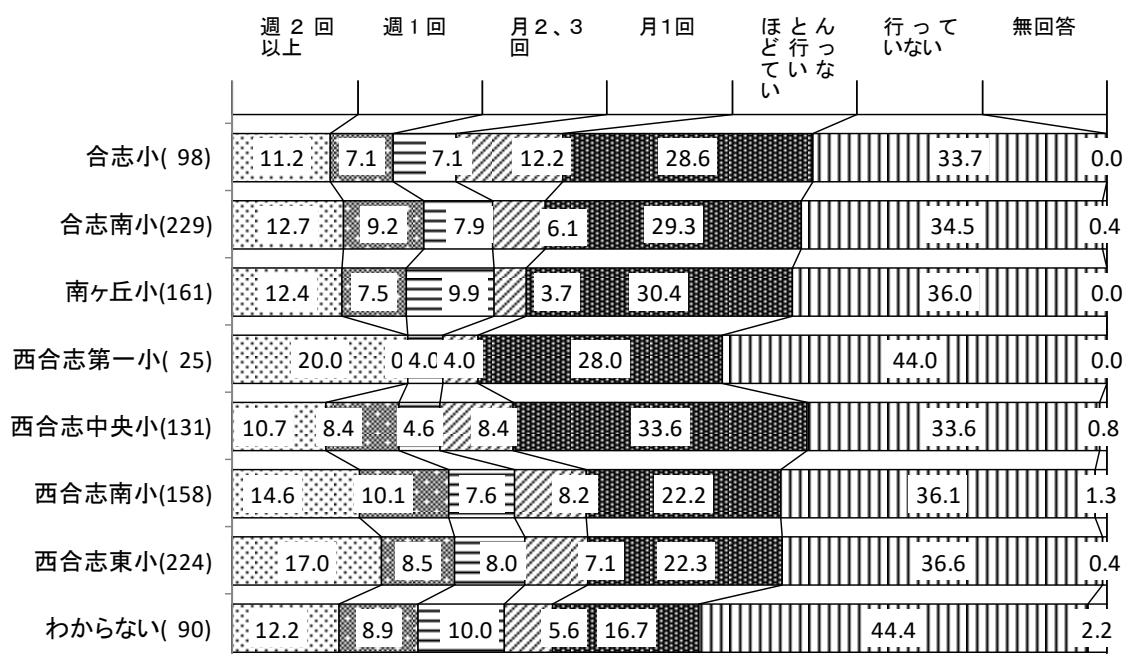
【年齢別】

- 生涯学習を行っている割合は、子育て、働き盛り世代の30代～50代では3割弱と低いが、40代を境に年齢とともに増加する傾向が見られ、40代では 25.4%だが、70歳以上の高齢者では 51.7%と半数に達する。
- また、20代以下の若い年齢層でも半数が行っており、週2回以上の高頻度で行っている割合も高い。



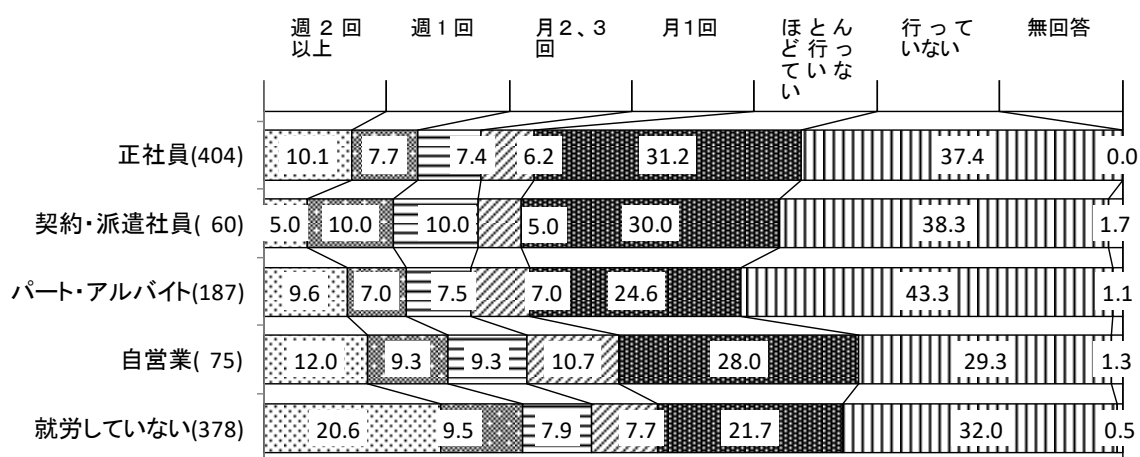
【校区別】

- 校区によって大きな違いは見られない。



【職業別】

- 生涯学習を行っている割合は、正社員、契約・派遣社員、パート・アルバイトでは3割程度となっている。自営業は41.3%とやや高い。

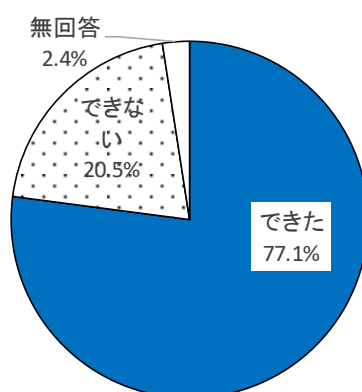


②生涯学習を通じた仲間づくり（問30）

問29で1～4と答えた方に。

あなたは、生涯学習を通じて仲間ができましたか。

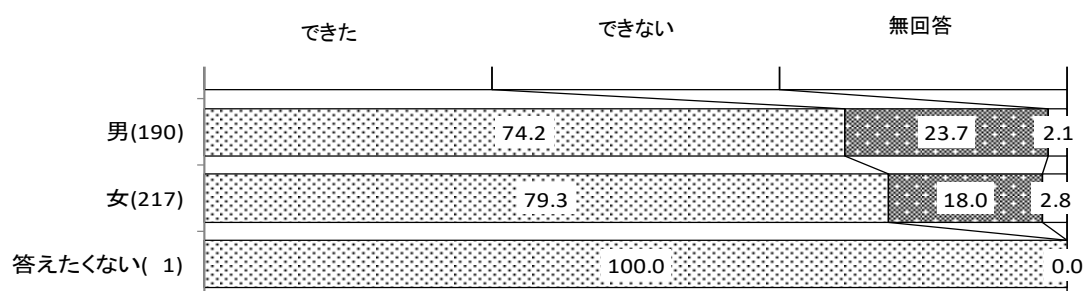
生涯学習を行っている410人に生涯学習を通じて仲間ができたかを尋ねたところ、77.1%が「できた」としている。



	平成31年度	
	人	%
1 できた	316	77.1
2 できない	84	20.5
3 無回答	10	2.4
合計	410	100.0

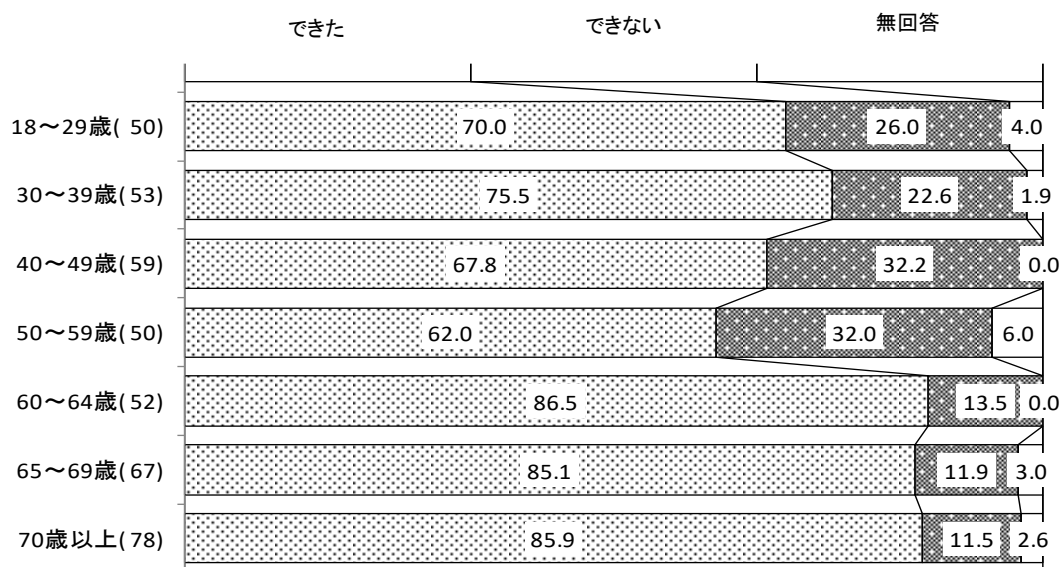
【性別】

- 男女別にみると、仲間ができたという割合は、女性 79.3%、男性 74.2%とやや女性を上回っているものの、大きな差は見られない。



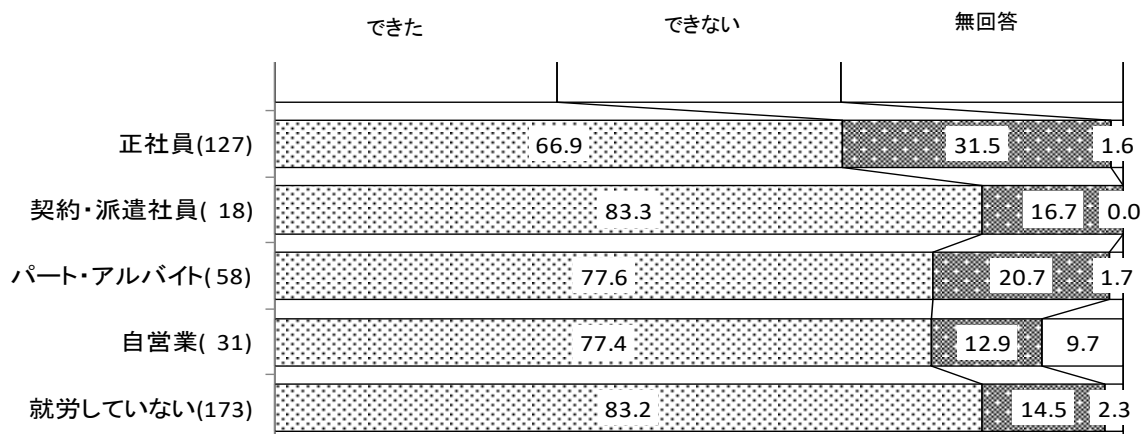
【年齢別】

- 仲間ができたという割合は、60 歳以上の高齢者では 85%以上と高いが、50 代以下では 7 割前後にとどまる。



【職業別】

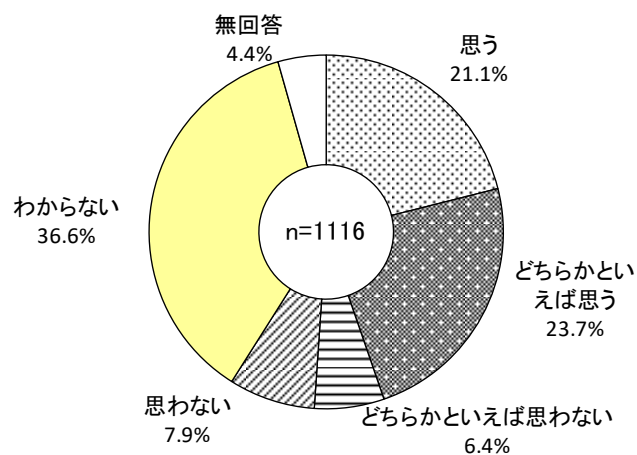
- 仲間ができたという割合は正社員が最も低く 66.9%にとどまるが、他の職業は 8 割前後ができたとしている。



③生涯学習の機会（問31）

あなたは、合志市には生涯学習に親しむ機会があると思いますか。

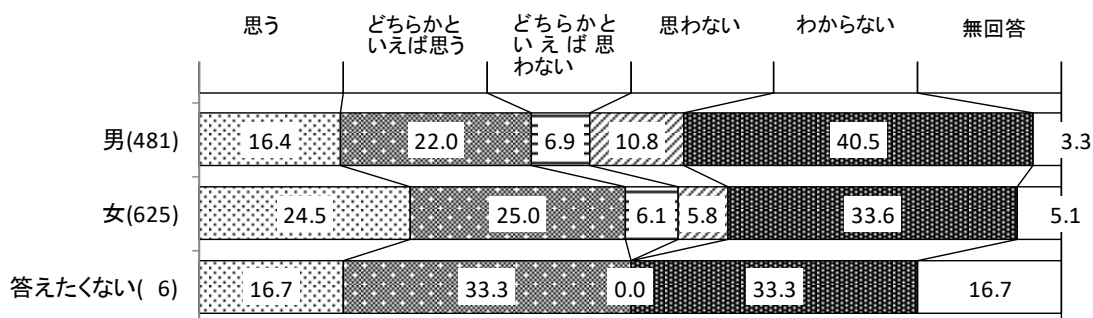
生涯学習に親しむ機会があると思う（「思う」＋「どちらかといえば思う」）は44.8%と、思わない（「思わない」＋「どちらかといえば思わない」）14.3%を上回っている。なお「わからない」は36.6%となっている。



	平成31年度	
	人	%
1 思う	235	21.1
2 どちらかといえば思う	264	23.7
3 どちらかといえば思わない	71	6.4
4 思わない	88	7.9
5 わからない	409	36.6
6 無回答	49	4.4
合計	1116	100.0

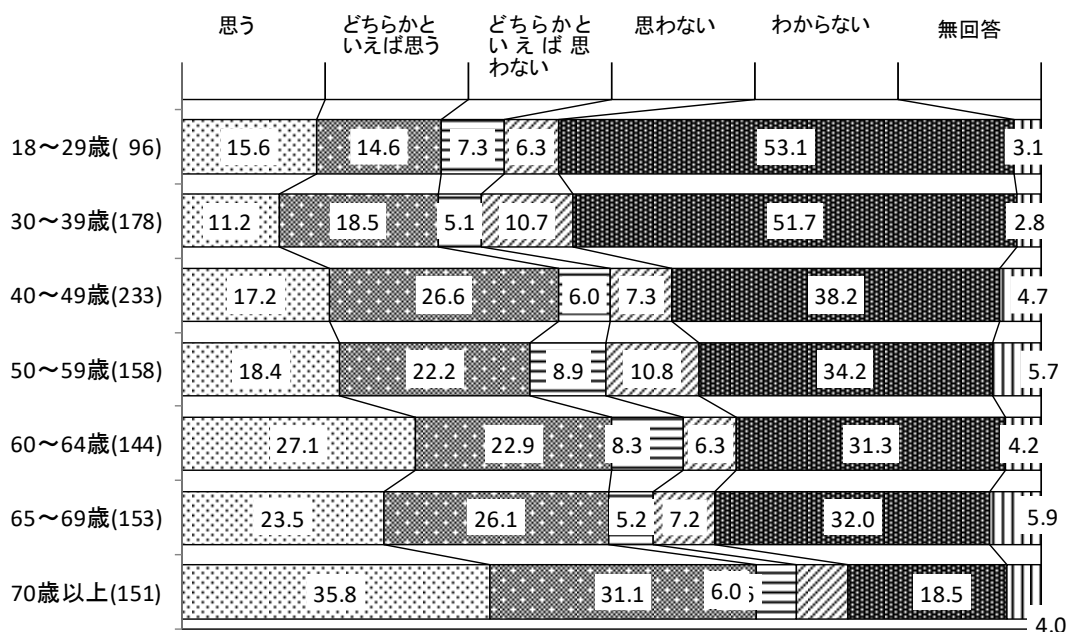
【性別】

●生涯学習に親しむ機会があると思う割合は、男性38.4%、女性49.5%と女性が上回っている。



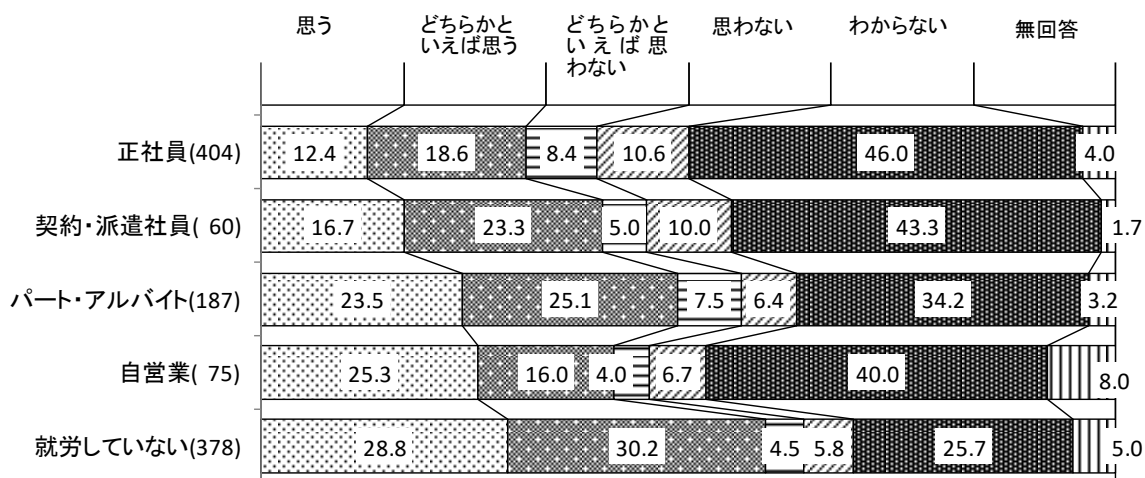
【年齢別】

- 生涯学習に親しむ機会があると思う人の割合は、30代以下の若い層では3割、40代～50代の働き盛りでは4割、60歳以上の高齢層では半数以上となっており、年齢とともに高くなる傾向が見られる。



【職業別】

- 生涯学習に親しむ機会があると思う人の割合は、正社員が最も低く31.0%にとどまる。



(3) スポーツについて

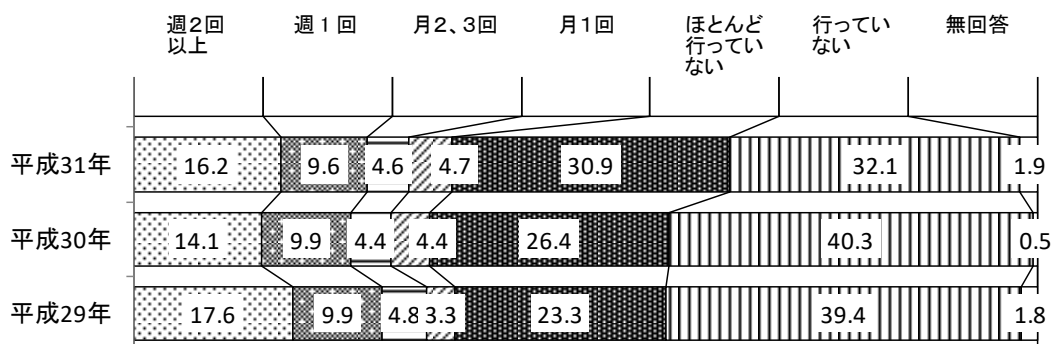
①スポーツの実施（問32）

あなたは、スポーツをどのくらい行っていますか。

スポーツを行っている人は35.1%となっており、「ほとんど行っていない」30.9%、「行っていない」32.1%を合わせると6割の人はスポーツを行っていない。

なお、行っている人の頻度では、「週2回以上」が16.2%と最も高い。

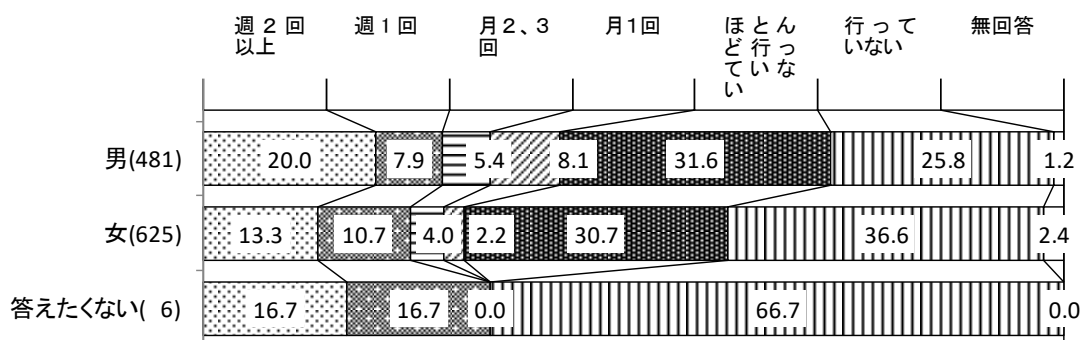
昨年度までは「目標・目的を持ってスポーツを行っているか」との問いであったため、厳密には比較できないものの、参考までに比較すると、スポーツを行っている人の割合に大きな変化はない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 週2回以上行っている	181	16.2	132	14.1	200	17.6
2 週1回行っている	107	9.6	92	9.9	112	9.9
3 月2、3回行っている	51	4.6	41	4.4	55	4.8
4 月1回行っている	53	4.7	41	4.4	37	3.3
5 ほとんど行っていない	345	30.9	247	26.4	264	23.3
6 行っていない	358	32.1	376	40.3	447	39.4
7 無回答	21	1.9	5	0.5	20	1.8
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

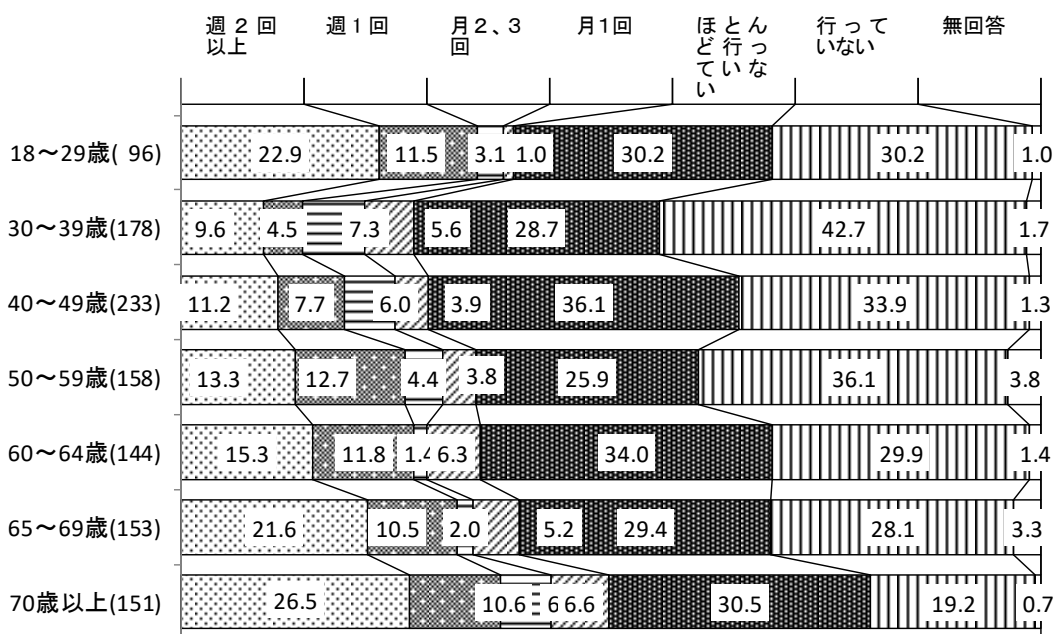
【性別】

- 男女別にみると、スポーツを行っている人の割合は、男性 41.4%、女性 30.2%と男性が上回っている。特に男性は「週2回以上」の高頻度の割合が2割を占める。



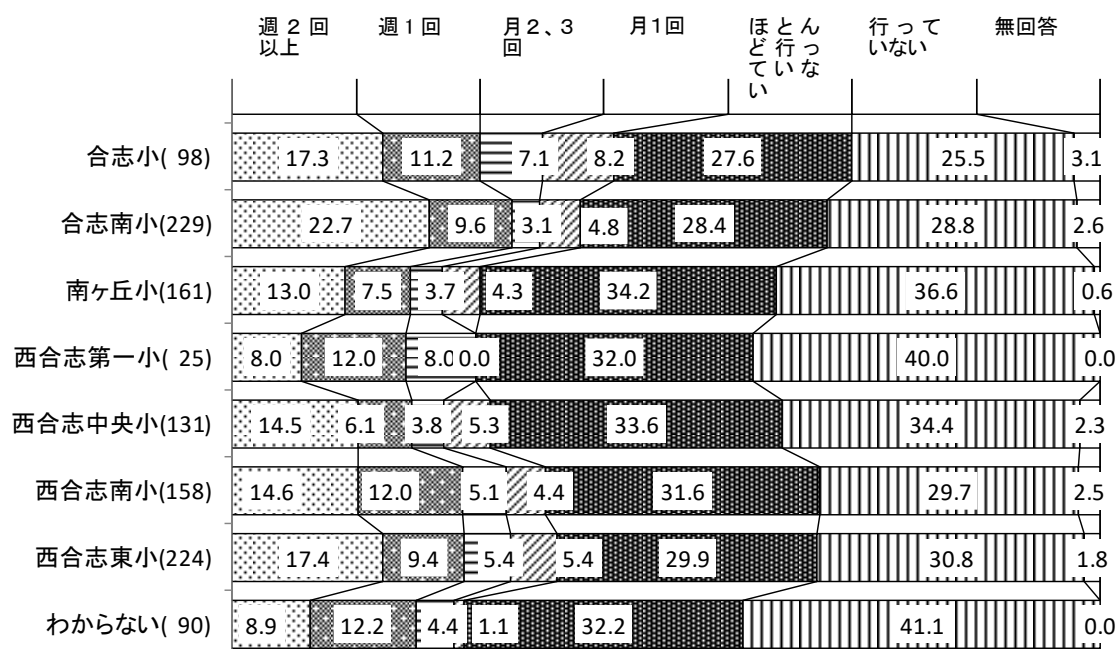
【年齢別】

- スポーツを行っている割合は、20代以下の若い年齢層では38.5%と高いが、30代で27.0%に減少、その後は年齢とともに増加傾向となり、70歳以上の高齢者では49.7%となる。
- しかしながら30代、40代の子育て世代では7割がスポーツを行っていない状況となっている。



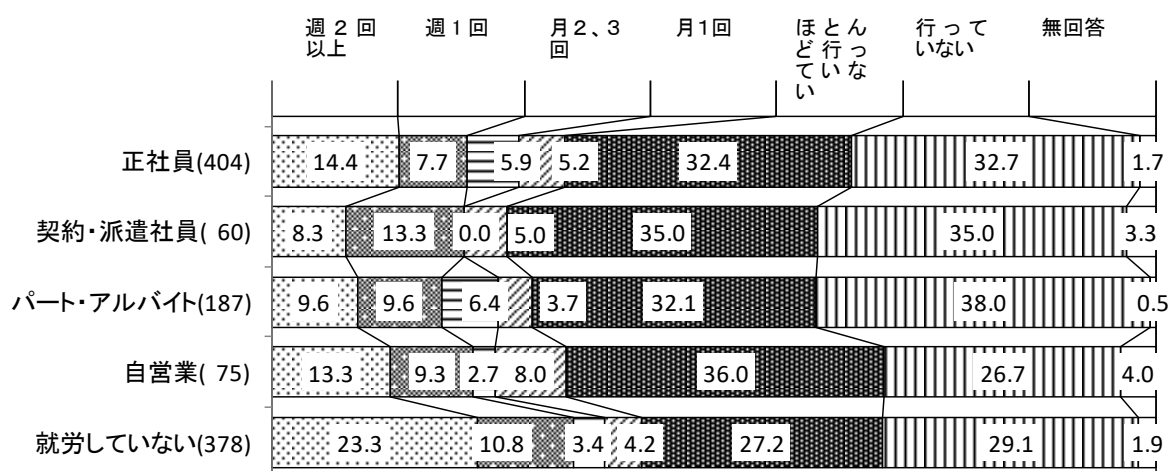
【校区別】

- 南ヶ丘小、西合志第一小、西合志中央小では、スポーツを行っている割合が3割未満と他の校区よりやや低い結果となっている。



【職業別】

- 契約・派遣社員、パート・アルバイトといった非正規雇用の人でスポーツを行っている割合が3割未満とやや低い傾向となっている。

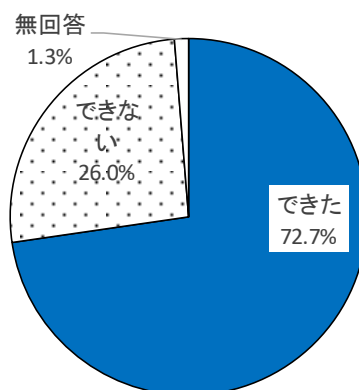


②スポーツを通じた仲間づくり（問33）

問32で1～4と答えた方に。

あなたは、スポーツを通じて仲間ができましたか。

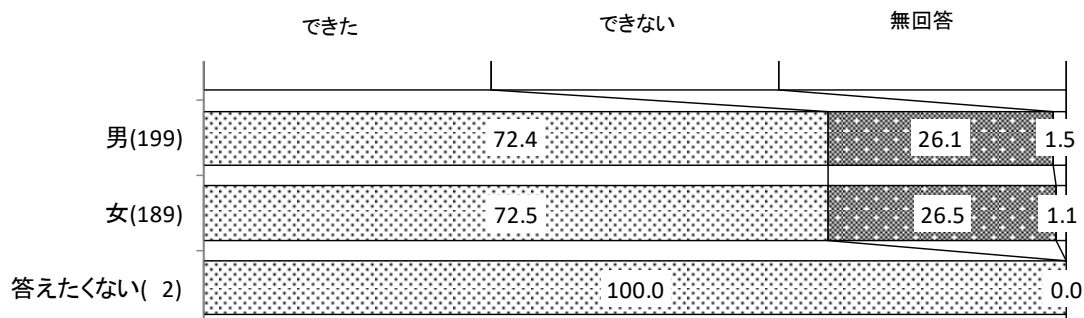
スポーツを行っている392人について、スポーツを通じて仲間ができたかを尋ねたところ、72.7%が「できた」としている。



	平成31年度	
	人	%
1 できた	285	72.7
2 できない	102	26.0
3 無回答	5	1.3
合計	392	100.0

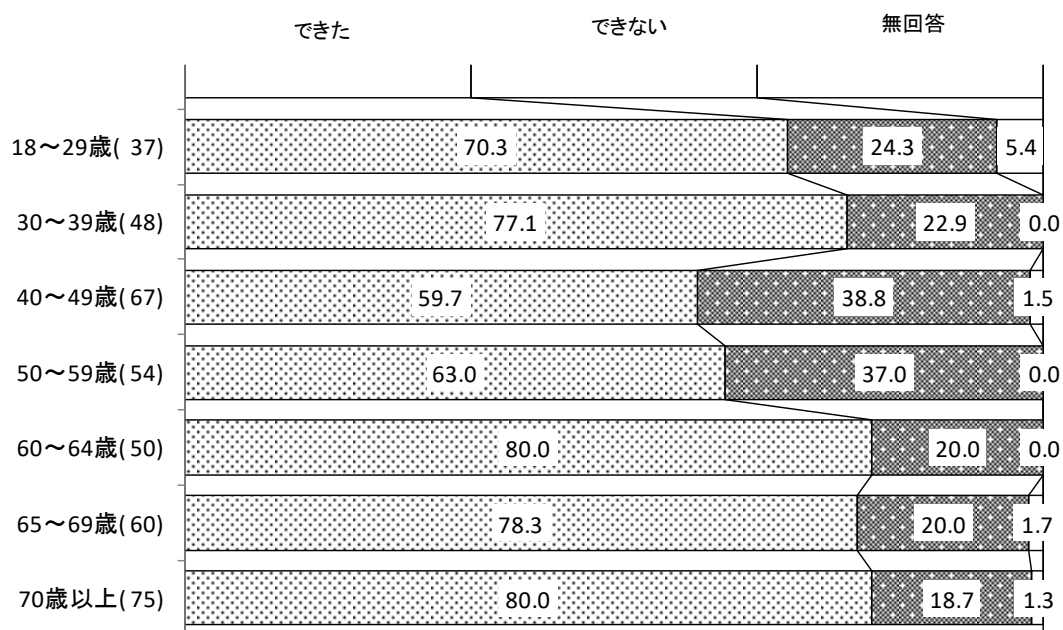
【性別】

●男女別にみても、大きな違いは見られない。



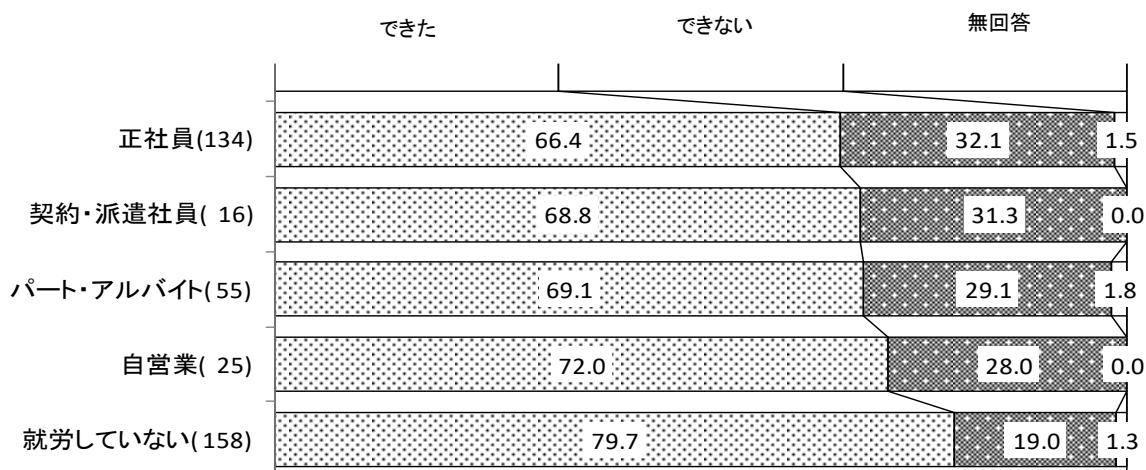
【年齢別】

- 仲間ができたという割合は、60歳以上の高齢者では8割と高い。40代～50代では6割前後、30代以下の若い年齢層では7割となっている。



【職業別】

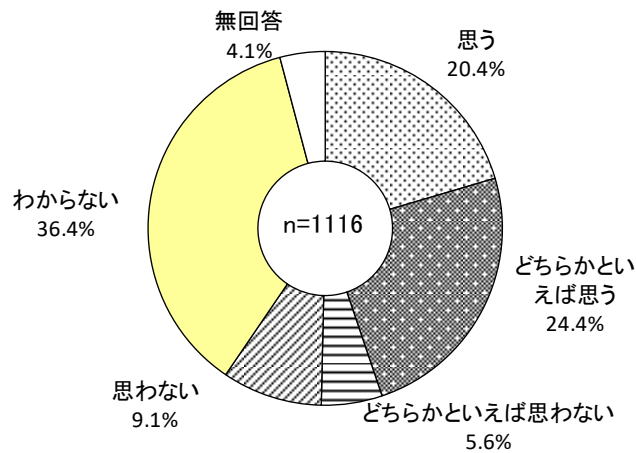
- 職業別にみても、大きな違いは見られない。



③スポーツの機会（問34）

あなたは、合志市にはスポーツに親しむ機会があると思いますか。

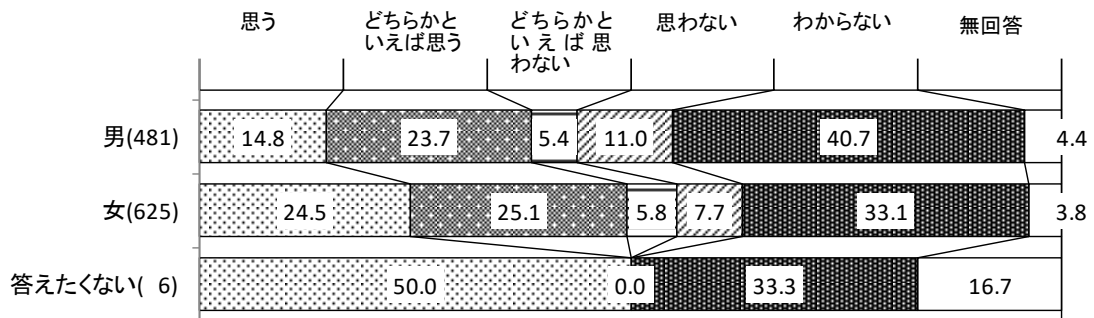
スポーツに親しむ機会があると思う（「思う」＋「どちらかといえば思う」）は44.8%と、思わない（「思わない」＋「どちらかといえば思わない」）14.7%を上回っている。なお「わからない」は36.4%となっている。



	平成31年度	
	人	%
1 思う	228	20.4
2 どちらかといえば思う	272	24.4
3 どちらかといえば思わない	62	5.6
4 思わない	102	9.1
5 わからない	406	36.4
6 無回答	46	4.1
合計	1116	100.0

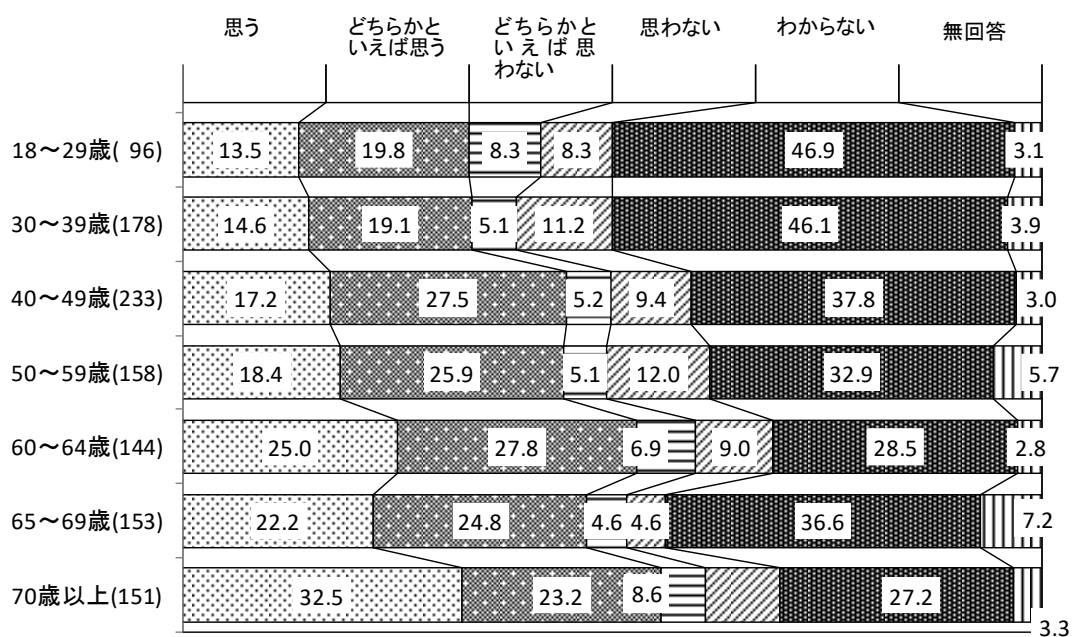
【性別】

●スポーツに親しむ機会があると思う割合は、男性38.5%、女性49.6%と女性が上回っている。



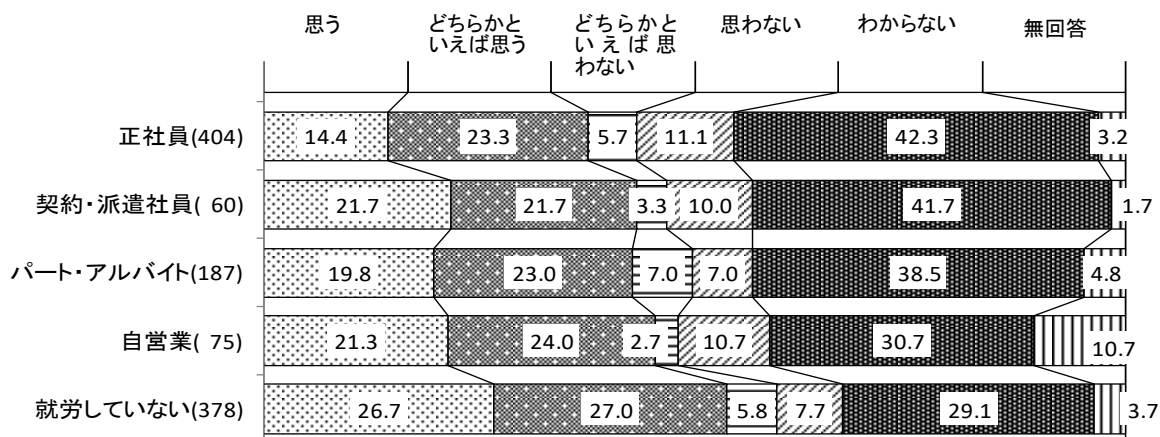
【年齢別】

- スポーツに親しむ機会があると思う人の割合は、30代以下の若い層では3割、40代～50代の働き盛りでは4割、60歳以上の高齢層では半数以上となっており、年齢とともに高くなる傾向が見られる。



【職業別】

- 正社員でスポーツに親しむ機会があると思う割合が37.7%とやや低い傾向となっている。

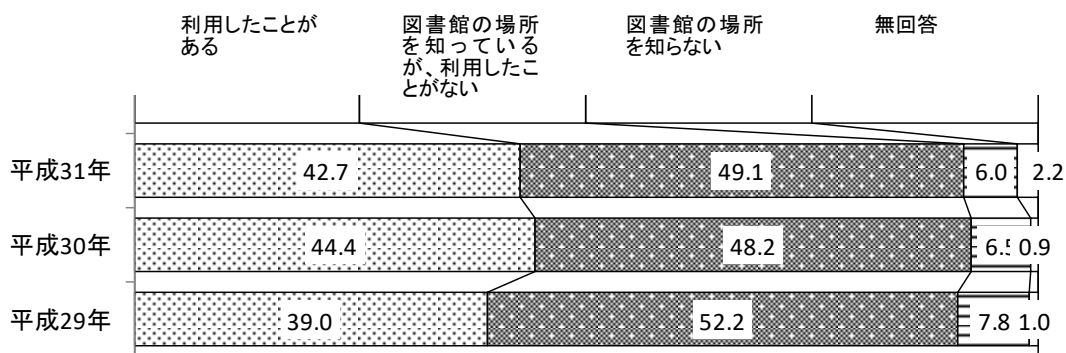


(4) 図書館の利用(問35)

あなたは、過去1年間に図書館を利用したことがありますか？

過去1年間に図書館を利用した人は42.7%である。利用したことはないものの場所を知っている人は49.1%と半数を占め、「図書館の場所を知らない」人は6.0%となっている。

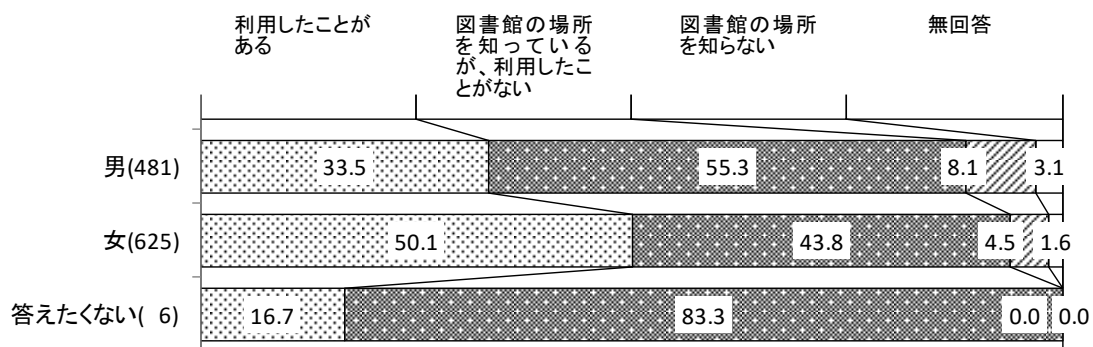
昨年度から大きな変化はない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 利用したことがある	476	42.7	415	44.4	443	39.0
2 図書館の場所は知っているが利用したことがない	548	49.1	450	48.2	592	52.2
3 図書館の場所を知らない	67	6.0	61	6.5	89	7.8
4 無回答	25	2.2	8	0.9	11	1.0
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

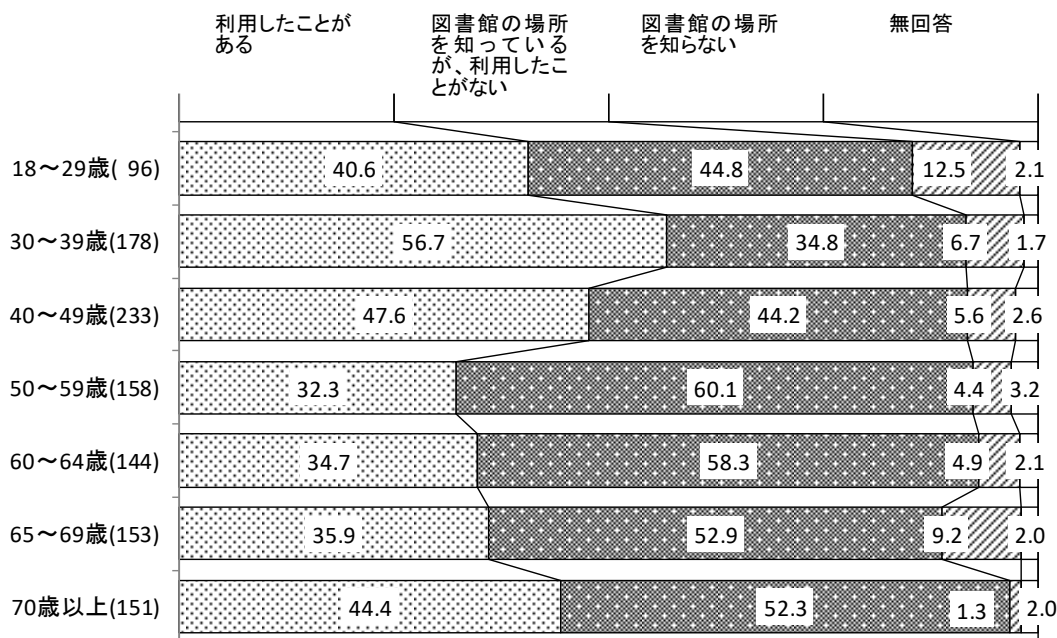
【性別】

- 女性では「利用したことがある」が50.1%と半数を超えているが、男性では33.5%にとどまる。この傾向は昨年度から変わっていない。



【年齢別】

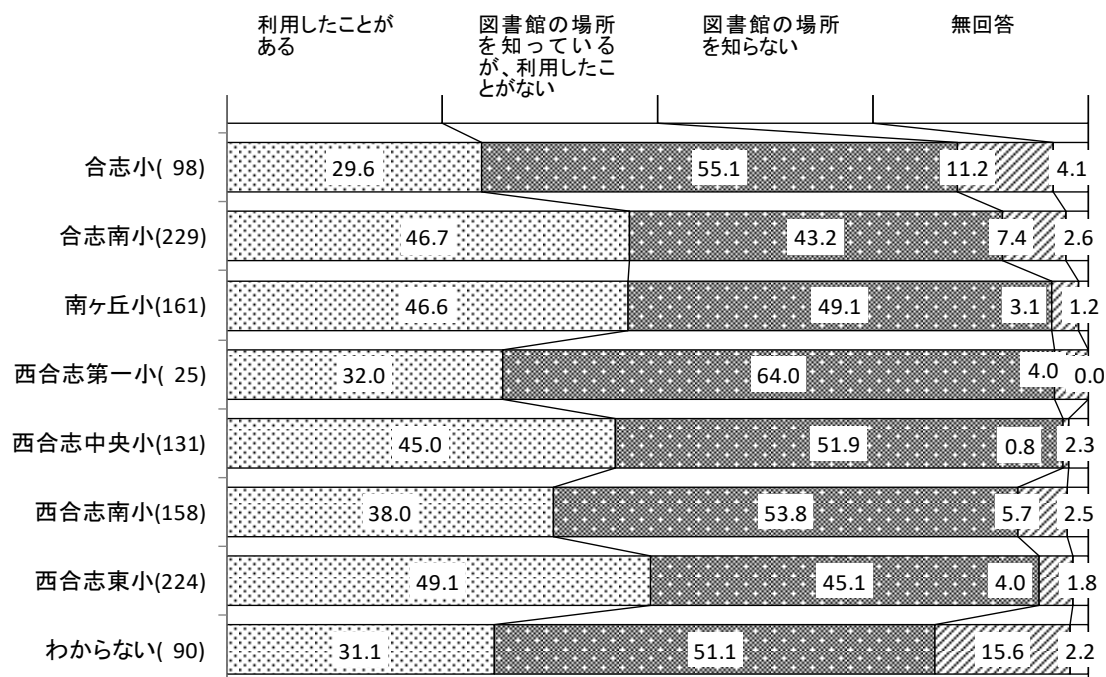
- 「利用したことがある」割合は30代、40代の子育て世代で高い傾向となっている。
- 昨年度から大きな変化はない。



【校別】

- 「利用したことがある」割合は、合志小、西合志第一小で3割前後とやや低い傾向となっている。

※西合志第一小は回答数が少ないため、注意が必要である。



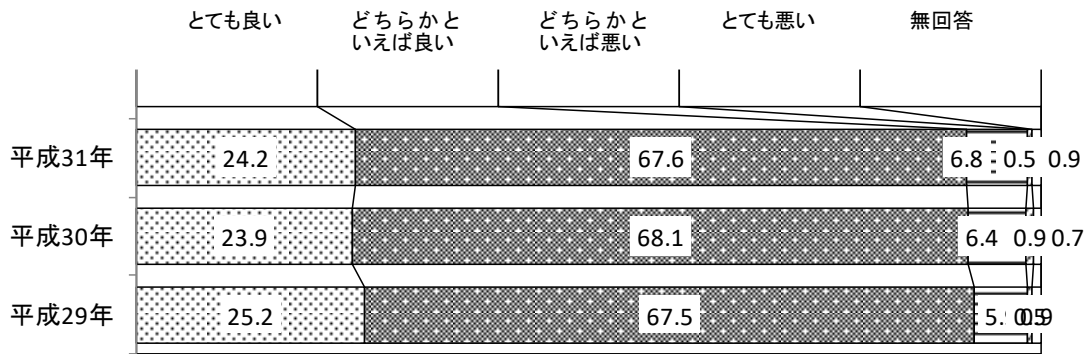
◆生活環境について

1. 住環境の評価

(1) 住環境評価（問48）

あなたが住んでいるところは、良い住環境だと思いますか？

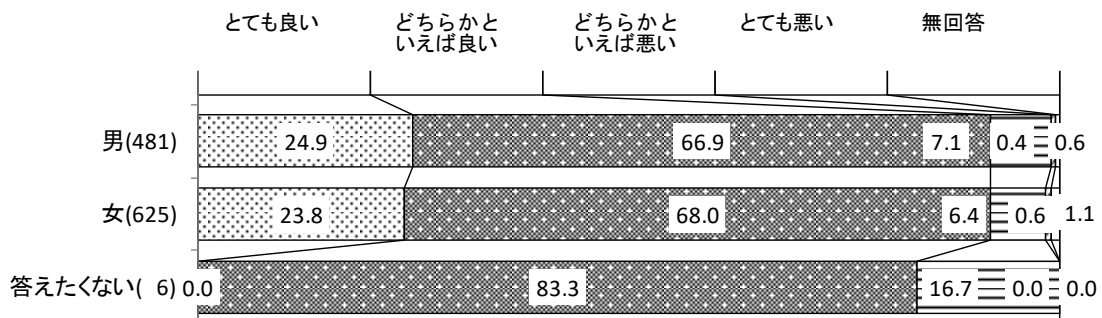
住環境について、「とても良い」24.2%、「どちらかといえば良い」67.6%を合わせると9割以上の方が良いと評価しており、悪いという評価は7.3%にとどまる。昨年度と比較しても大きな違いは見られない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 とても良いと思う	270	24.2	223	23.9	286	25.2
2 どちらかといえば良いと思う	754	67.6	636	68.1	766	67.5
3 どちらかといえば悪いと思う	76	6.8	60	6.4	67	5.9
4 とても悪いと思う	6	0.5	8	0.9	6	0.5
5 無回答	10	0.9	7	0.7	10	0.9
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

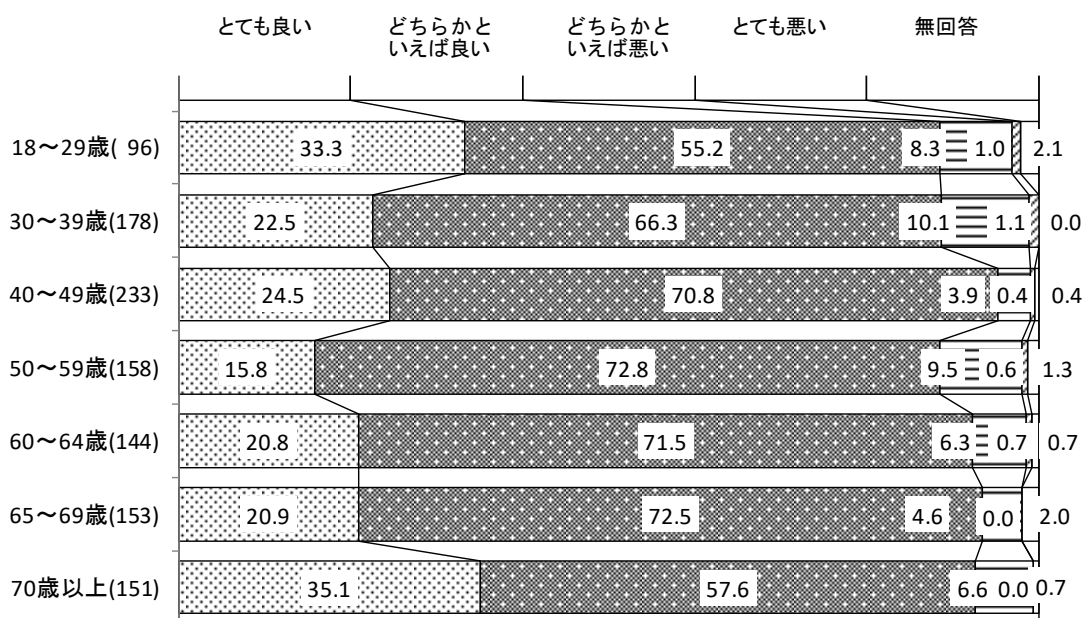
【性別】

●男女で大きな違いは見られない。



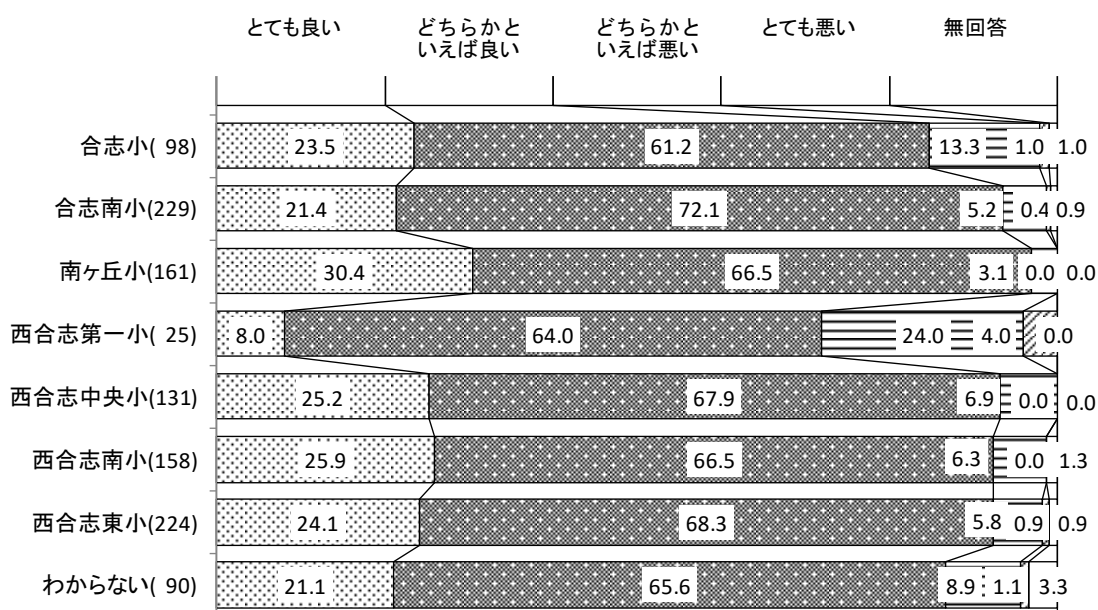
【年齢別】

- 年齢別にみても特に大きな違いはみられないが、20代以下の若い年齢層と70歳以上の高齢者層で「とても良い」が3割以上とやや評価が高い。



【校區別】

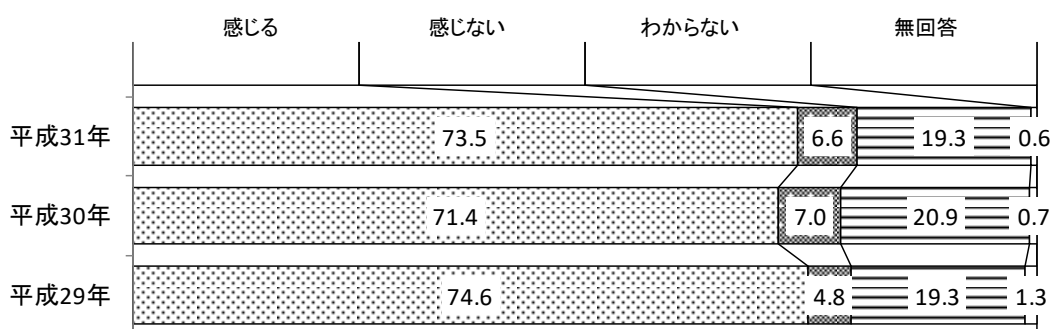
- 住環境を良いと評価する割合は、校区に関係なく高い。中でも南ヶ丘小では昨年同様に3割がとても良いと評価している。



(2) 住み慣れた地域 (問 27)

あなたは、住み慣れた地域で生活できていると感じますか？

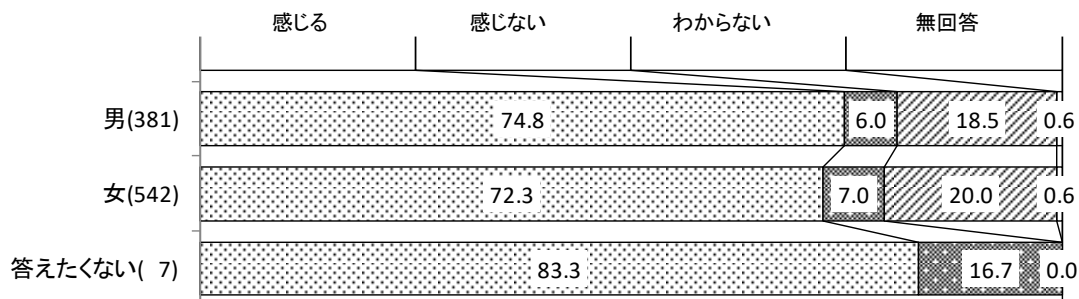
住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人は73.5%と7割を占め、「感じない」は6.6%にとどまる。「わからない」は29.3%となっている。
昨年度と比較しても大きな違いはみられない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 感じる	820	73.5	667	71.4	847	74.6
2 感じない	74	6.6	65	7.0	54	4.8
3 わからない	215	19.3	195	20.9	219	19.3
4 無回答	7	0.6	7	0.7	15	1.3
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

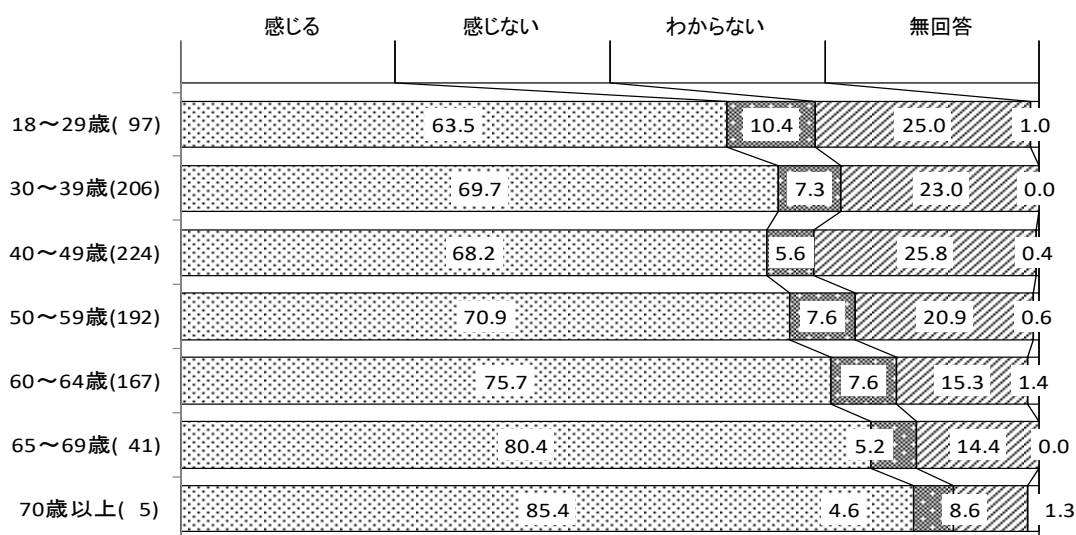
【性別】

●男女で大きな違いは見られない。



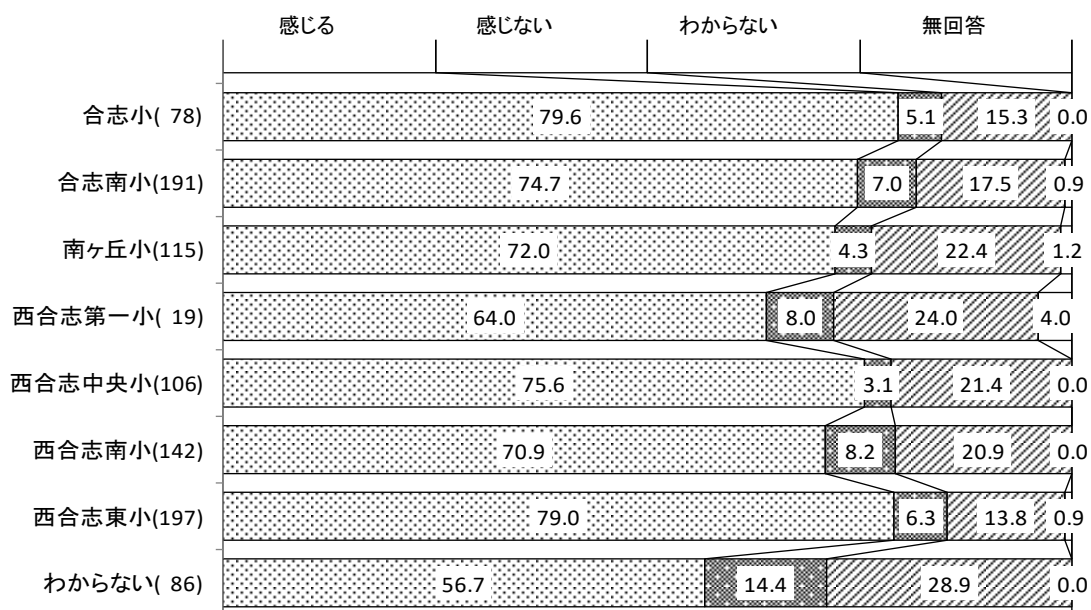
【年齢別】

- 年齢とともに住み慣れた地域で生活していると「感じる」割合は増加する傾向が見られ、18～29歳では63.5%だが、65歳以上では8割を超えている。感じないという割合はいずれの年代でも1割未満となっている。



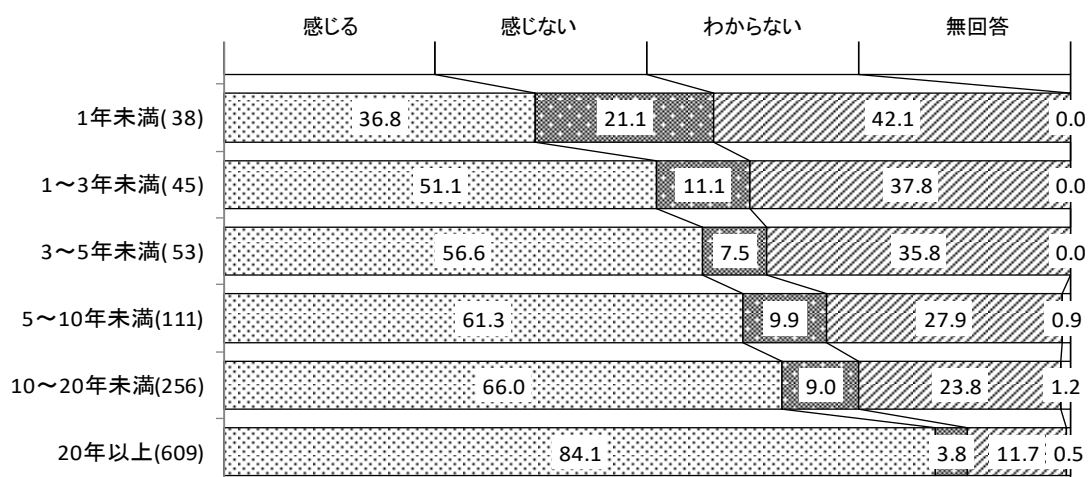
【校区别】

- 校区别にみても大きな違いは見られないものの、住み慣れた地域で暮らしていると「感じる」割合は、西合志東小、合志小でやや高い傾向が見られる。
※西合志第一小は回答数が少ないため、注意が必要である。



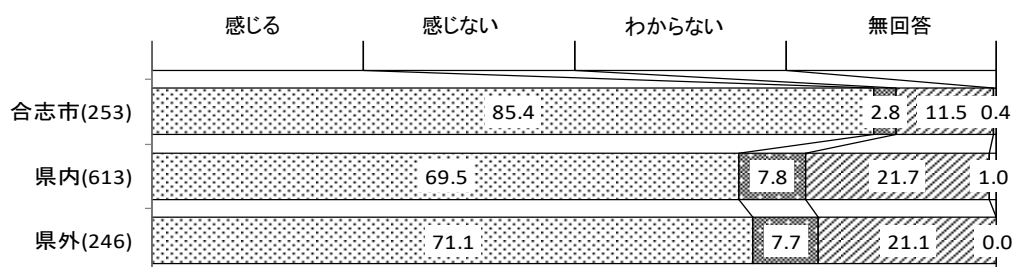
【居住年数別】

- 居住年数が長くなるほど、住み慣れた地域で生活できていると感じる割合は高くなる傾向が見られ、1年を境に半数が住み慣れた地域と感じている。



【出身地別】

- 合志市出身者は85.4%が住み慣れた地域で暮らしていると感じている。しかしながら県内、県外出身でも7割と高い。

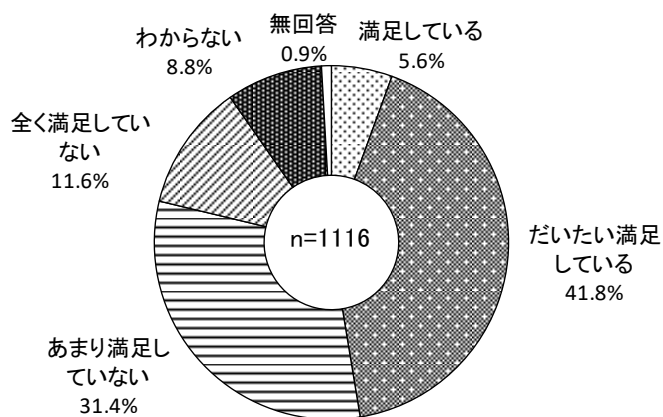


2. 交通について

(1) 道路移動の満足度 (問50)

あなたは、合志市内の道路の利用に満足していますか？

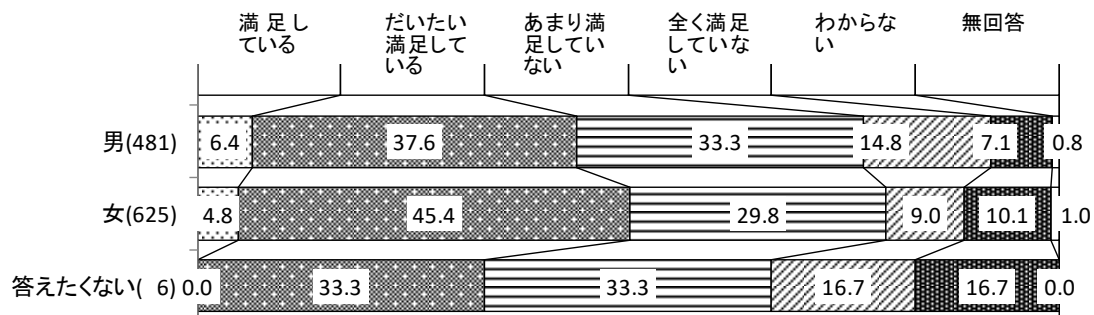
合志市内の道路の利用に満足している（「満足している」＋「だいたい満足している」）は47.4%となっており、満足していない（「全く満足していない」＋「あまり満足していない」）43.0%を若干上回っている。



	平成31年度	
	人	%
1 満足している	62	5.6
2 だいたい満足している	467	41.8
3 あまり満足していない	350	31.4
4 全く満足していない	129	11.6
5 わからない	98	8.8
6 無回答	10	0.9
合計	1116	100.0

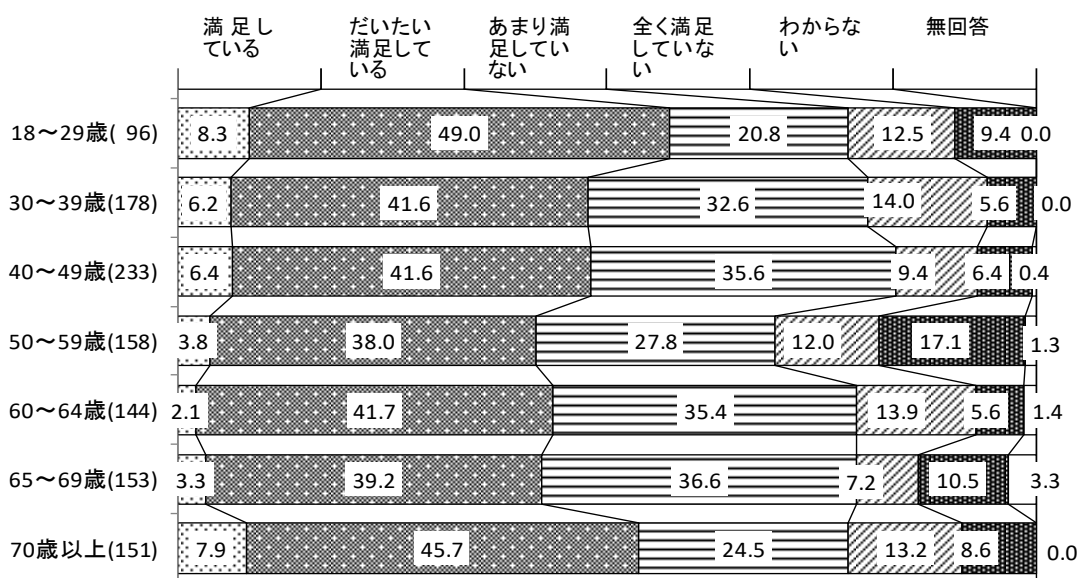
【性別】

- 女性は半数が道路の利用に満足しているが、男性では44.0%とどまり、満足していない人の方が多い。



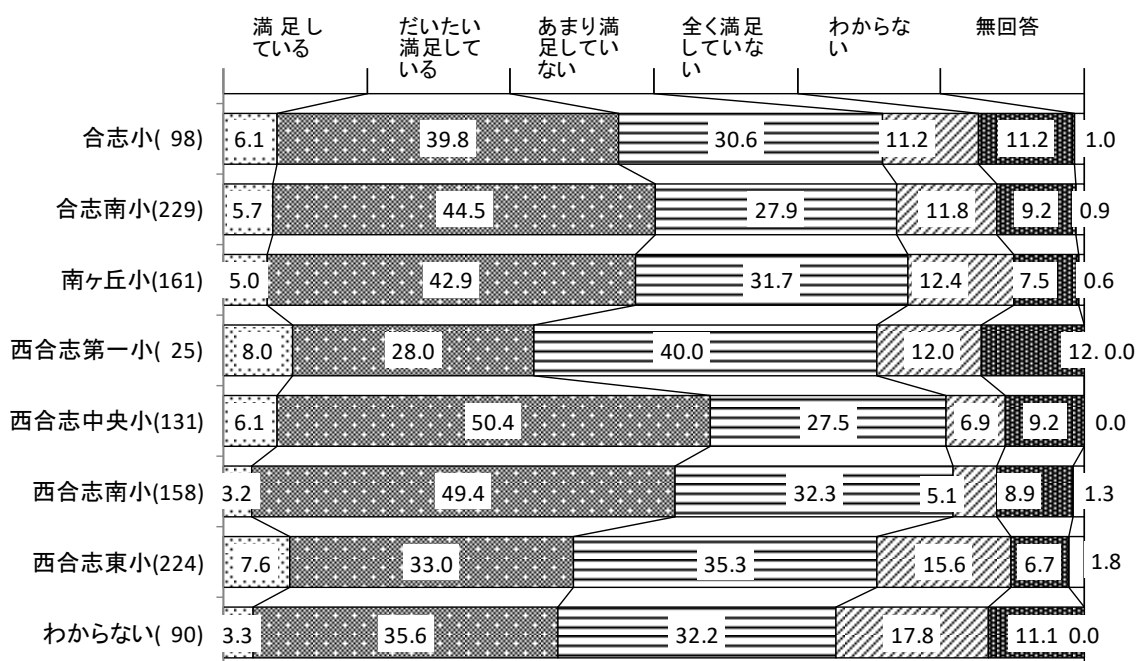
【年齢別】

- 20代以下の若い年齢層と70歳以上の高齢者では満足している割合が半数以上となっている。



【校区別】

- 校区別に見ると西合志中央小、西合志南小、合志南小では満足している割合が半数以上と他の校区よりも高い傾向が見られる。
- 逆に西合志東小、西合志第一小では満足していない人が半数を超えている。
- ※西合志第一小は回答数が少ないため、注意が必要である。



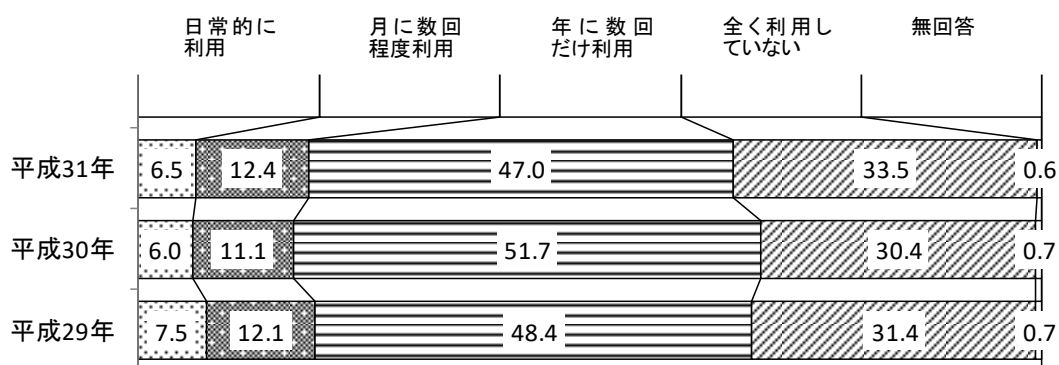
(2) 公共交通の利用について

①公共交通の利用状況(問5 1)

あなたは、どの程度公共交通機関(JR、バス、電車)を利用していますか?

公共交通機関を「日常的に利用している」人は6.5%にとどまり、「年に数回だけ利用している」という人が47.0%で最も多い。「全く利用していない」という人は33.5%となっており、3割の人は公共交通機関を利用していない。

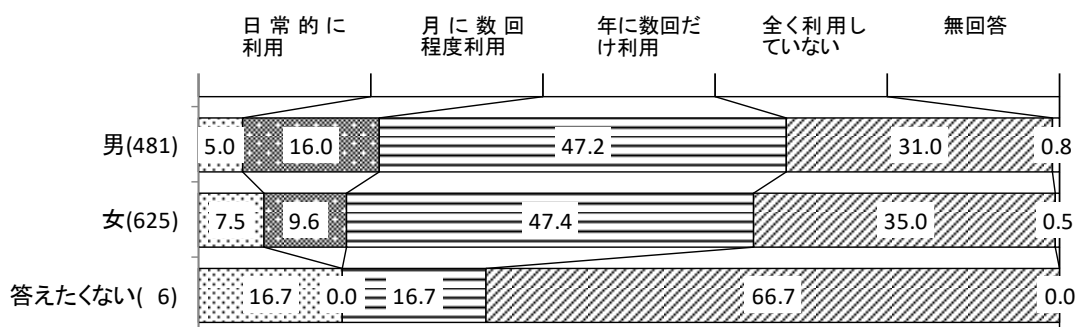
昨年度と比較しても大きな違いは見られない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 日常的に利用している	72	6.5	56	6.0	85	7.5
2 月に数回程度利用している	138	12.4	104	11.1	137	12.1
3 年に数回だけ利用している	525	47.0	483	51.7	549	48.4
4 全く利用していない	374	33.5	284	30.4	356	31.4
5 無回答	7	0.6	7	0.7	8	0.7
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

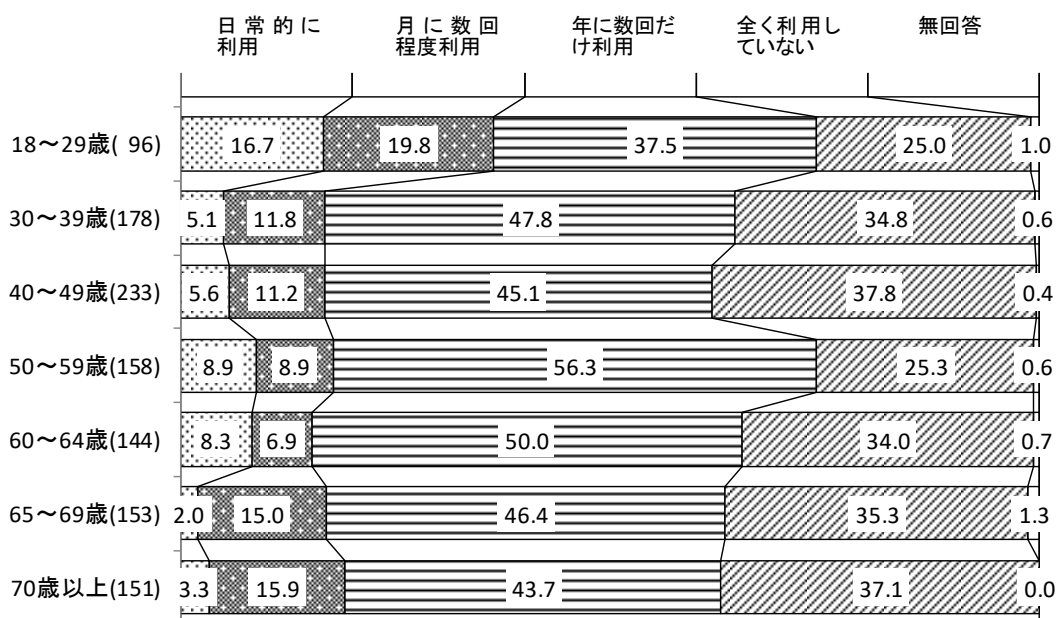
【性別】

●公共交通機関を利用している割合に男女で大きな違いは見られない。



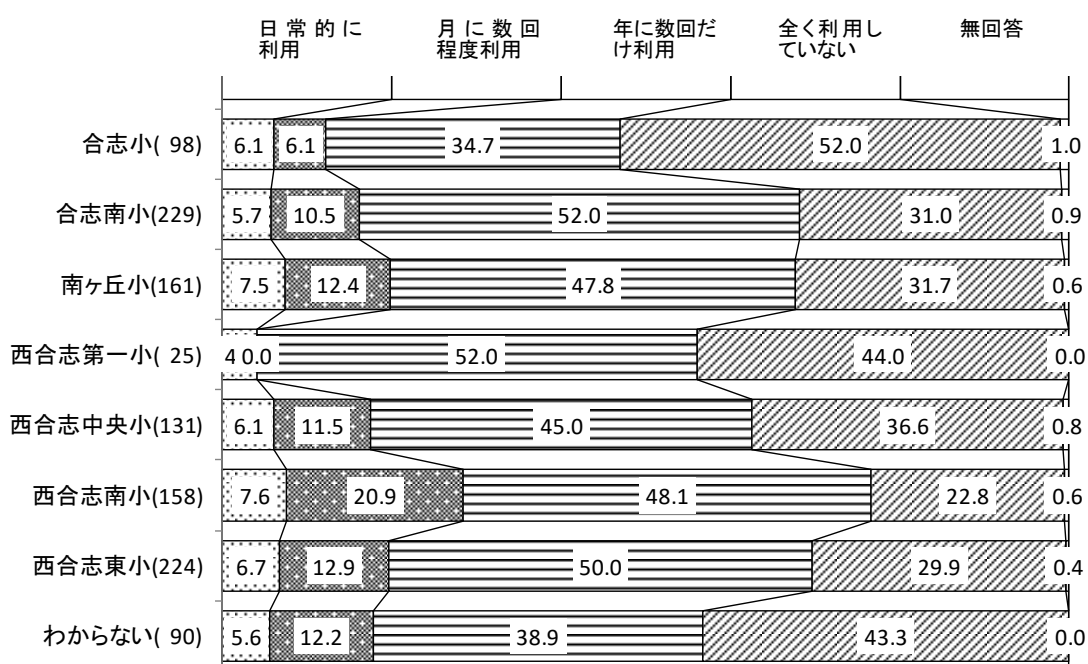
【年齢別】

- 20代以下の若い年齢層では、日常的に利用している割合が16.7%、月数回程度利用も19.8%と他の年代よりも利用している人の頻度がやや高い。



【校区別】

- 西合志南小では公共交通を利用している人の割合が76.6%と他の校区よりも高く、特に2割の人は月に数回程度は利用している。
- 逆に合志小では半数以上が全く利用していない。

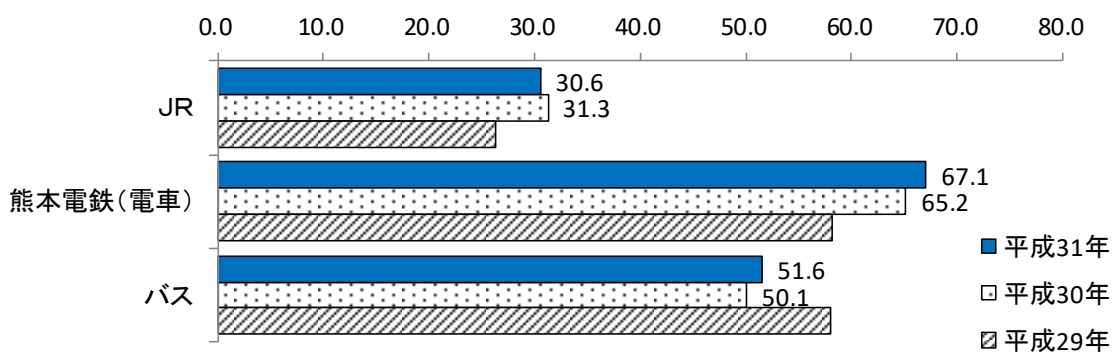


②利用機関（問52）

問51で1～3と答えた方にお尋ねします。

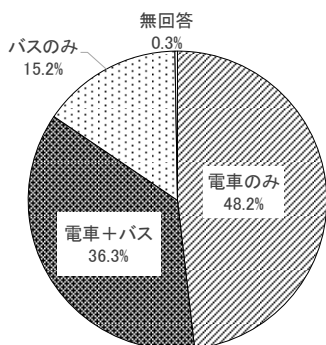
あなたは、どの公共交通機関を利用していますか？

公共交通機関を利用している735人が利用している交通機関としては、「熊本電鉄（電車）」が67.1%、「バス」51.6%、「JR」30.6%となっている。
 昨年度と比較しても大きな違いは見られない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	n=735		n=643		n=771	
	人	%	人	%	人	%
1 JR	225	30.6	201	31.3	203	26.3
2 熊本電鉄(電車)	493	67.1	419	65.2	448	58.1
3 バス	379	51.6	322	50.1	447	58.0

（参考）利用公共交通機関の組み合わせ



参考までに735人の公共交通機関の利用組み合わせを見ると、JRや熊本電鉄の「電車のみ」を利用している人は48.2%と最も多く、「電車とバス」を利用している人は36.3%、「バスのみ」を利用している人は15.2%となっている。

【性別】

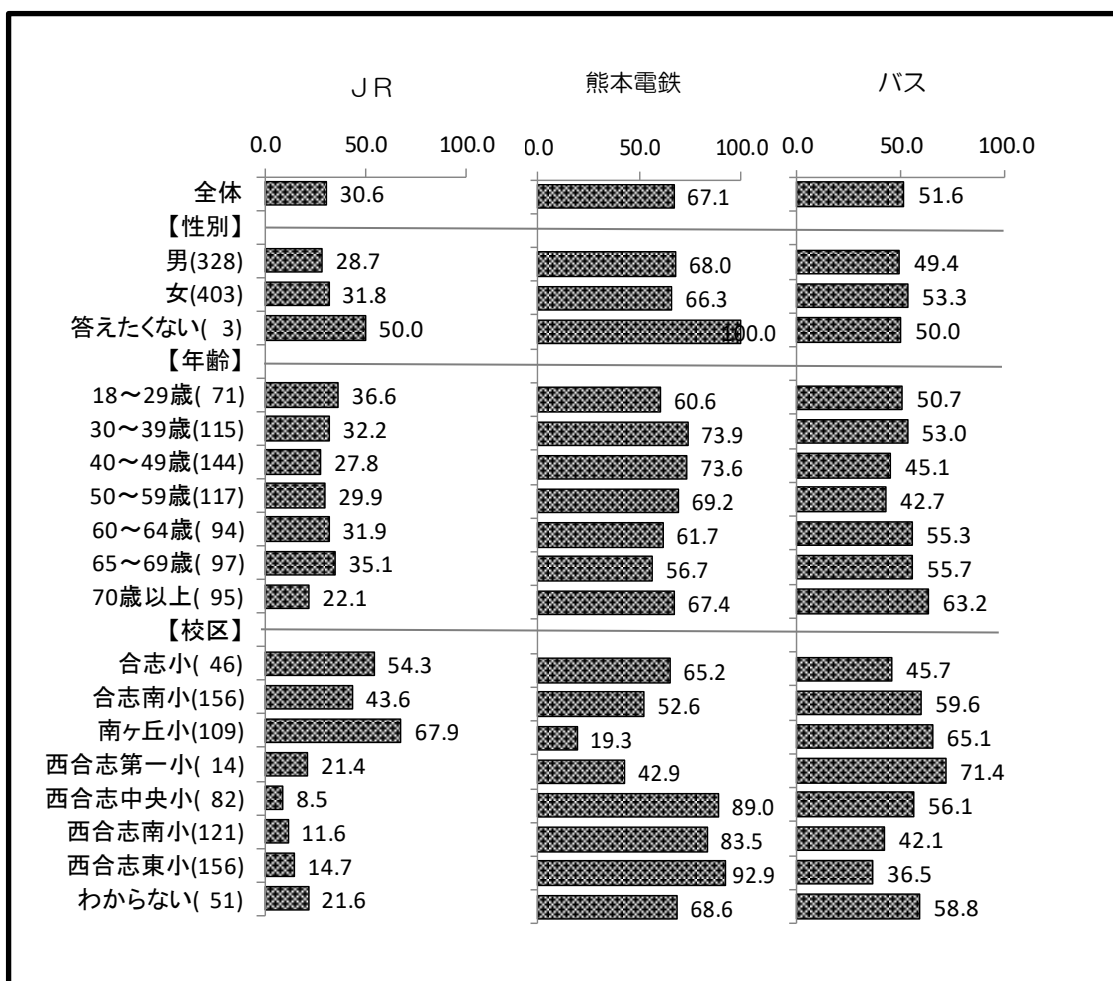
- 利用している公共交通機関について男女で違いは見られない。

【年齢別】

- 年齢別にみると、70歳以上の高齢者はバスや熊本電鉄の利用は多いものの、JRの利用は少ない。
- 30～50代の働き盛り世代では、熊本電鉄の利用が多く、バスの利用は他の年代よりもやや低い傾向となっている。

【校区別】

- 校区別では、「JR」は南ヶ丘小で67.9%と高く、合志小、合志南小でも半数前後が利用している。「熊本電鉄」は西合志中央小、西合志東小、西合志南小で8割以上が利用している。「バス」は合志南小、南ヶ丘小、西合志中央小で半数以上が利用しているが、西合志南小、西合志東小では利用者は少ない。



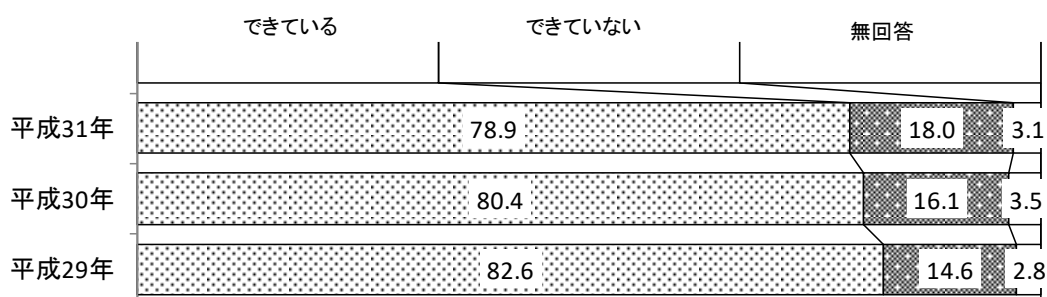
③電車での円滑移動(問53)

問53で「1.JRを利用している」「2.熊本電鉄(電車)を利用している」と回答した方にお尋ねします。

あなたは、電車を使って円滑に移動できていますか？

JRまたは熊本電鉄を利用している621人に電車での移動が円滑にできているかを尋ねたところ、「円滑にできている」が78.9%と高く、「できていない」は18.0%となっている。

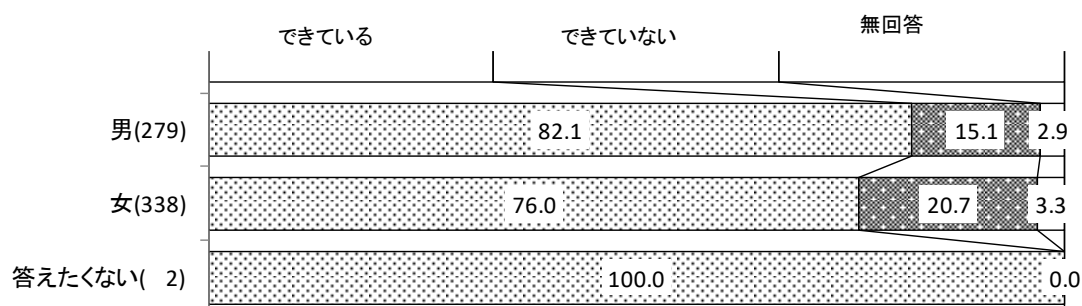
昨年度と比較して違いは見られない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 できている	490	78.9	435	80.4	476	82.6
2 できていない	112	18.0	87	16.1	84	14.6
3 無回答	19	3.1	19	3.5	16	2.8
合計	621	100.0	541	100.0	576	100.0

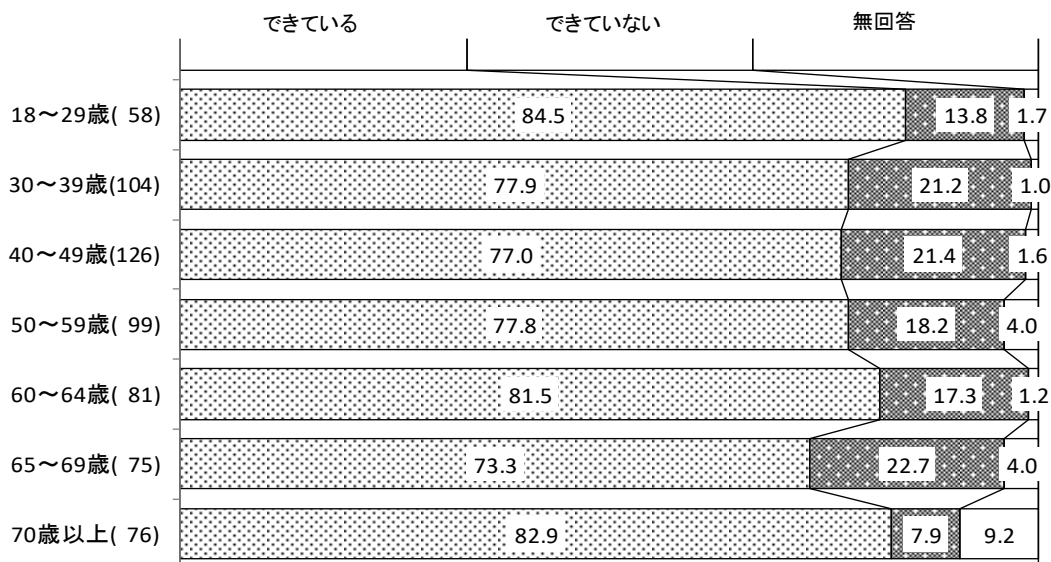
【性別】

●電車の移動が円滑にできている割合は男性 82.1%に対し女性 76.0%と男性の方がやや高い評価となっている。



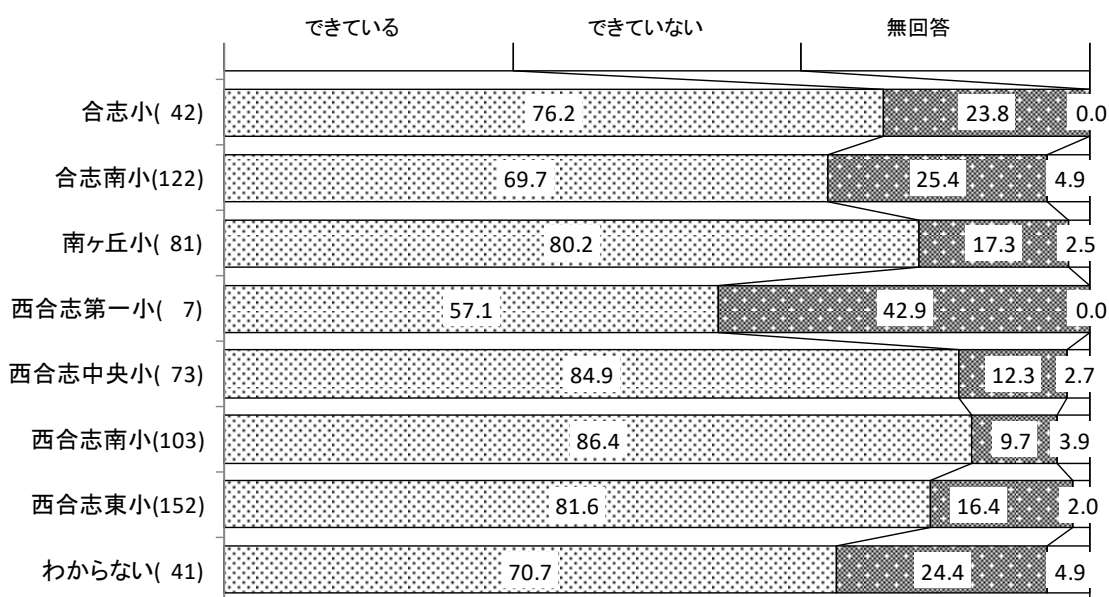
【年齢別】

- 20代以下の若い年齢層と70歳以上の高齢者層で8割以上が円滑に移動できていると評価が高いものの、年齢による大きな違いは見られない。



【校区别】

- 西合志南小、西合志東小、南ヶ丘小、西合志中央小では8割以上が円滑に移動できており、他の校区よりも高い傾向が見られる。



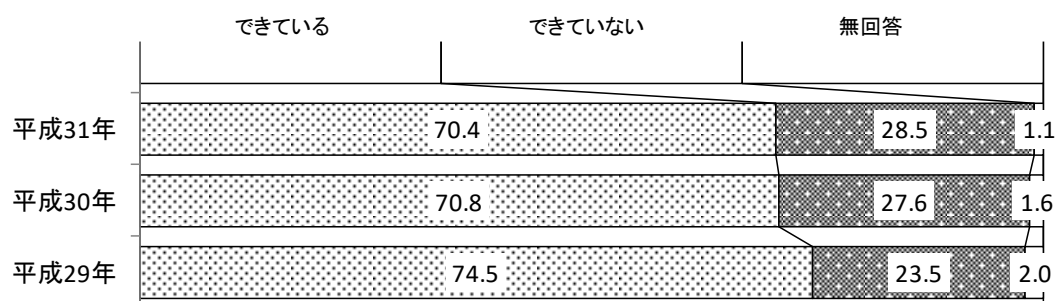
④バスでの円滑移動(問54)

問52で「3.バスを利用している」と回答した方にお尋ねします。

あなたは、バスを使って円滑に移動できていますか？

バスを利用している379人にバスでの移動が円滑にできているかを尋ねたところ、「円滑にできている」が70.4%と7割を占めたものの、「できていない」も28.5%見られた。

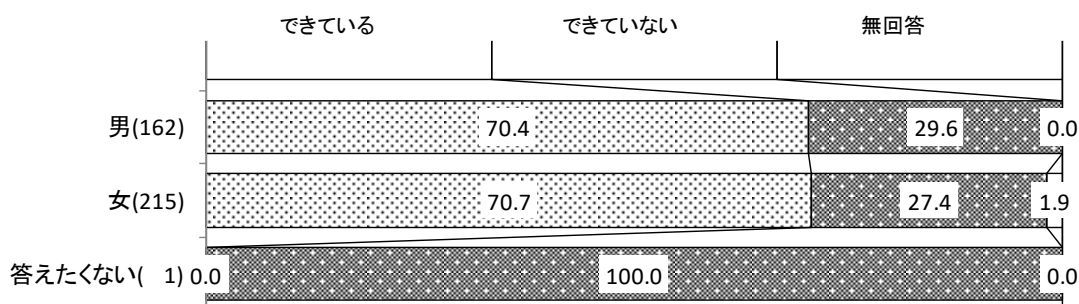
昨年度と比較して大きな違いは見られない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 できている	267	70.4	228	70.8	333	74.5
2 できていない	108	28.5	89	27.6	105	23.5
3 無回答	4	1.1	5	1.6	9	2.0
合計	379	100.0	322	100.0	447	100.0

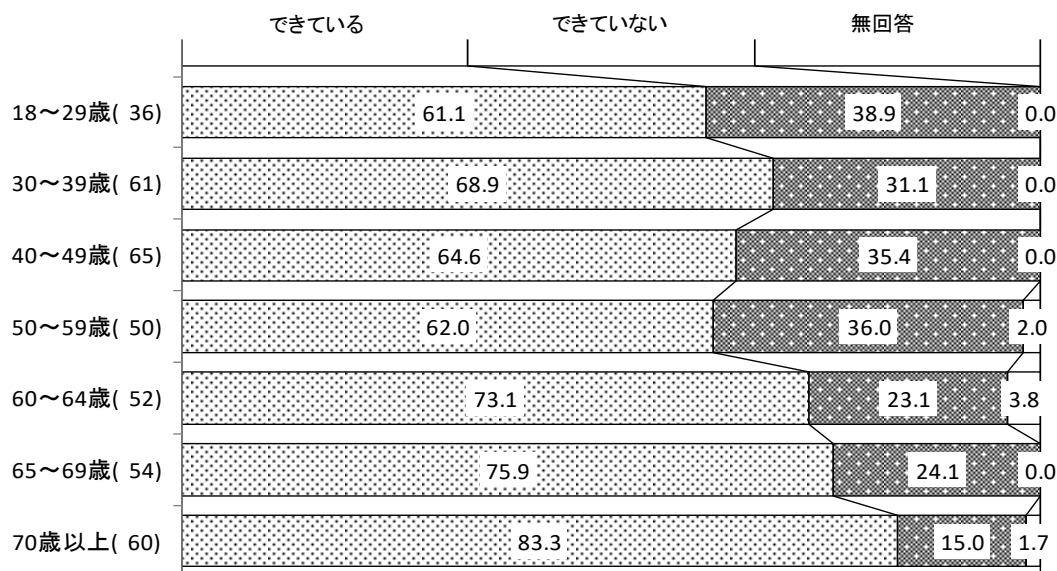
【性別】

- バスで円滑に移動できている割合に男女で差は見られない。



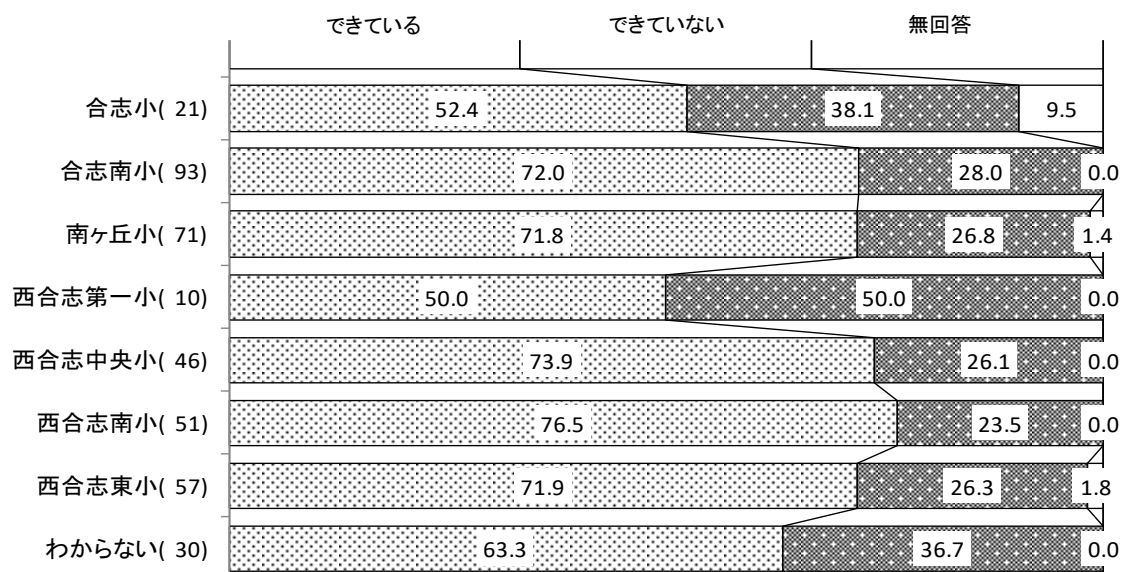
【年齢別】

- 年齢が高くなるほど、円滑に移動できていると評価する割合はやや増加する傾向が見られ、20代以下の若年層では61.1%であるが、60歳以上の高齢者では7割を超える。
- 他方、「円滑に移動できていない」という割合は、50代以下では3割以上見られる。



【校区别】

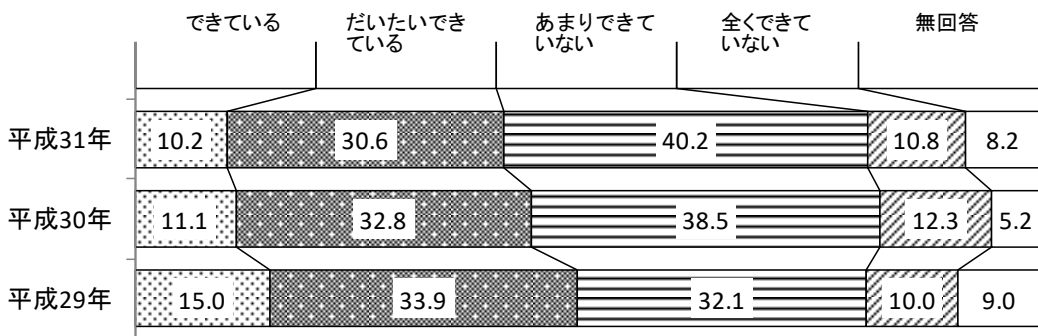
- 合志小では円滑に移動できているという割合は52.4%と他校区が7割を超えているのと比較して低い。



⑤公共交通の乗り継ぎの評価（問55）

あなたは、公共交通機関を使った合志市内外への乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると思いますか？

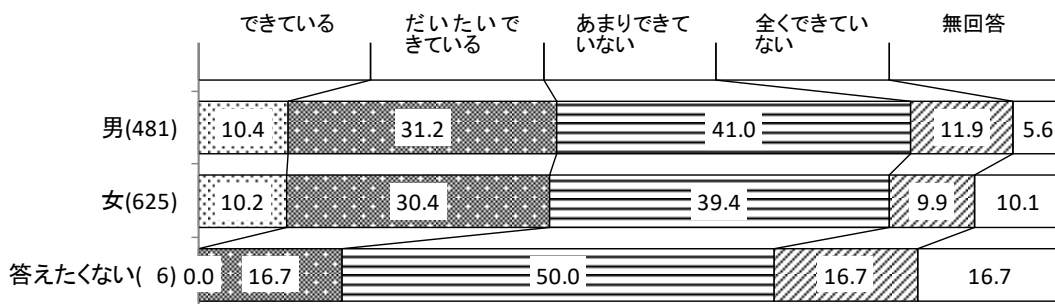
公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできている（「できている」＋「だいたいできている」）という人は40.6%となっており、「あまりできていない」は40.2%、「全くできていない」は10.8%とできていないと評価する人が半数を超えた。
昨年度から大きな変化は見られない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 できていると思う	114	10.2	104	11.1	170	15.0
2 だいたいできていると思う	342	30.6	306	32.8	385	33.9
3 あまりできていないと思う	449	40.2	360	38.5	364	32.1
4 全くできていないと思う	120	10.8	115	12.3	114	10.0
5 無回答	91	8.2	49	5.2	102	9.0
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

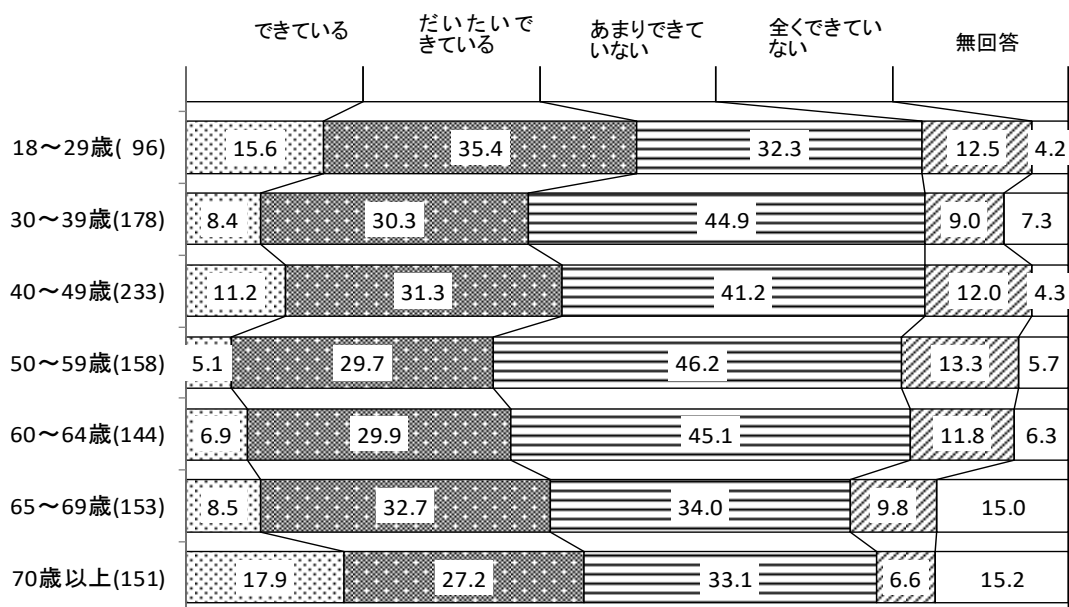
【性別】

●男女で大きな違いは見られない。



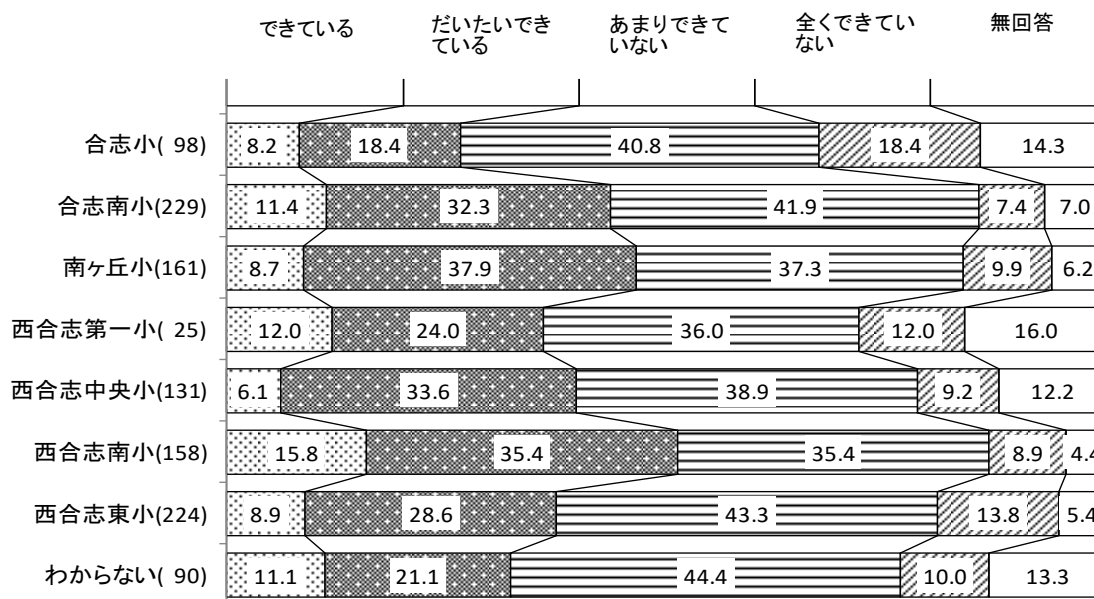
【年齢別】

- 円滑に移動できていると感じている割合は 20 代以下の若い年齢層では半数だが、他の年代では 4 割前後となっている。



【校區別】

- 西合志南小では半数以上が円滑に乗り継ぎ、乗り換えができていないとしている。一方、合志小では 6 割以上が円滑にできていないと評価している。

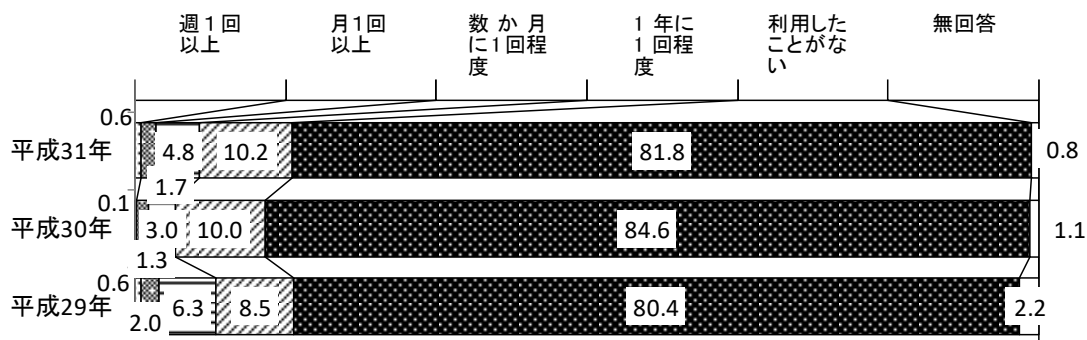


(3) 合志市が委託しているバスについて

①利用経験（問56）

あなたは、合志市が委託しているバス（レターバス、循環バス）や乗り合いタクシーのいずれかを利用したことがありますか？

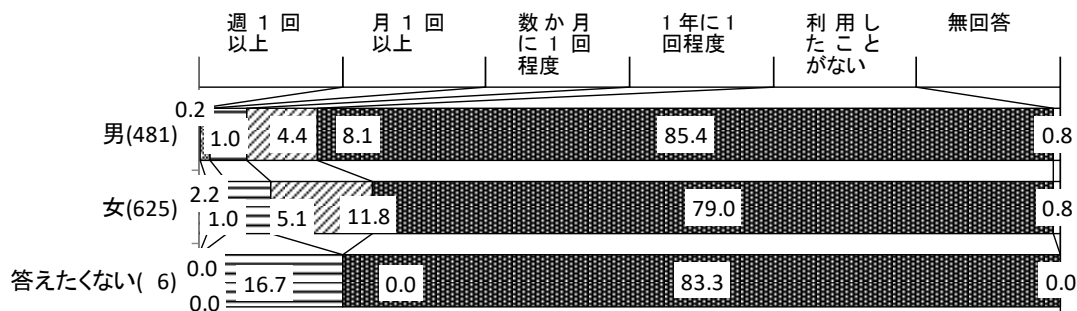
レターバスや循環バス、乗り合いタクシーを利用したことがある人は17,3%にとどまり、8割以上の方は「利用したことがない」としている。
昨年度と比較して大きな違いは見られない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 週に1回以上利用する	7	0.6	1	0.1	7	0.6
2 月に1回以上利用する	19	1.7	12	1.3	23	2.0
3 数か月に1回程度、利用する	54	4.8	28	3.0	72	6.3
4 1年に1回程度利用する	114	10.2	93	10.0	96	8.5
5 利用したことがない	913	81.8	790	84.6	912	80.4
6 無回答	9	0.8	10	1.1	25	2.2
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

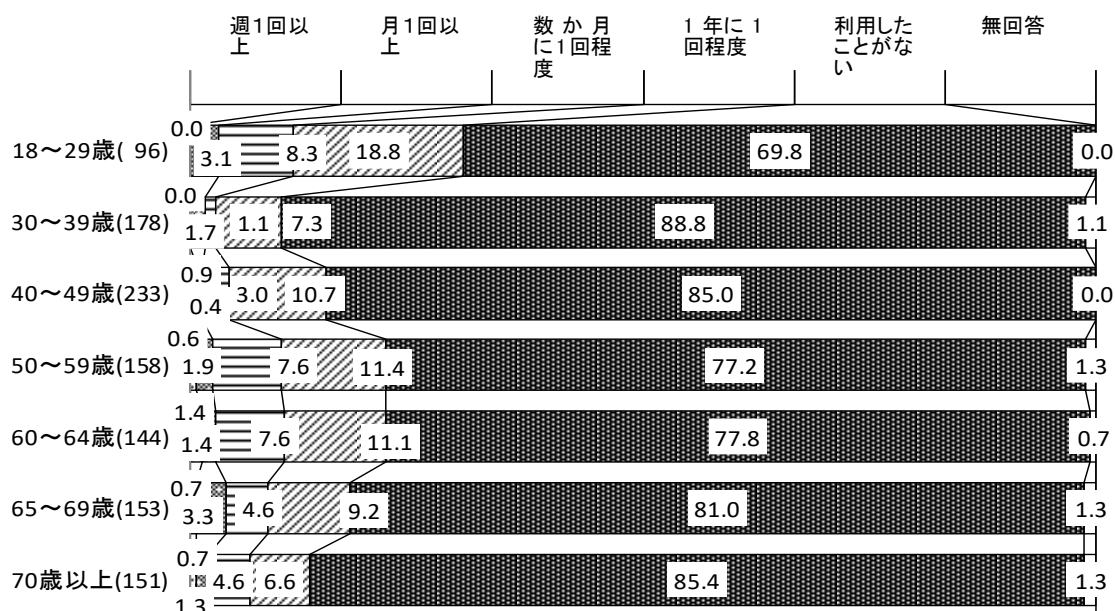
【性別】

- レターバスや循環バス、乗り合いタクシーを利用している割合は女性 20.1%、男性 13.7%とやや女性が多くなっている。
- 昨年度と比較して女性は4ポイント増加している。



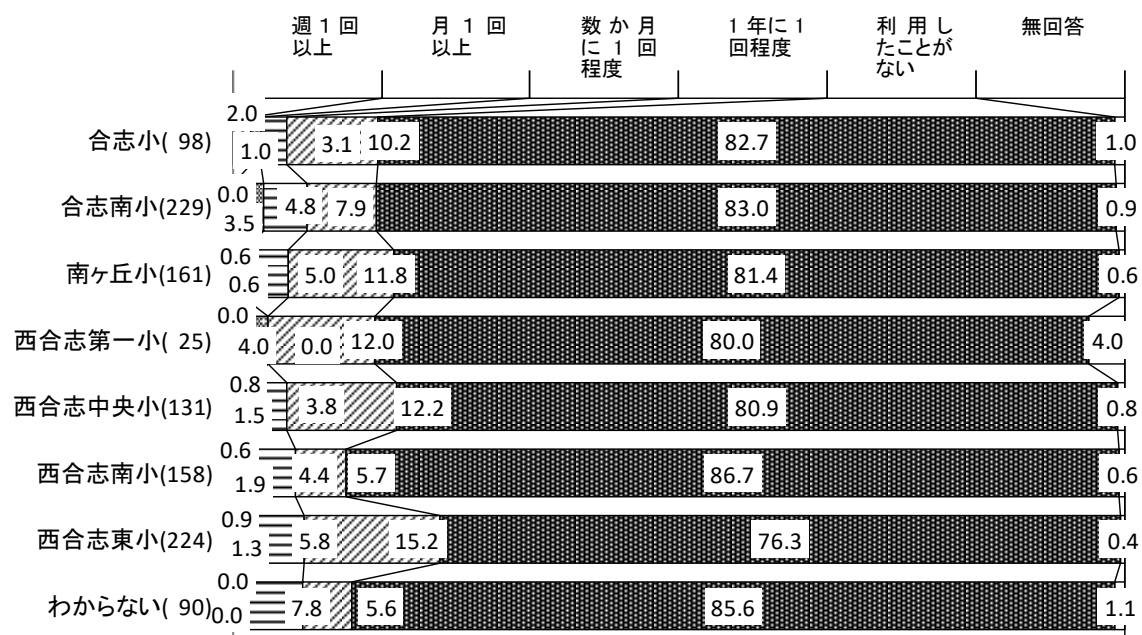
【年齢別】

- 20 代以下の若い年齢層では 30.2%が利用しているほか、50 代～60 代前半も 2 割前後が利用している。これらの年代では昨年度よりも利用者がやや増えている。



【校區別】

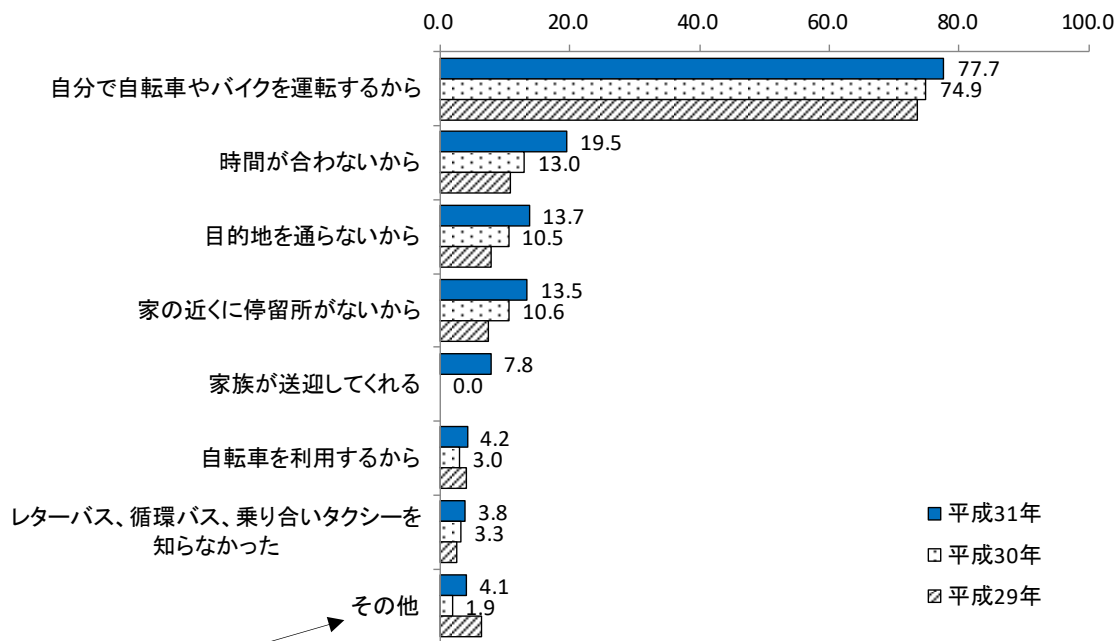
- 西合志東小で利用したことがある割合が 23.2%と他校区よりも高い傾向となっている。



②利用しない理由（問57）

問56で「5.利用したことがない」と答えた方にお尋ねします。
それはなぜですか？

レターバスや循環バス、乗り合いタクシーを利用したことがないという913人に利用しない理由を尋ねたところ、「自分で自動車やバイクを運転するから」が77.7%と最も多く、次いで「時間が合わないから」19.5%、「目的地を通らないから」13.7%、「家の近くに停留所がないから」13.5%となっている。
昨年度と比較して上位の項目に大きな違いは見られない。



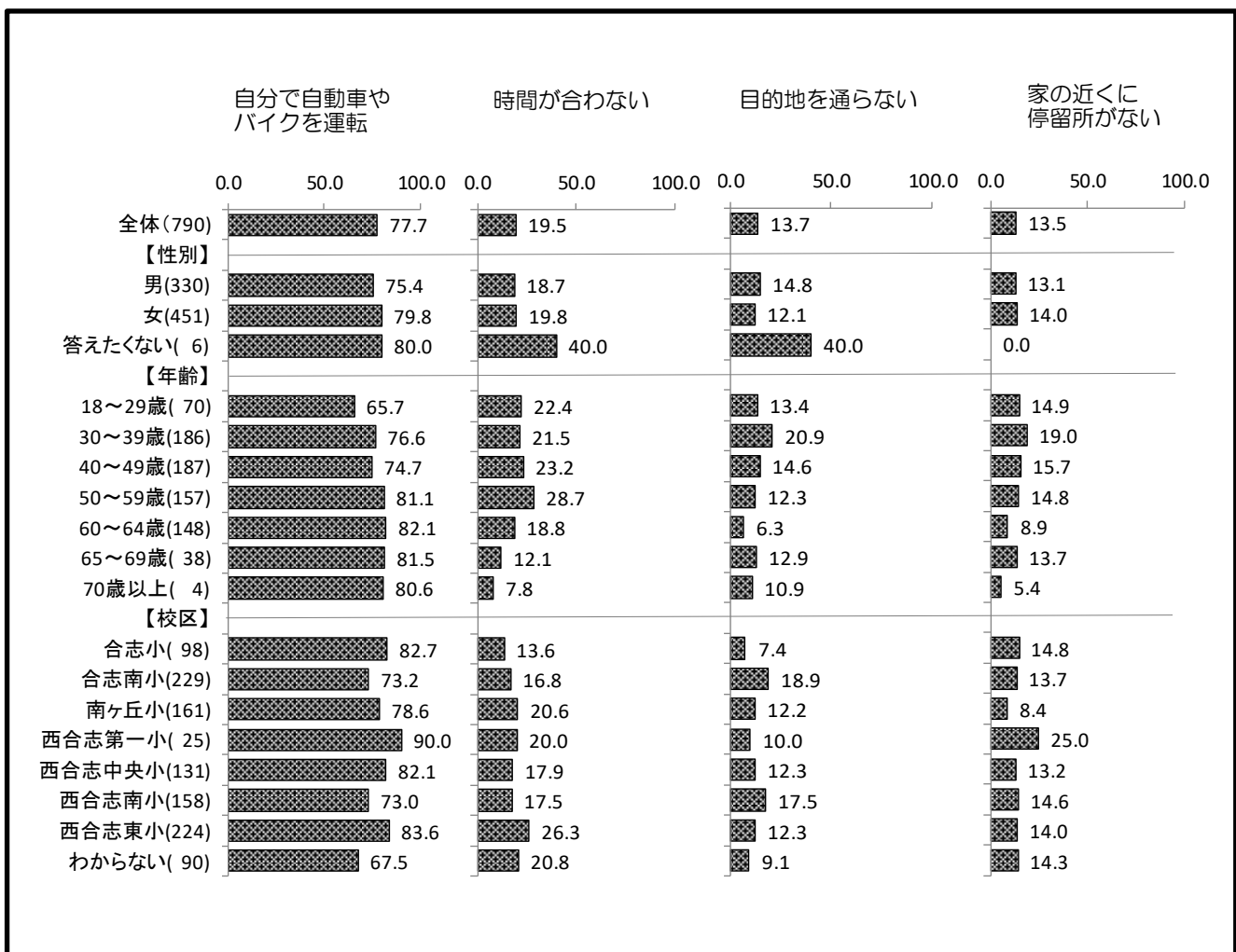
- 本数が少ない（3）
- 停留所の場所を知らない（2）
- 本数が少なすぎて便利ではないから
- 良く知らないから
- 目的地まで時間がかかりすぎる
- 目が悪いから乗車できない。家族の支援がないと。
- 右回りと左回りの順路しかないから
- 待ちたくない。バスが苦手。
- 待ち時間が長いから
- 狭所が苦手、人込みのNG
- 必要がない
- 引越して間もない。利用する機会がなかった。
- 乗り換え場所がわからない

- とりあえず必要ないから
- 停まってほしい場所の近くに停留所がない
- 遠回りになり、時間がかかる。
- 時間がかかる
- 自家用車で移動するから
- 最終時間が早い
- 子どもは時々利用している
- 車を利用するから。車運転しない方にはとてもイイと思います。
- 車を手放した時には利用したい
- 熊本市内への乗り継ぎが出来ないユトリック団地前から～
- 運行ルートをよく知らないため
- いつも電鉄バスを利用している。
- 歩いていける。親と一緒に行く。

	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	n=913		n=790		n=912	
	人	%	人	%	人	%
1 時間が合わないから	178	19.5	103	13.0	98	10.7
2 家の近くに停留所がないから	123	13.5	84	10.6	68	7.5
3 目的地を通らないから	125	13.7	83	10.5	72	7.9
4 自転車を利用するから	38	4.2	24	3.0	37	4.1
5 自分で自動車やバイクを運転するから	709	77.7	592	74.9	670	73.5
6 家族が送迎してくれるから	71	7.8				
7 レターバス、循環バス、乗り合いタクシーがあるのを知らなかった	35	3.8	26	3.3	23	2.5
8 その他	37	4.1	15	1.9	59	6.5

【性別、年齢別】

- 性別にみても大きな違いは見られない。
- 年齢別に見ると、30代～50代の働き盛り世代の人は、「時間が合わない」を2割があげている。

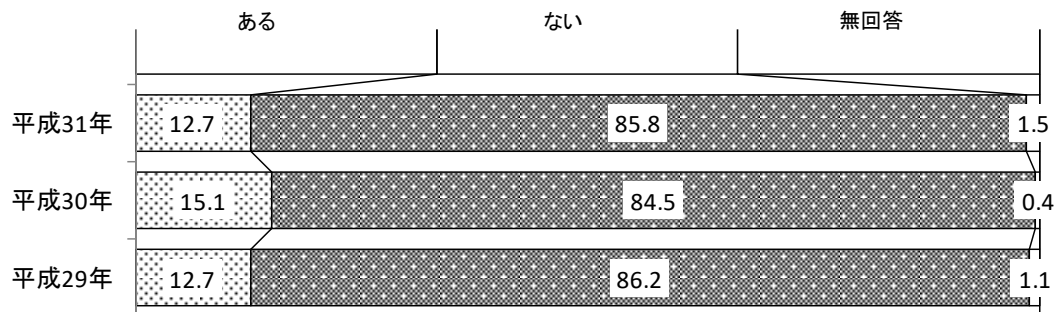


3. 人権侵害について

(1) 人権が侵害された経験 (問36)

あなた、は、過去1年間で自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか？

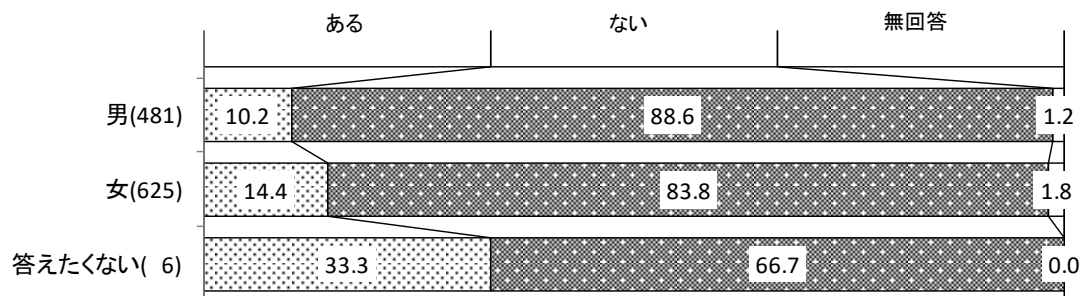
過去1年間で自分の人権が侵害されたことが「ある」という人は12.7%である。
昨年度と比較しても違いは見られない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 ある	142	12.7	141	15.1	144	12.7
2 ない	957	85.8	789	84.5	978	86.2
3 無回答	17	1.5	4	0.4	13	1.1
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

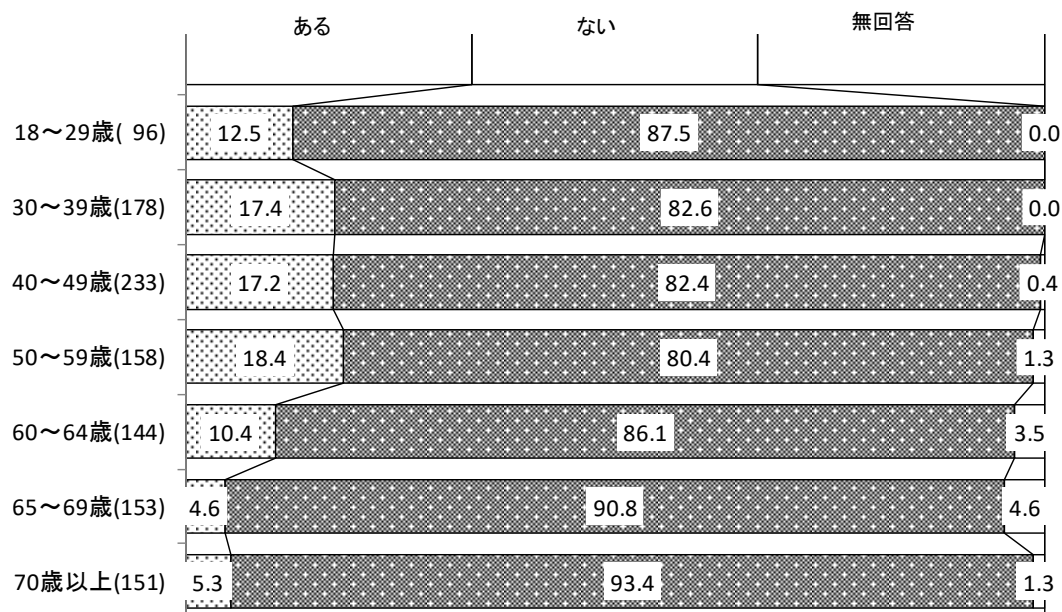
【性別】

- 人権が侵害されたことが「ある」という割合は、女性 14.4%、男性 10.2%とやや女性が多い傾向が見られる。



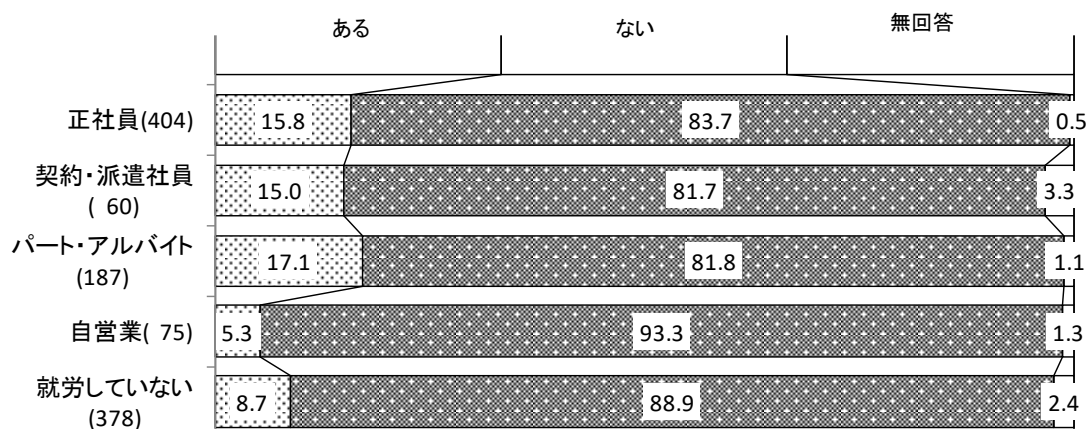
【年齢別】

- 30代～50代の働き盛りの世代で人権が侵害されたことが「ある」という人が18%前後とやや高い傾向が見られる。



【職業別】

- 正社員、契約・派遣社員、パート・アルバイトといった勤めに出ている人で人権が侵害されたと感じている人が15%前後見られた。



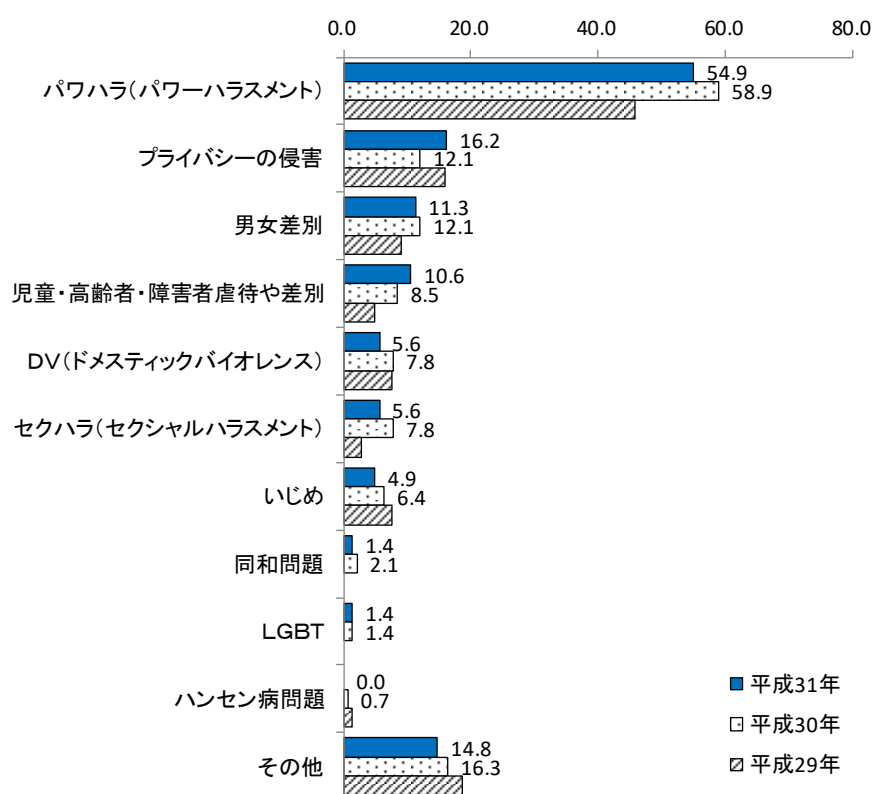
(2) 侵害された内容(問37)

問36で「1.ある」と答えた方にお尋ねします。

それはどのような場合ですか？差支えなければお聞かせください。

この1年間に人権が侵害されたことがあるという142人の侵害された具体的な内容としては、「パワハラ」が54.9%と最も多く、次いで「プライバシーの侵害」16.2%、「男女差別」11.3%となっている。

昨年度と比較しても上位にあげられる項目に違いは見られない。



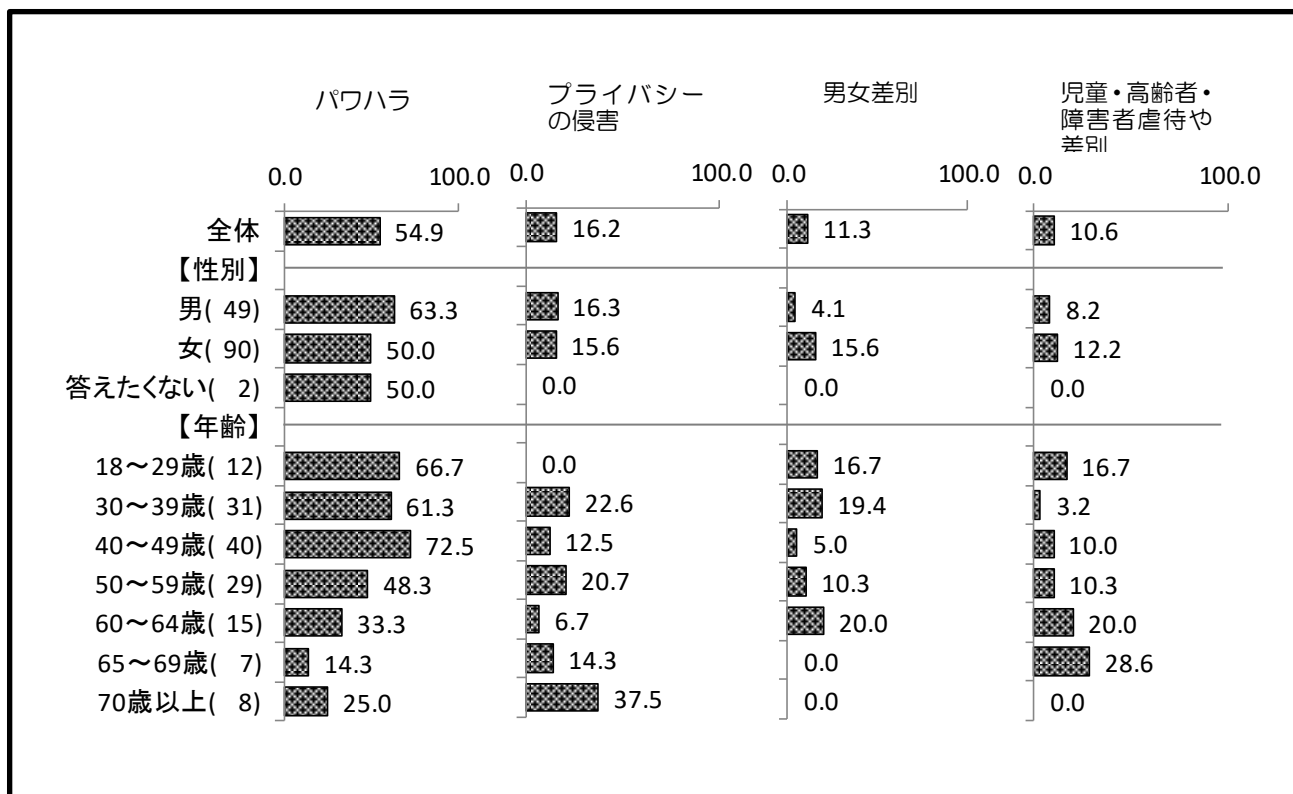
	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 同和問題	2	1.4	3	2.1	0	0.0
2 ハンセン病問題	0	0.0	1	0.7	2	1.4
3 男女差別	16	11.3	17	12.1	13	9.0
4 LGBT(レスビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー)	2	1.4	2	1.4		
4 児童・高齢者・障害者虐待や差別	15	10.6	12	8.5	7	4.9
5 DV(ドメスティックバイオレンス)	8	5.6	11	7.8	11	7.6
6 セクハラ(セクシャルハラスメント)	8	5.6	11	7.8	4	2.8
7 パワハラ(パワーハラスメント)	78	54.9	83	58.9	66	45.8
8 いじめ	7	4.9	9	6.4	11	7.6
9 プライバシーの侵害	23	16.2	17	12.1	23	16.0
10 その他	21	14.8	23	16.3	27	18.8

【性別】

- 人権を侵害された内容について、男女別にみるとパワハラは男性があげる割合が高く、男女差別や児童・高齢者・障がい者虐待や差別は女性が男性をやや上回っている。

【年齢別】

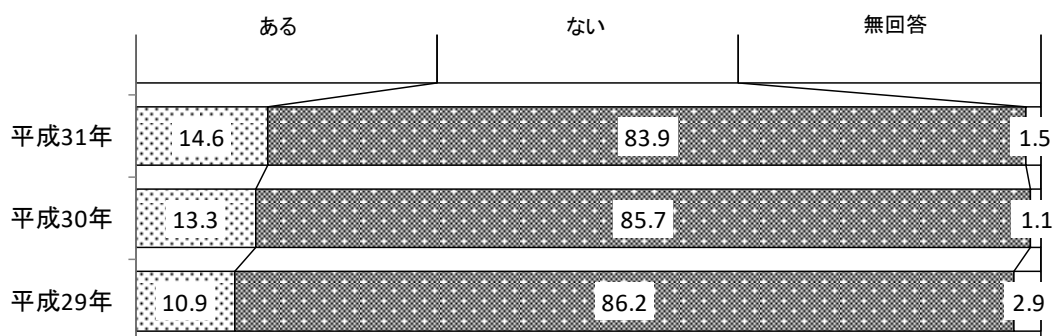
- 「パワハラ」は40代以下の年齢層で6割以上があげている。



(3) 人権問題研修会への参加（問38）

過去1年間で人権問題（同和問題、ハンセン病問題、男女差別、子ども・高齢者・障がい者虐待、DV、セクハラ、パワハラ、その他）の研修会、学習会等へ参加したことがありますか？

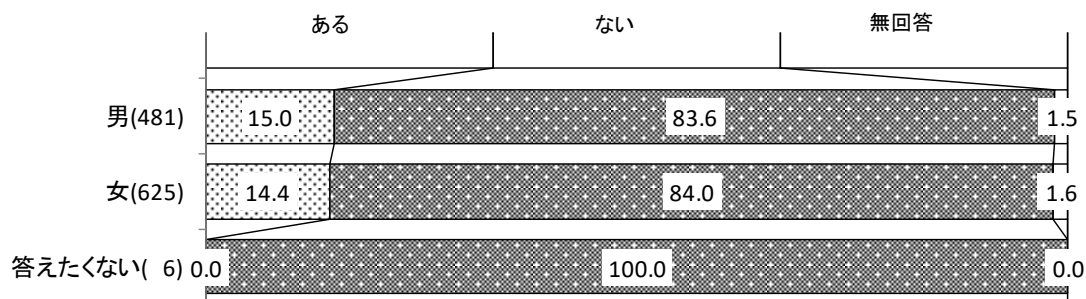
過去1年間に人権問題についての研修会に参加したことがある人は14.6%と1割程度となっている。
平成29年度から見ると、微増傾向となっている。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 ある	163	14.6	124	13.3	124	10.9
2 ない	936	83.9	800	85.7	978	86.2
3 無回答	17	1.5	10	1.1	33	2.9
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

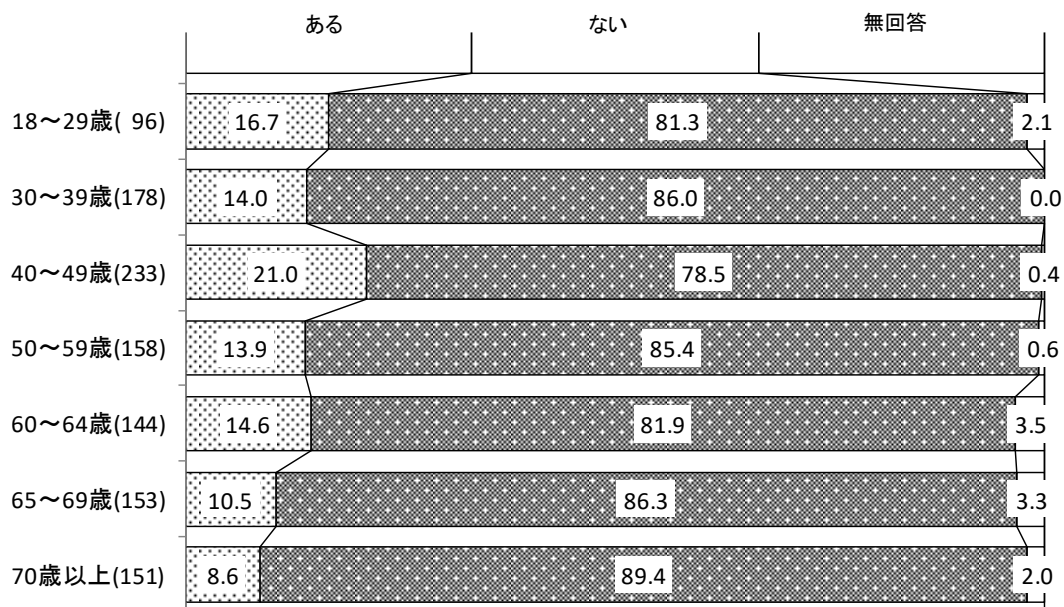
【性別】

●人権研修会に参加したことがあるという割合は、男女で違いは見られない。



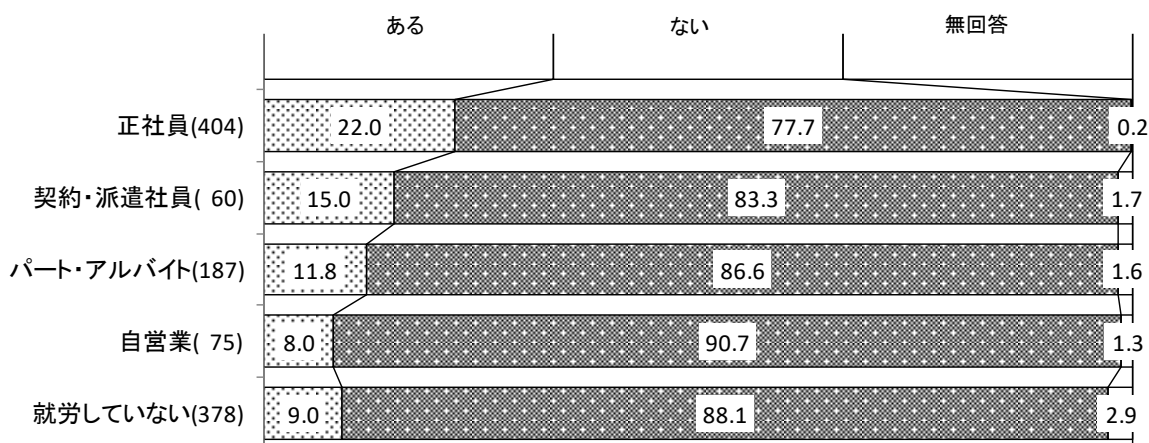
【年齢別】

- 人権研修会に参加したことがあるという割合は 40 代で 21.0%と高い。
- 65 歳以上の高齢者では 1 割以下とやや低い傾向となっている。



【職業別】

- 人権研修会に参加したことがあるという割合は正社員では 22.0%とやや高い傾向となっている。

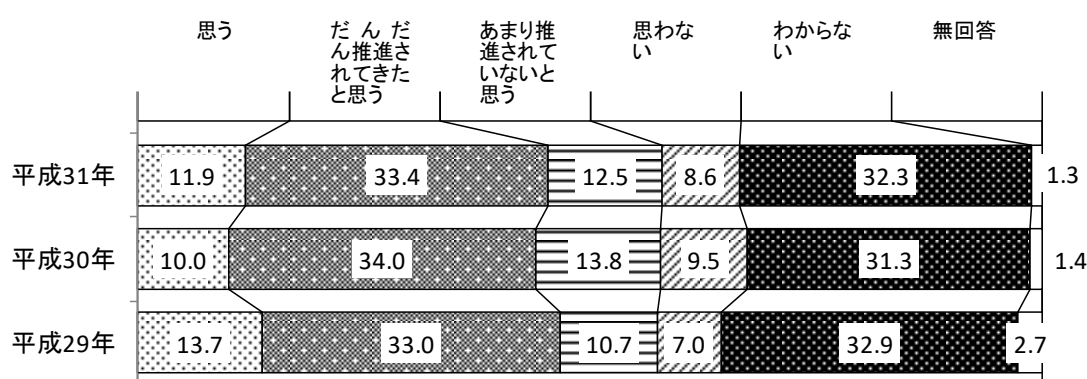


4. 男女共同参画社会の推進について（問39）

あなたは、男女共同参画社会（性別に関係なく、相手のことを思いやる気持ちを持ち、喜びも責任もわかちあひながら、家庭・地域・職場へ参画できる社会）が推進されてきたと思いますか？

男女共同参画社会が推進されてきたと思う（「思う」＋「だんだん推進されてきたと思う」）割合は45.3%となっており、思わない「あまり推進されていないと思う」＋「思わない」）21.1%を上回っている。なお、「わからない」は32.3%となっている。

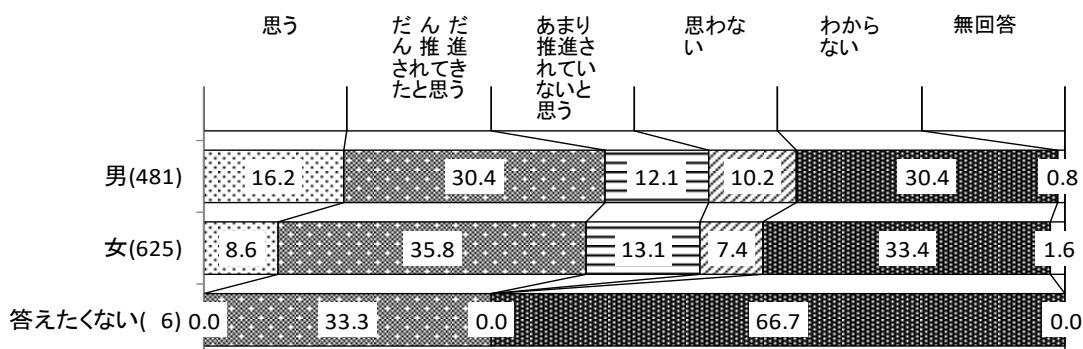
昨年度と比較して、大きな違いは見られない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 思う	133	11.9	93	10.0	155	13.7
2 だんだん推進されてきたと思う	373	33.4	318	34.0	375	33.0
3 あまり推進されていないと思う	140	12.5	129	13.8	121	10.7
4 思わない	96	8.6	89	9.5	80	7.0
5 わからない	360	32.3	292	31.3	373	32.9
6 無回答	14	1.3	13	1.4	31	2.7
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

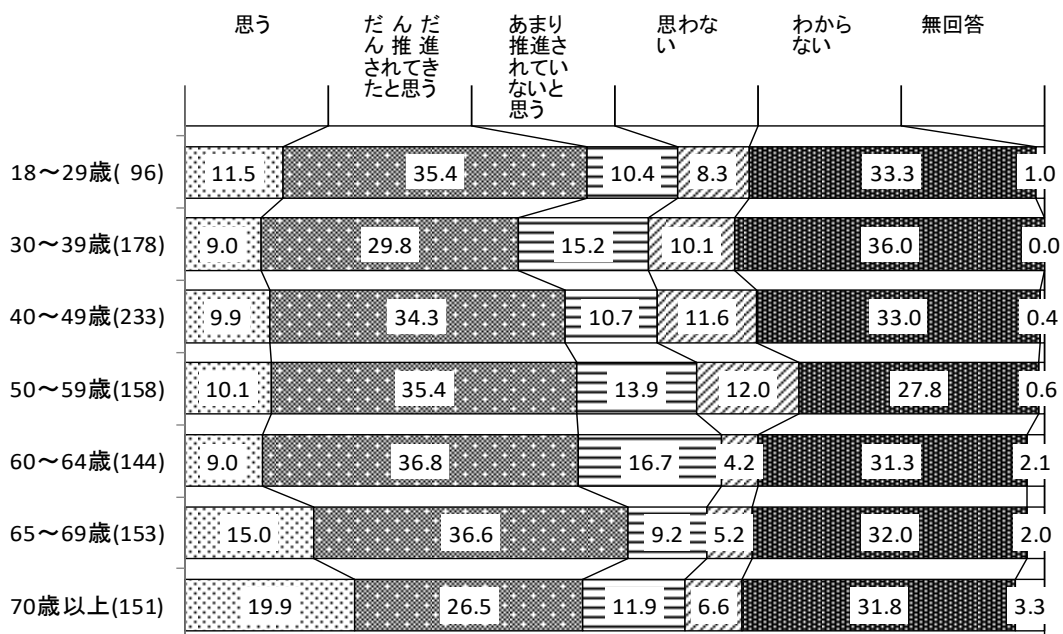
【性別】

- 男女共同参画社会が推進されてきたと思う割合は、男性 46.6%、女性 44.4%と大きな違いは見られない。



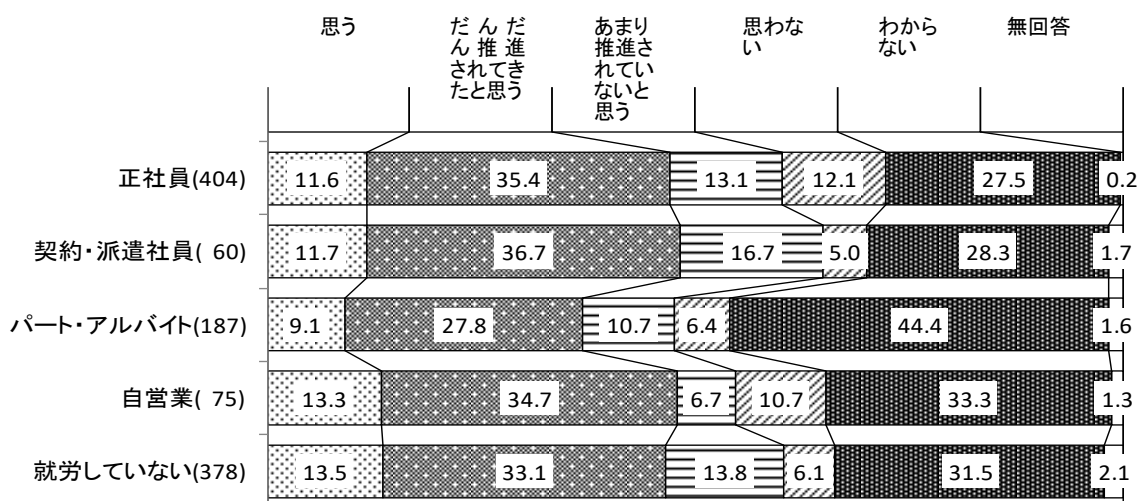
【年齢別】

- 推進されてきたと「思う」割合は、65歳以上でやや高い傾向が見られる。
- 30代～60代前半では2割強が推進されてきたと思わないとしている。



【職業別】

- パート・アルバイトでは、男女共同参画社会が推進されてきたと思う割合は36.9%と他の職業よりも低い。
- 正社員、契約・派遣社員では思わない割合が2割以上を占めている。



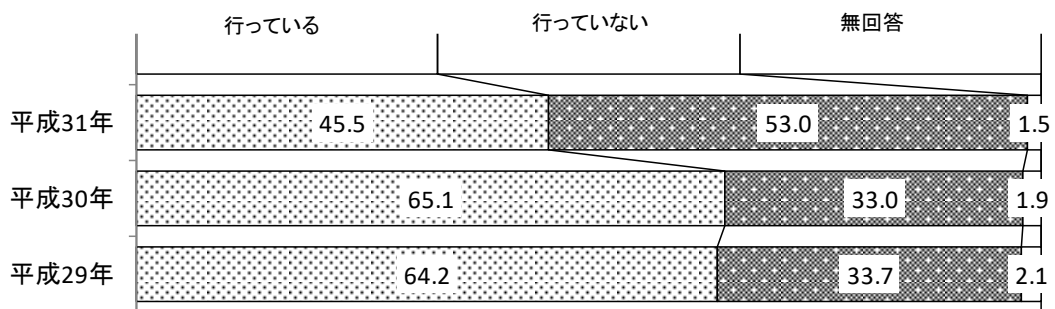
◆危機管理について

1. 健康危機への備え（問44）

あなたは、新型インフルエンザ等に関して、日頃から情報収集を行っていますか。

新型インフルエンザなどの健康危機に備え、日頃から情報収集を「行っている」人は45.5%、「行っていない」が53.0%と半数を超えた。

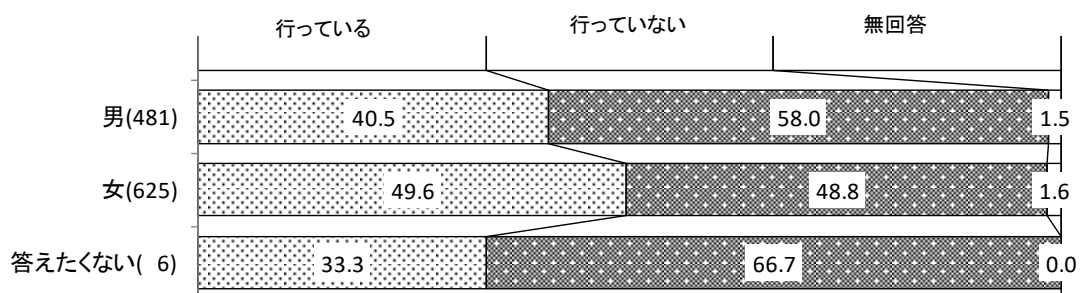
昨年度までは「情報収集に努めているか」との問いであったため、厳密には比較できないが、昨年度の「努めている」人は6割となっており、「行っている」人は2割程度減少している。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 行っている	508	45.5	608	65.1	729	64.2
2 行っていない	591	53.0	308	33.0	382	33.7
3 無回答	17	1.5	18	1.9	24	2.1
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

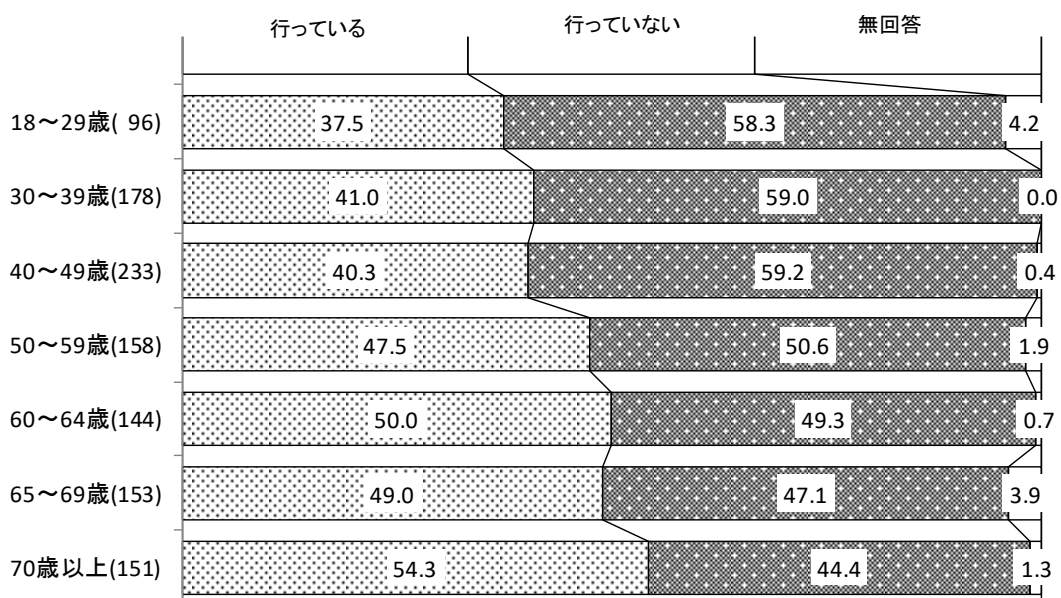
【性別】

●情報収集を行っている割合は、男性 40.5%、女性 49.6%と女性の方がやや多い。



【年齢別】

●50歳を境に情報収集に努める割合が高くなる傾向が見られ、60代以上では情報収集を行っている割合が50%前後と他の年代よりも高い傾向となっている。

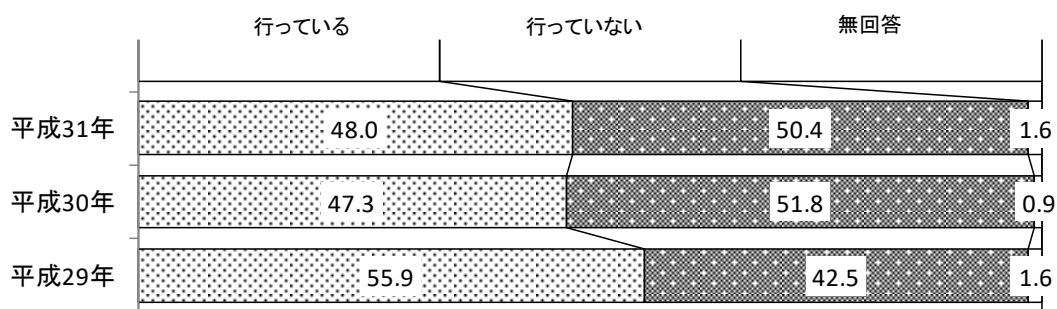


2. 防災の取組み

(1) 家庭内防災（問45）

あなたは、家庭内で防災に対する取組み（非常持ち出し袋の準備、家族での話し合い等）を行っていますか？

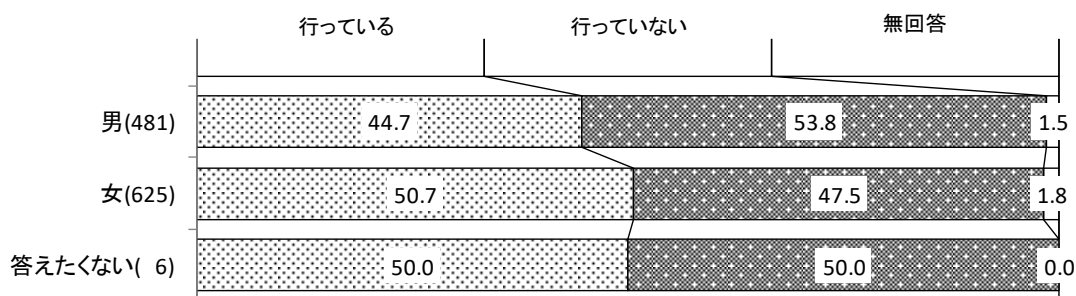
家庭内で防災に対する取組みを「行っている」割合は48.0%となっており、「行っていない」は50.4%と半数を超えている。
昨年度から変化していない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 行っている	536	48.0	442	47.3	635	55.9
2 行っていない	562	50.4	484	51.8	482	42.5
3 無回答	18	1.6	8	0.9	18	1.6
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

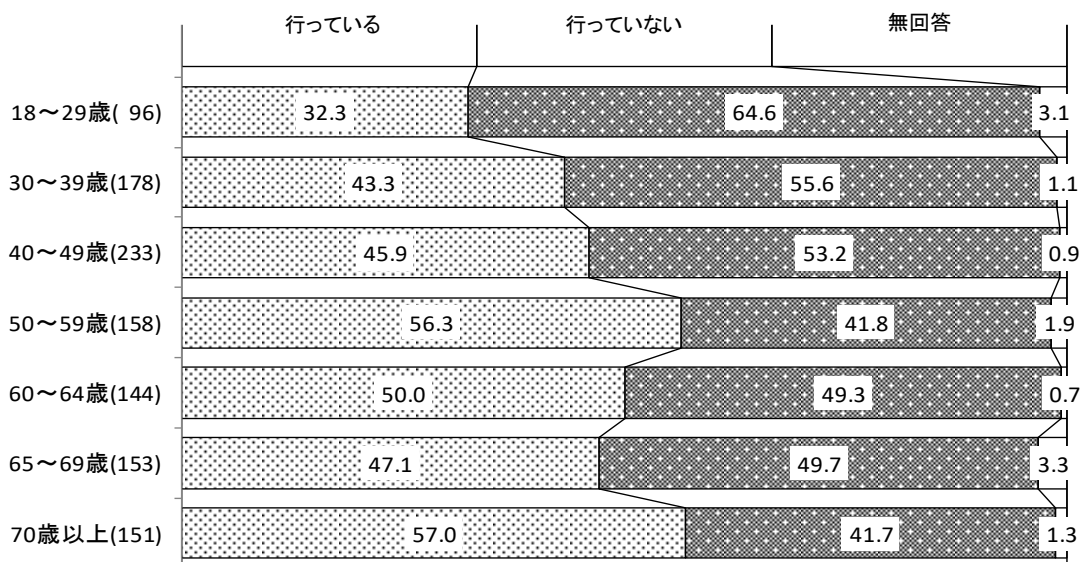
【性別】

- 取組みを「行っている」割合は、男性 44.7%、女性 50.7%と女性の方がやや高い傾向となっている。



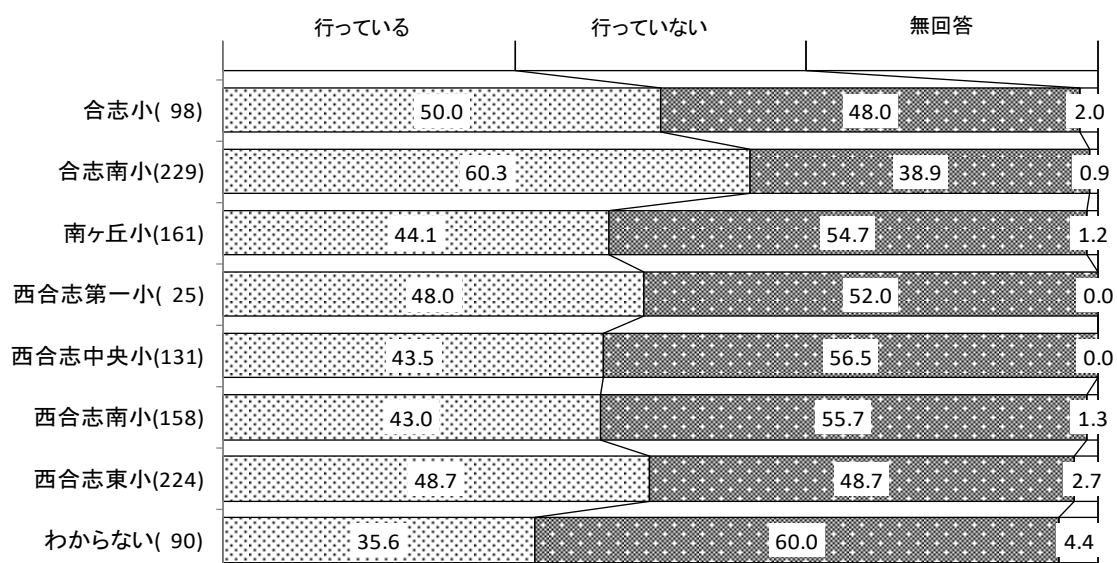
【年齢別】

- 50代以上ではほぼ半数が家庭内で防災の取り組みを行っているが、40代以下の世代ではやや低い傾向が見られる。



【校區別】

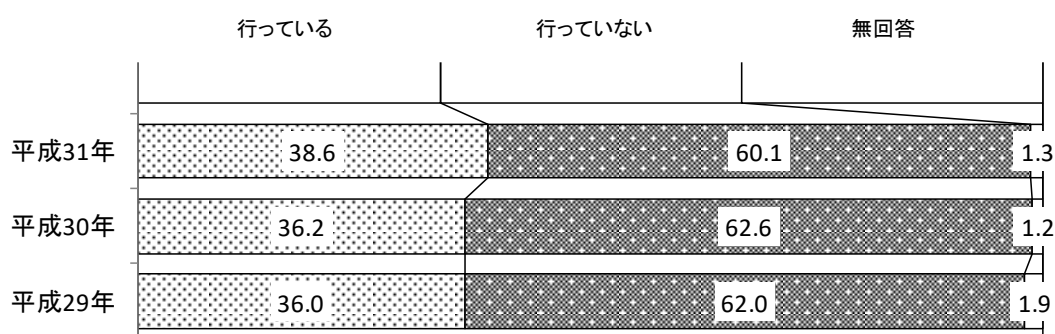
- 合志南小では取り組んでいる割合が6割を超えているが、他の校区では5割以下とやや低い。



(2) 地域防災 (問 4 6)

あなたは、地域・職場内で防災に対する取組み（防災訓練の参加、自主防災組織・消防団への参加等）を行っていますか？

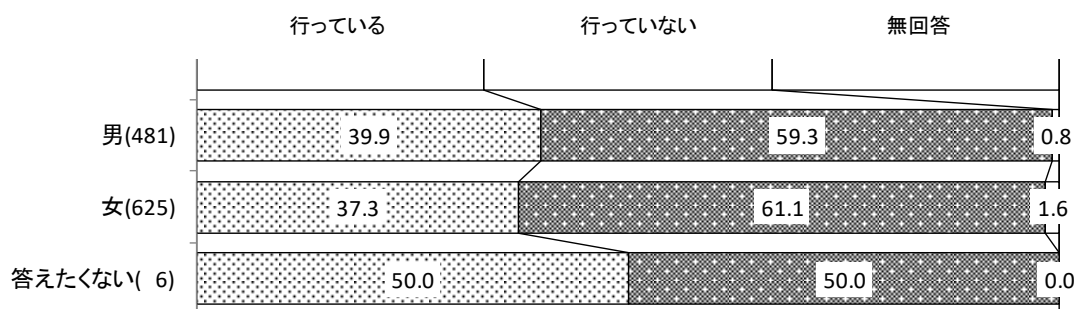
地域・職場内での防災に対する取組みを「行っている」は38.6%となっており、「行っていない」が6割を占めている。
昨年度とほとんど変わっていない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 行っている	431	38.6	338	36.2	409	36.0
2 行っていない	671	60.1	585	62.6	704	62.0
3 無回答	14	1.3	11	1.2	22	1.9
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

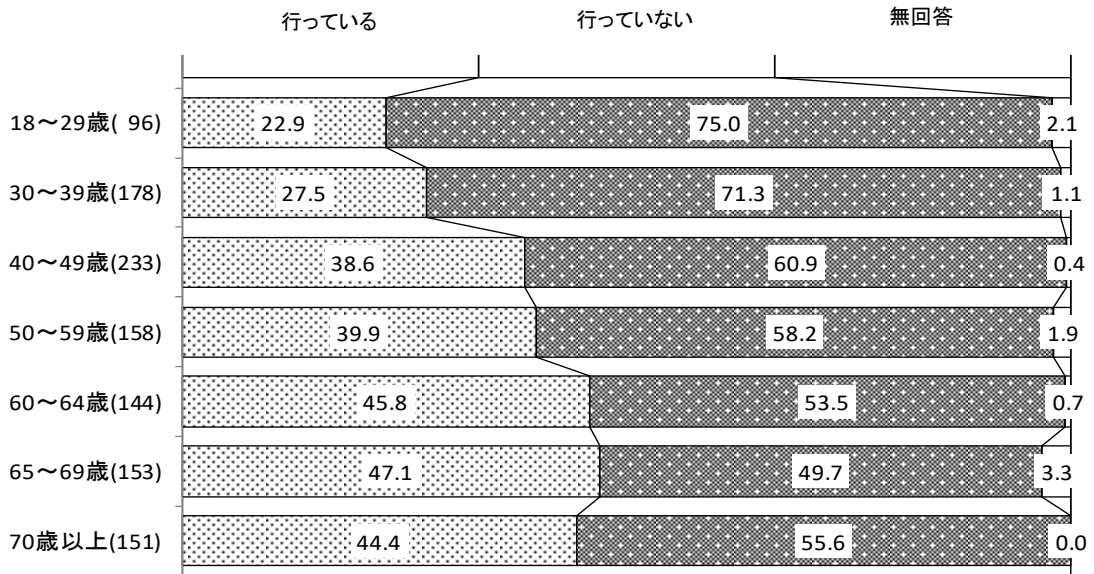
【性別】

●地域・職場内で防災に対する取組みを「行っている」割合は、男性39.9%、女性37.3%とやや男性が多い傾向が見られる。



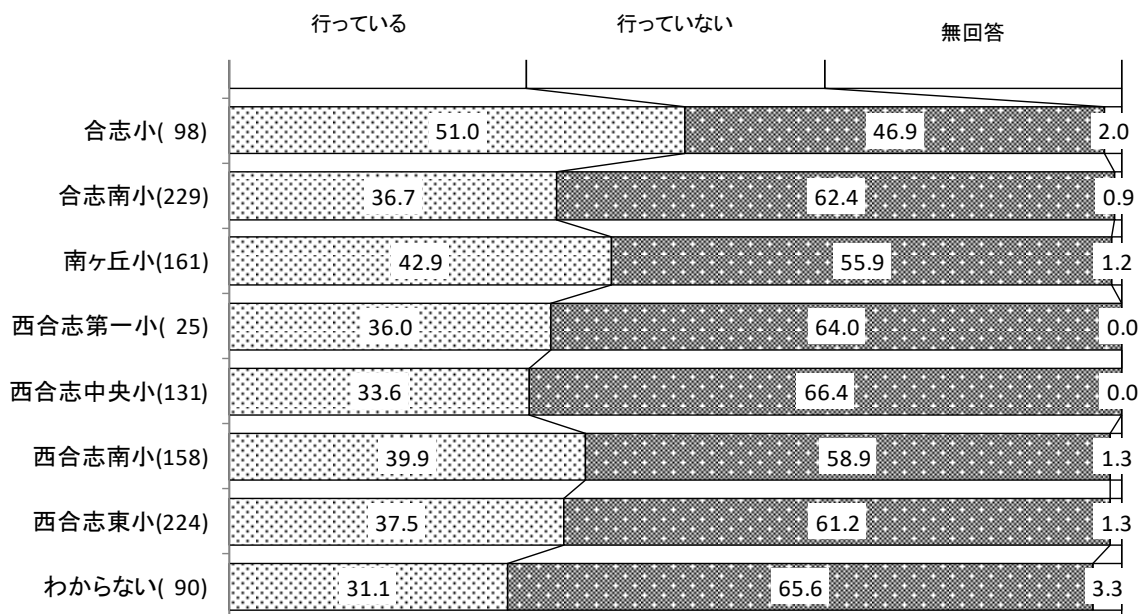
【年齢別】

- 地域・職場で防災に取り組んでいる割合は、年齢が高くなるほど取り組んでいる割合が高くなる傾向が見られ、20代以下の若い層では22.9%だが、65代以上では4割以上となっている。



【校区别】

- 合志小では防災に取り組んでいる割合が半数以上と他よりも高い。

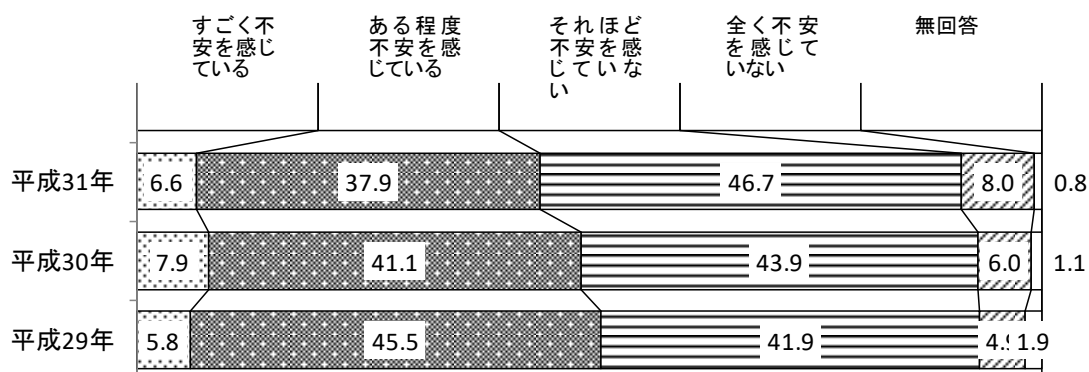


3. 犯罪被害に合う不安(問47)

あなたやあなたの家族が、合志市内において犯罪被害(詐欺、窃盗、痴漢等)などに不安を感じていますか。

合志市内で犯罪被害にあう不安を感じている(「すごく不安を感じている」+「ある程度不安を感じている」)割合は44.5%となっており、不安を感じていない(「全く不安を感じていない」+「それほど不安を感じていない」)が54.7%と半数を超えている。

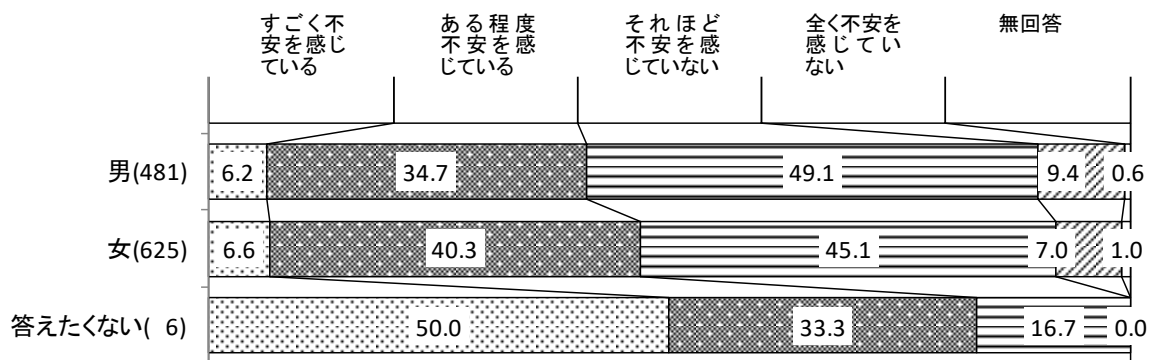
昨年度と比較して不安を感じている割合は減少、不安を感じていない割合は5ポイント増えている。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 すごく不安を感じている	74	6.6	74	7.9	66	5.8
2 ある程度不安を感じている	423	37.9	384	41.1	516	45.5
3 それほど不安を感じていない	521	46.7	410	43.9	476	41.9
4 全く不安を感じていない	89	8.0	56	6.0	56	4.9
5 無回答	9	0.8	10	1.1	21	1.9
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

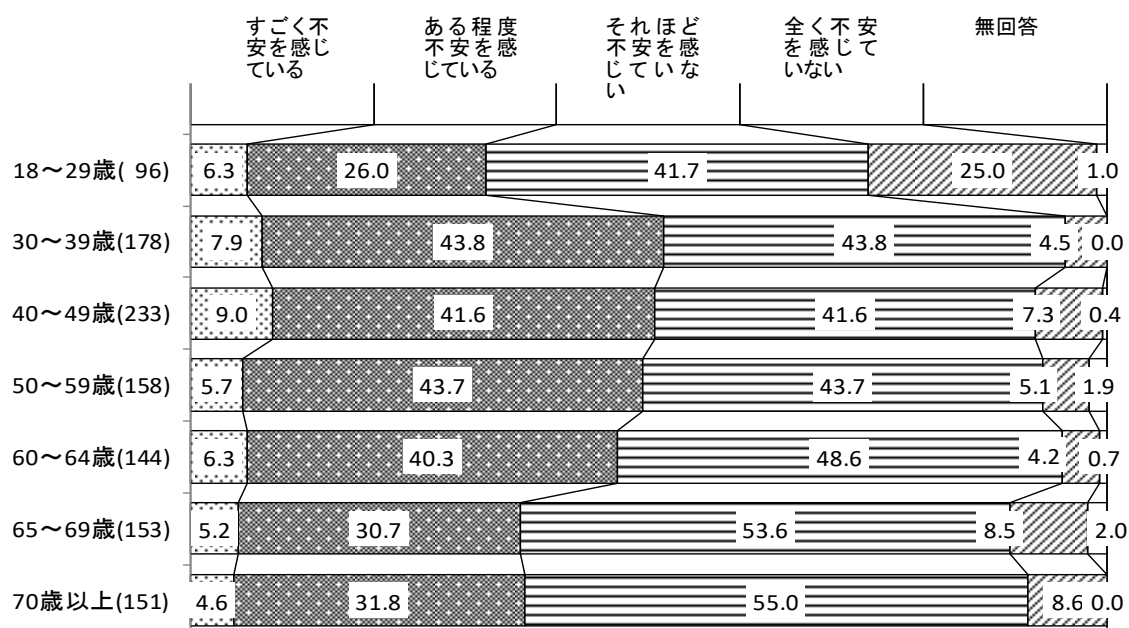
【性別】

- 犯罪被害にあう不安を感じている割合は、男性 40.9%に対し、女性 46.9%と女性の方がやや高い。しかしながら、男女ともに昨年度よりも不安を感じている割合は減少している。



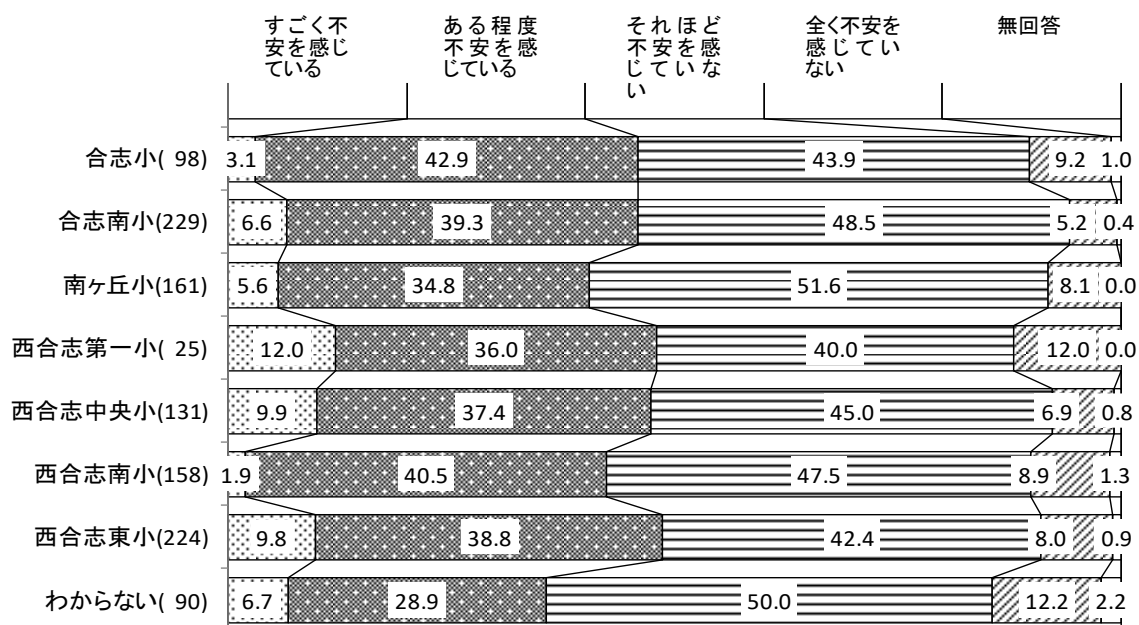
【年齢別】

- 30代、40代の子育て世代では、犯罪被害にあう不安を感じている割合が半数以上と他の年代よりも高い。
- また、20代以下の若い年齢層と60歳以上の高齢者層では不安を感じていない人が半数以上を占めている。



【校区別】

- すべての校区で不安を感じていないという割合が半数を超えており、特に南ヶ丘小では6割と高い。

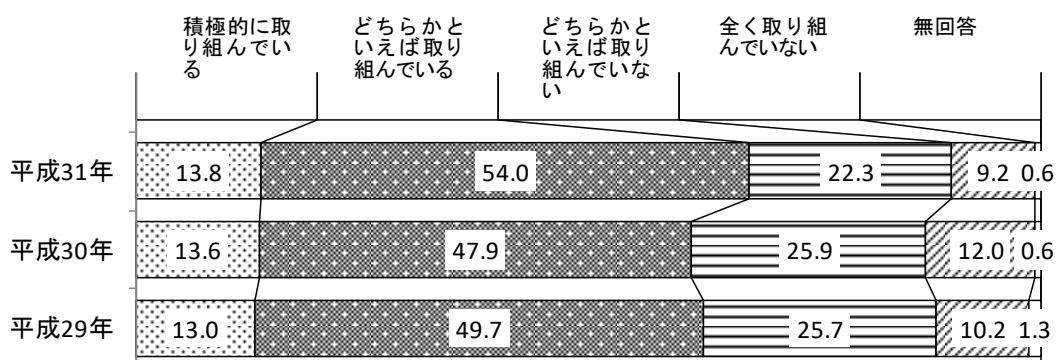


4. 地球温暖化防止への取組み(問49)

あなたの世帯では、何らかの地球温暖化防止対策(太陽光発電、太陽熱温水器、低燃費車両、LED化等の省エネ家電、節電等)に取り組んでいますか。

地球温暖化防止対策に取り組んでいる(「積極的に取り組んでいる」+「どちらかといえば取り組んでいる」)割合は67.8%を占め、取り組んでいない(「全く取り組んでいない」+「どちらかといえば取り組んでいない」)という31.5%を上回っている。

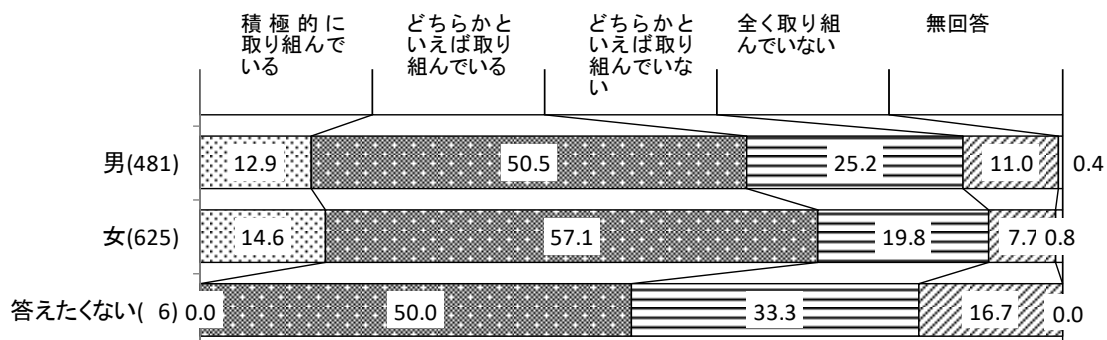
昨年度と比較すると取り組んでいる割合は6ポイント増加している。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 積極的に取り組んでいる	154	13.8	127	13.6	148	13.0
2 どちらかといえば取り組んでいる	603	54.0	447	47.9	564	49.7
3 どちらかといえば取り組んでいない	249	22.3	242	25.9	292	25.7
4 全く取り組んでいない	103	9.2	112	12.0	116	10.2
5 無回答	7	0.6	6	0.6	15	1.3
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

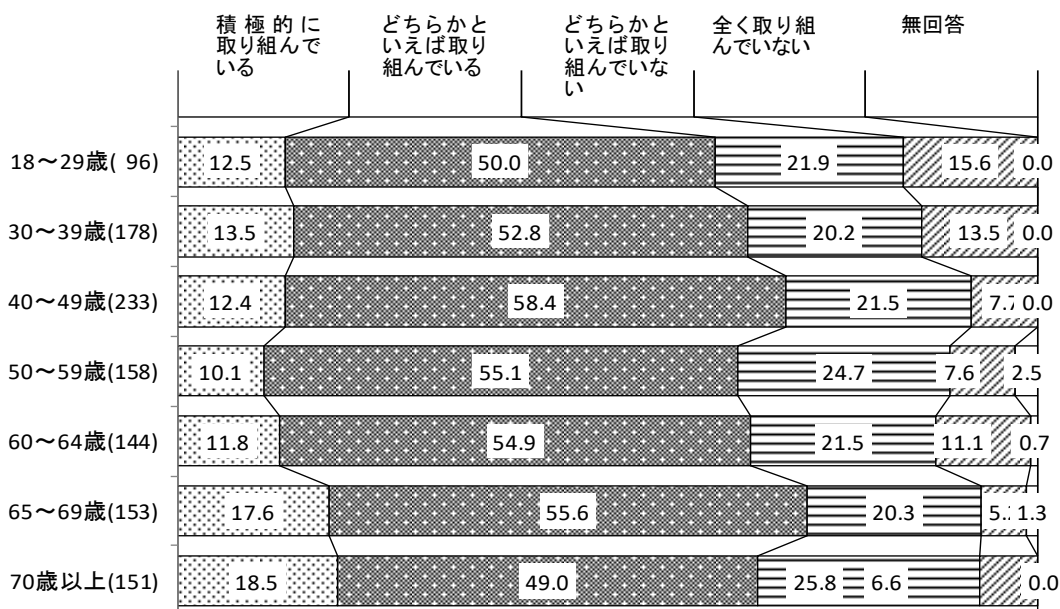
【性別】

- 地球温暖化防止対策に取り組んでいる割合は、男性 63.4%、女性 71.7%と女性の方が高い。



【年齢別】

- 年齢に関係なく、取り組んでいる割合は6割を超えている。

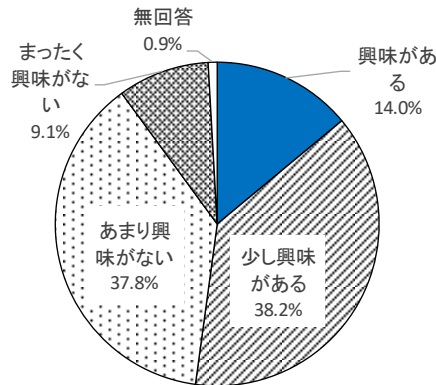


◆郷土意識について

1. 合志市の歴史・伝統文化への関心（問40）

あなたは、合志の歴史・伝統文化に興味がありますか。

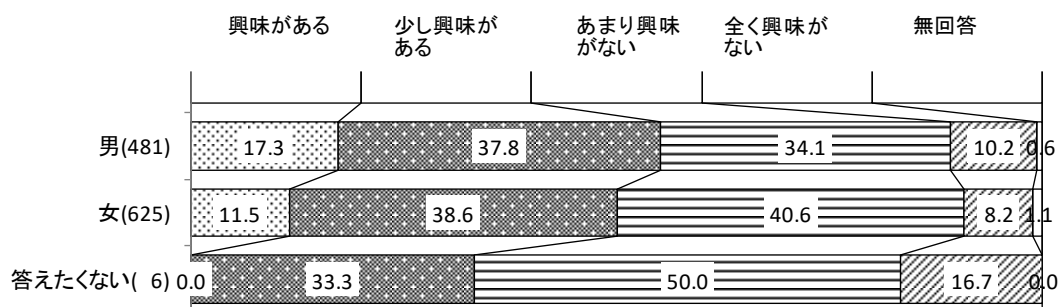
合志の歴史・伝統文化に興味がある人（「興味がある」＋「少し興味がある」）は52.2%となっており、興味がない人（「まったく興味がない」＋「あまり興味がない」）46.9%を若干上回っている。



	平成31年度	
	人	%
1 興味がある	156	14.0
2 少し興味がある	426	38.2
3 あまり興味がない	422	37.8
4 まったく興味がない	102	9.1
5 無回答	10	0.9
合計	1116	100.0

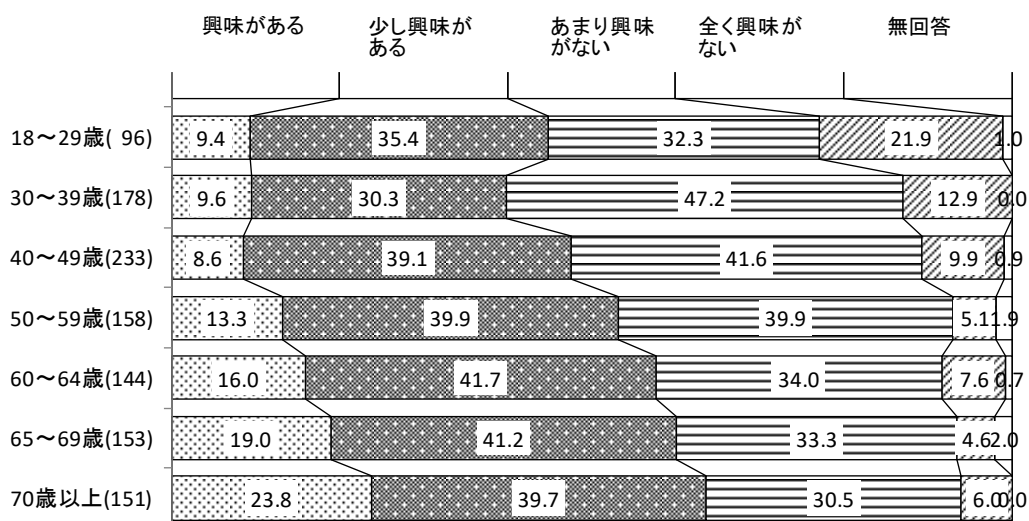
【性別】

●興味があるという割合は男性 55.1%、女性 50.1%とやや男性の方が高い。



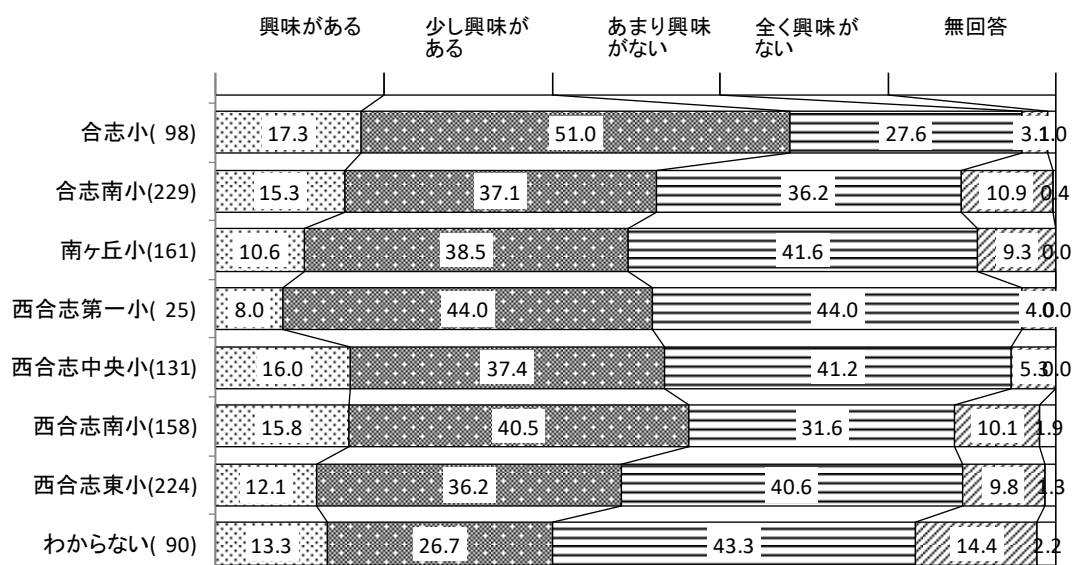
【年齢別】

- 合志の歴史・伝統文化に興味があるという割合は、年齢とともに高くなる傾向が見られ、30代では4割と低いが、50代で半数を超え、70歳以上では63.5%となっている。



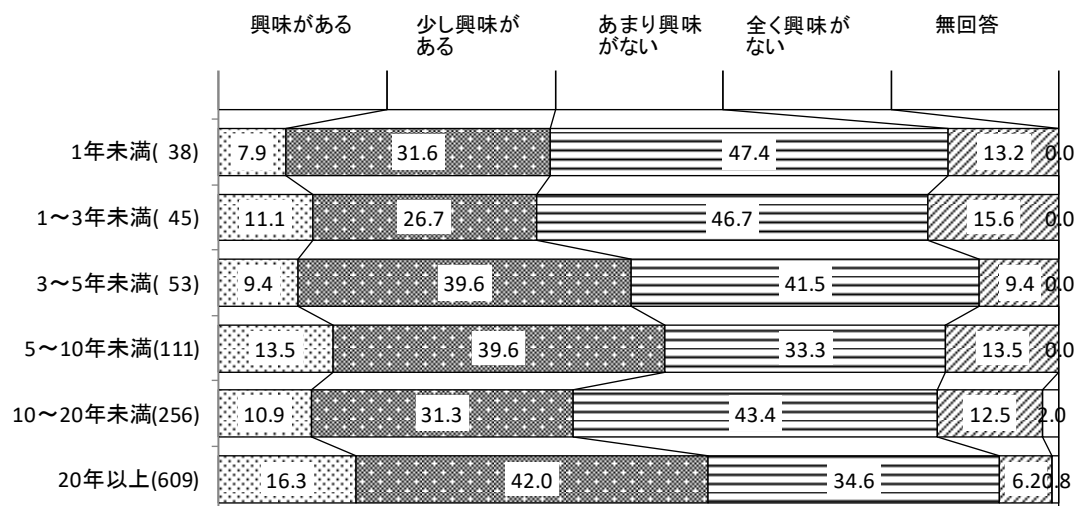
【校別】

- 合志の歴史・伝統文化に興味があるという割合は、最も高い合志小では7割弱を占めている。ほとんどの校区で半数以上が興味があるとしているが、南ヶ丘小、西合志東小ではやや低い傾向となっている。



【居住年数別】

- 居住年数が3年未満では興味がある割合は4割以下だが、3年を境に居住年数が長くなるほど興味があるという割合は高くなる傾向があり、20年以上では58.3%となっている。



2. 郷土としての合志市への意識

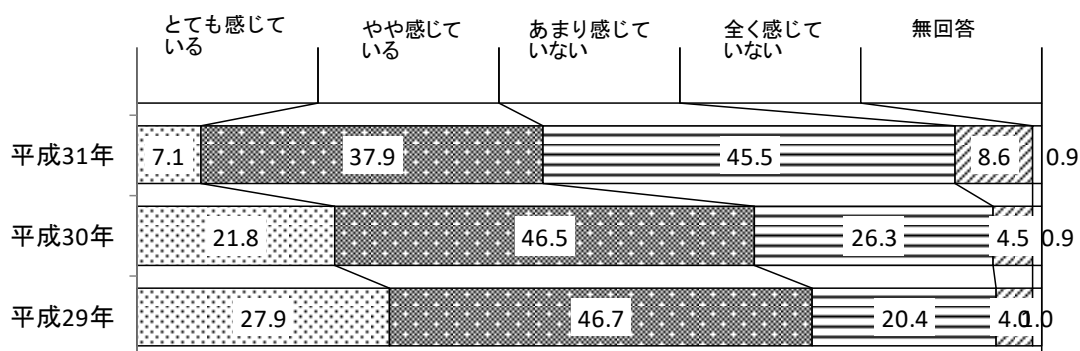
(1) 愛着 (問 4 1)

あなたは、歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じていますか

歴史、伝統文化を等して合志市に愛着を「とても感じている」は7.1%、「やや感じている」は37.9%と愛着を感じている人は45.0%となっている。

「あまり感じていない」は45.5%、「全く感じていない」は8.6%となっている。

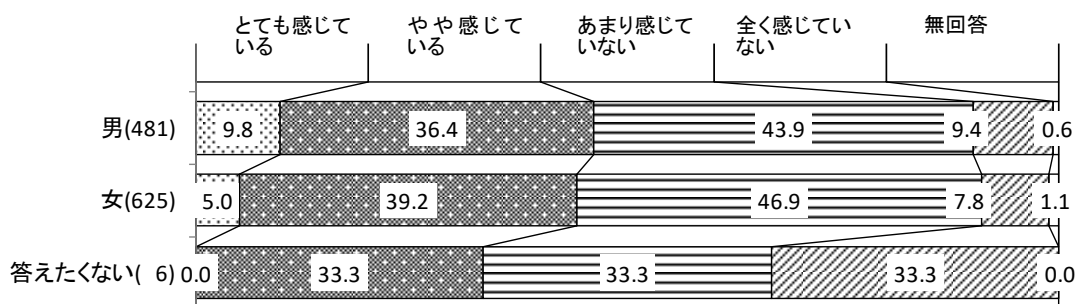
昨年度までは「郷土としての合志市に愛着を感じるか」という設問で今回と若干設問が異なることから、厳密には比較できないが参考までに比較すると、愛着を感じている割合は23.3ポイント減少している。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 とても感じている	79	7.1	204	21.8	317	27.9
2 やや感じている	423	37.9	434	46.5	530	46.7
3 あまり感じていない	508	45.5	246	26.3	232	20.4
4 全く感じていない	96	8.6	42	4.5	45	4.0
5 無回答	10	0.9	8	0.9	11	1.0
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

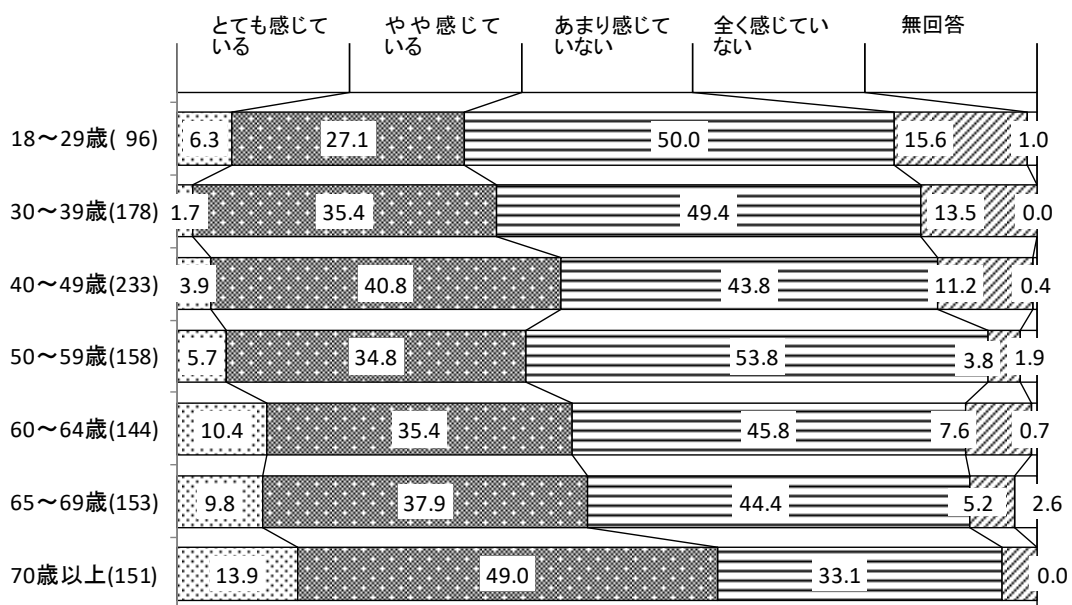
【性別】

●愛着を感じている割合は男性 46.2%、女性 44.2%と男女でほとんど違いはない。



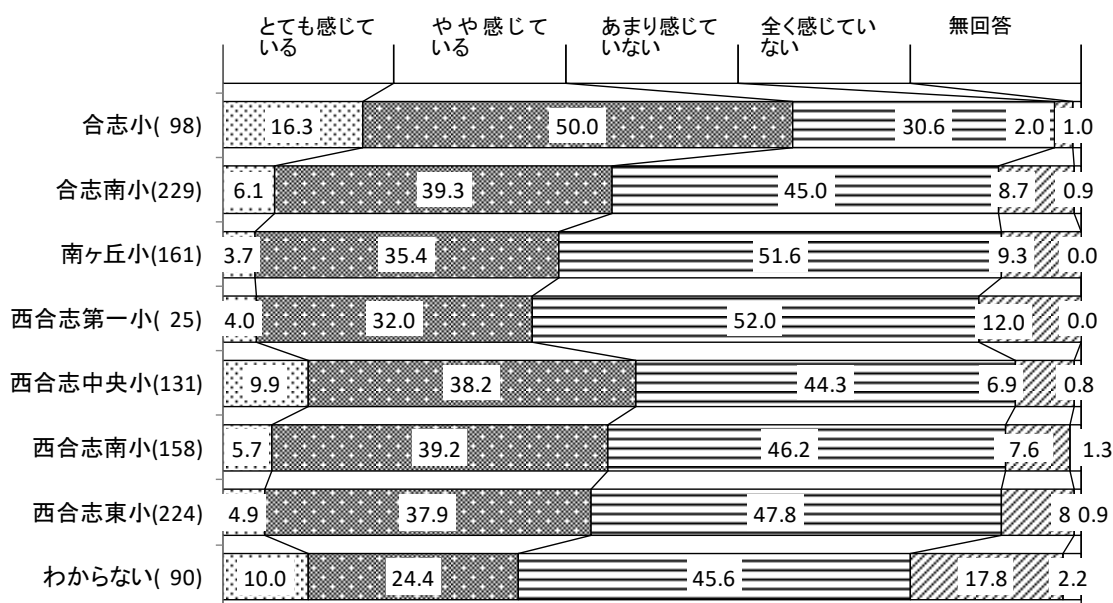
【年齢別】

●年齢が高くなるほど、愛着を感じる割合は高くなる傾向が見られ、30代以下の若い層では3割程度だが、70歳以上では半数を超えている。



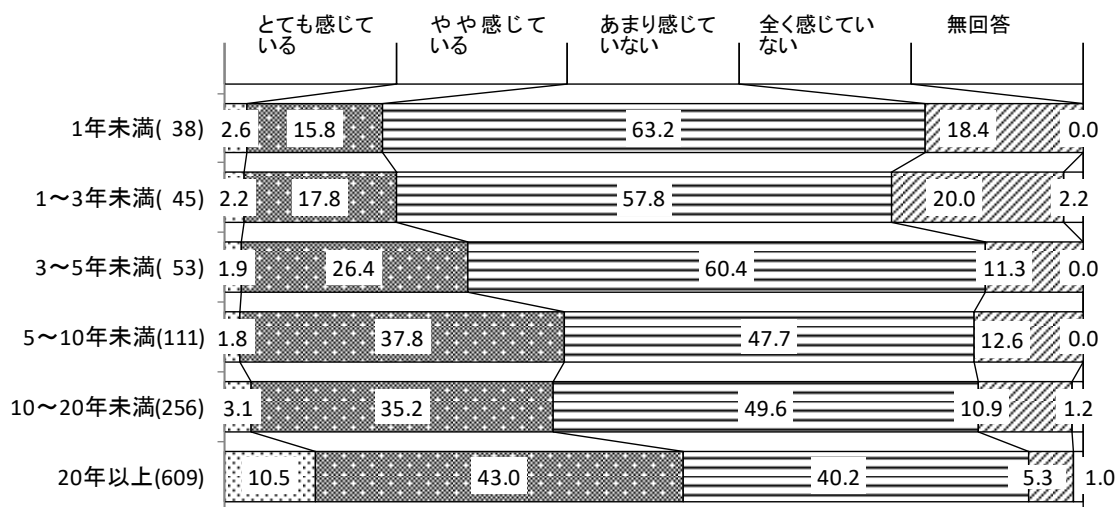
【校区別】

- 合志小では愛着を感じている人が66.3%と他の校区よりも大幅に多い。



【居住年数別】

- 居住年数が長くなるほど、愛着を感じている割合は高くなる傾向があり、3年未満では2割未満だが、20年以上では半数以上となっている。

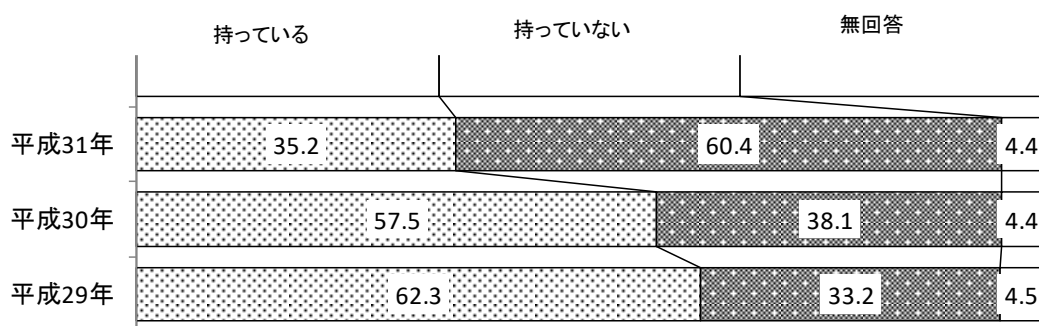


(2) 誇り (問42)

あなたは、歴史、伝統文化を通して合志市に誇りを持っていますか。

歴史、伝統文化を通して合志市に誇りを「持っている」割合は35.2%となっており、「持っていない」が60.4%と上回っている。

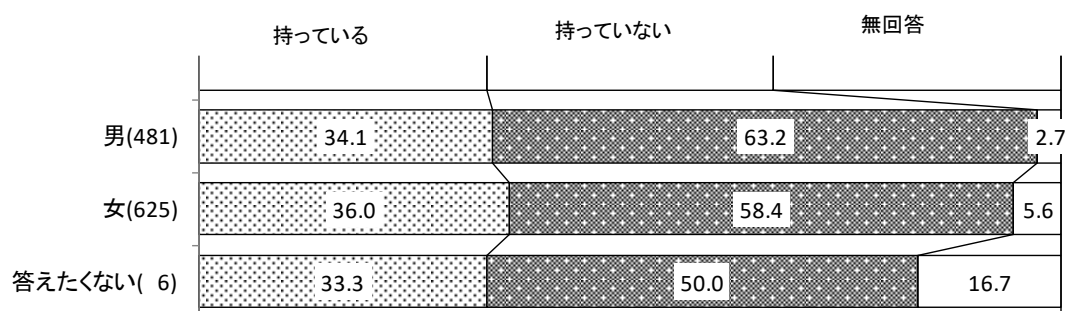
昨年度までは「郷土としての合志市に誇りを持っているか」という設問で今回と若干設問が異なることから、厳密には比較できないが参考までに比較すると、誇りを持っている割合は22.3ポイント減少している。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 持っている	393	35.2	537	57.5	707	62.3
2 持っていない	674	60.4	356	38.1	377	33.2
3 無回答	49	4.4	41	4.4	51	4.5
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

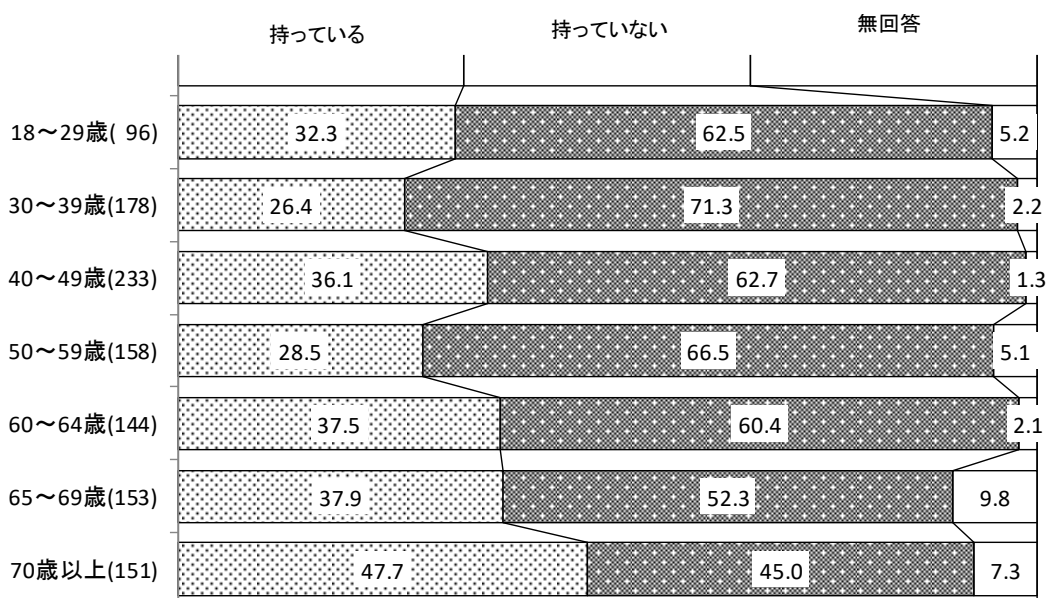
【性別】

● 誇りを持っている割合は男性 34.1%、女性 36.0%と大きな違いはない。



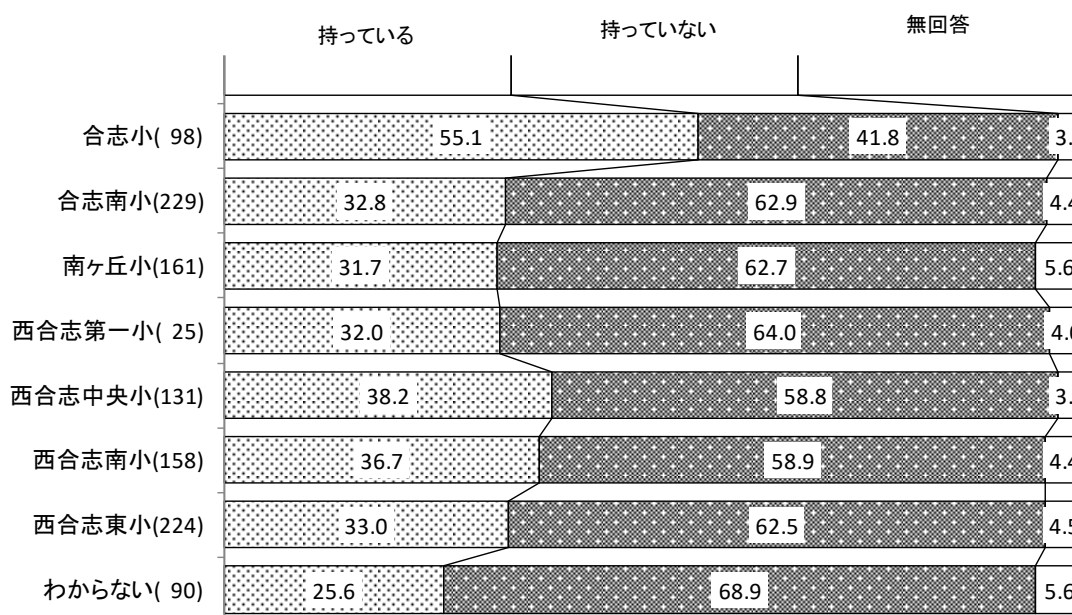
【年齢別】

- 誇りを持っている割合は、70歳以上の高齢者では47.7%とほぼ半数となっているが、他の年代では4割未満となっている。



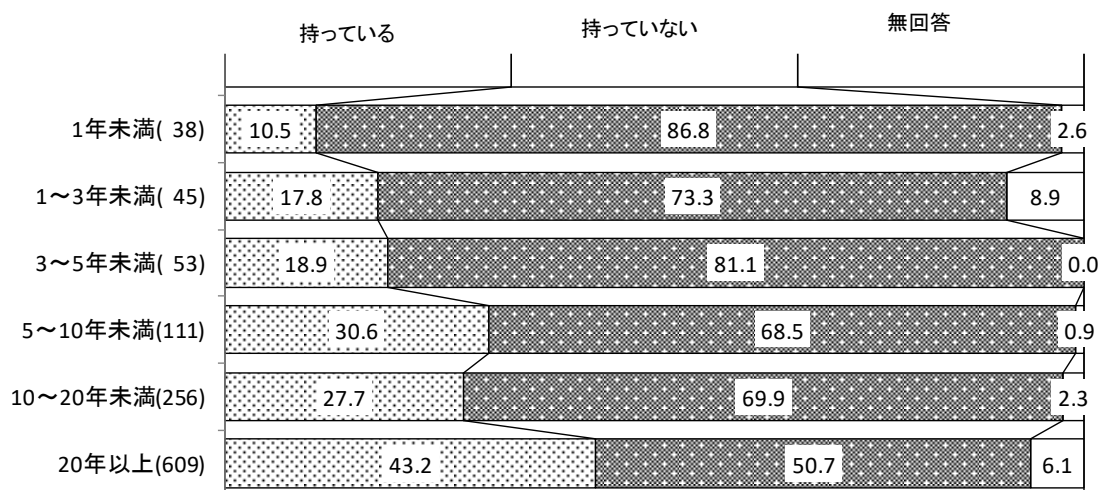
【校區別】

- 合志小では誇りを持っている割合が55.1%と唯一、半数を超えているが、他の校区では3割台にとどまる。



【居住年数別】

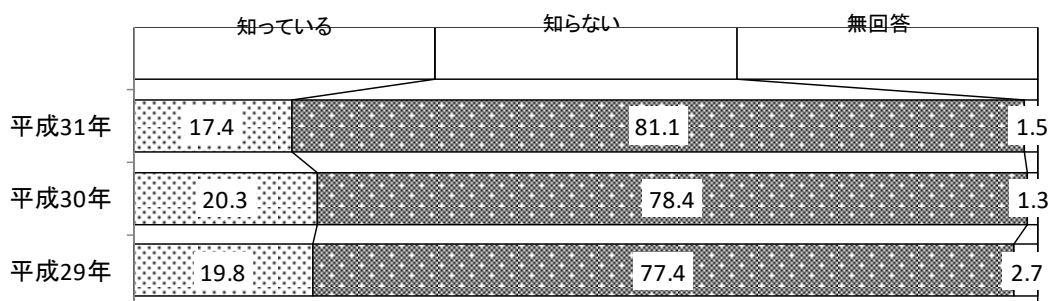
- 居住年数が長くなるほど、誇りを持っている割合は高くなる傾向が見られ、5年未満では2割弱だが、20年未満では3割、20年以上では4割と増えている。



3. 合志市ブランド認証品の認知（問43）

あなたは、合志市のブランド認証品を知っていますか？

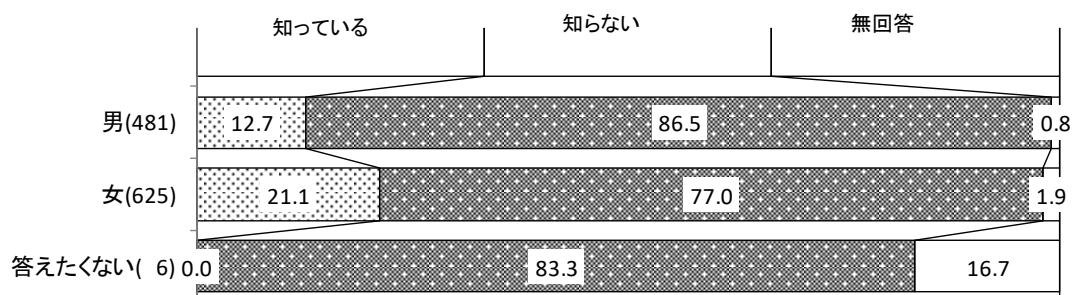
合志市のブランド認証品を「知っている」は17.4%にとどまり、81.1%は「知らない」としている。
昨年度よりやや減少している。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 知っている	194	17.4	190	20.3	225	19.8
2 知らない	905	81.1	732	78.4	879	77.4
3 無回答	17	1.5	12	1.3	31	2.7
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

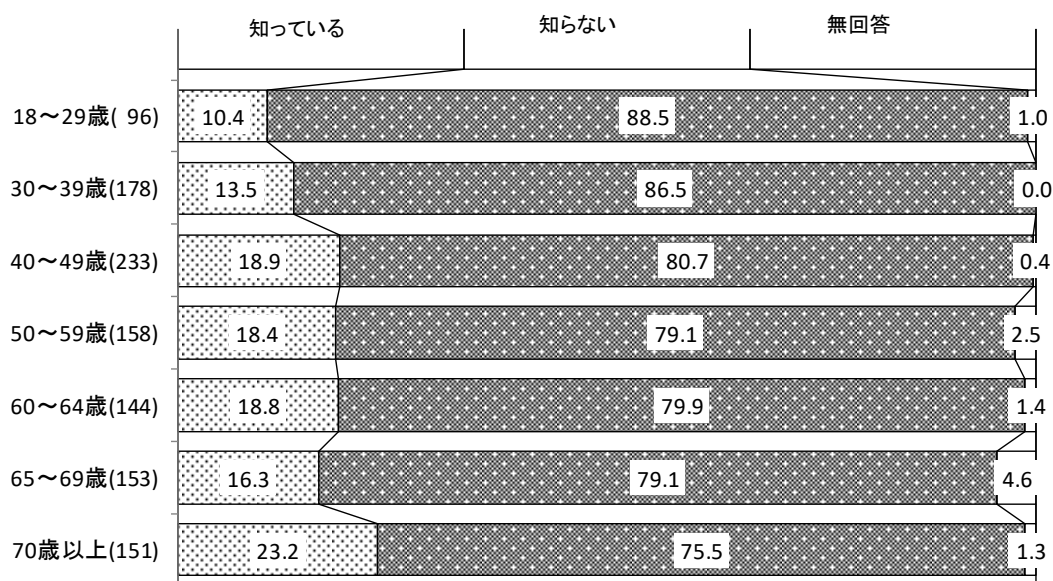
【性別】

- 合志市ブランド認証品を「知っている」割合は、女性が21.1%と男性の12.7%を上回っている。



【年齢別】

- 20代以下の若い年齢層では合志市のブランド認証品を「知っている」割合は10.4%と他の年代に比べ低い。
- 「知っている」割合は70歳以上の高齢者が最も高く23.2%となっている。



◆ 市政について

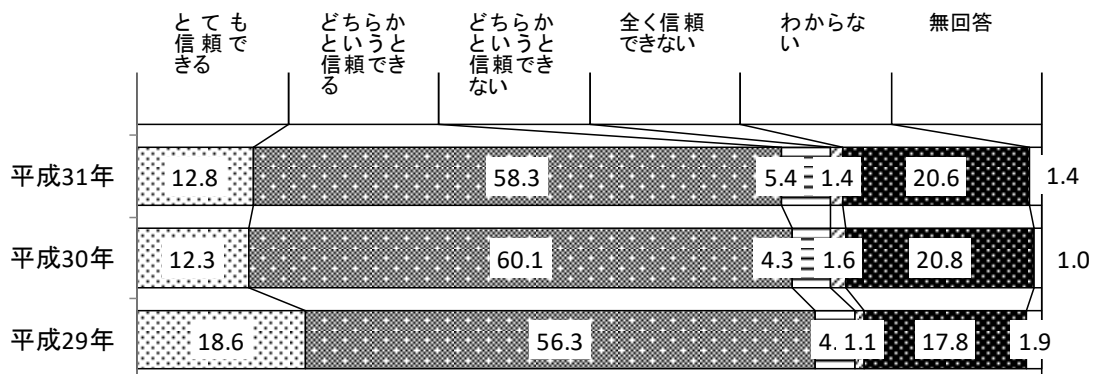
1. 市役所について

(1) 市役所への信頼（問58）

あなたにとって市役所は信頼できる存在ですか？

市役所が信頼できる（「とても信頼できる」+「どちらかという信頼できる」）という人は71.1%と7割を占め、信頼できない（「全く信頼できない」+「どちらかという信頼できない」）は6.8%となっている。

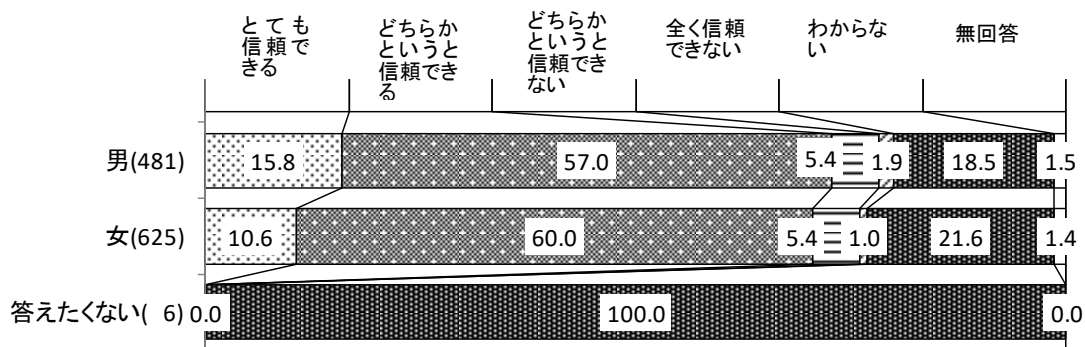
昨年度と比較しても大きな違いは見られない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 とても信頼できる	143	12.8	115	12.3	211	18.6
2 どちらかという信頼できる	651	58.3	561	60.1	639	56.3
3 どちらかという信頼できない	60	5.4	40	4.3	49	4.3
4 全く信頼できない	16	1.4	15	1.6	13	1.1
5 わからない	230	20.6	194	20.8	202	17.8
6 無回答	16	1.4	9	1.0	21	1.9
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

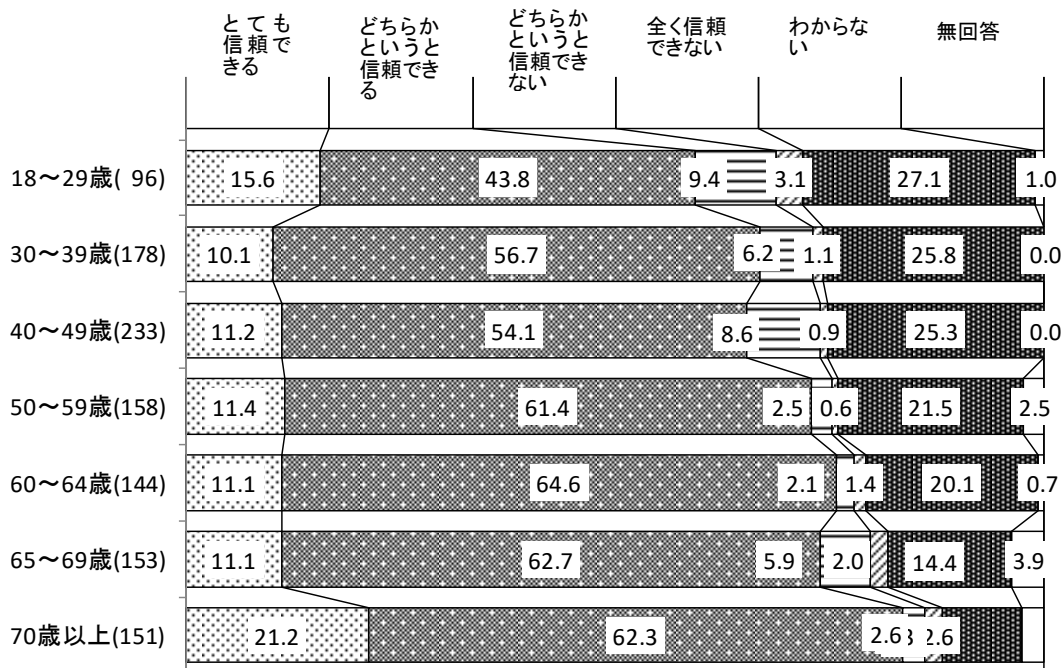
【性別】

●信頼できるという割合は、男性 72.8%、女性 70.6%とほぼ同率となっている。



【年齢別】

●信頼できるという割合は年齢とともに高くなる傾向が見られ、20代以下の若い年齢層では59.4%だが、50歳以上では7割以上となっている。



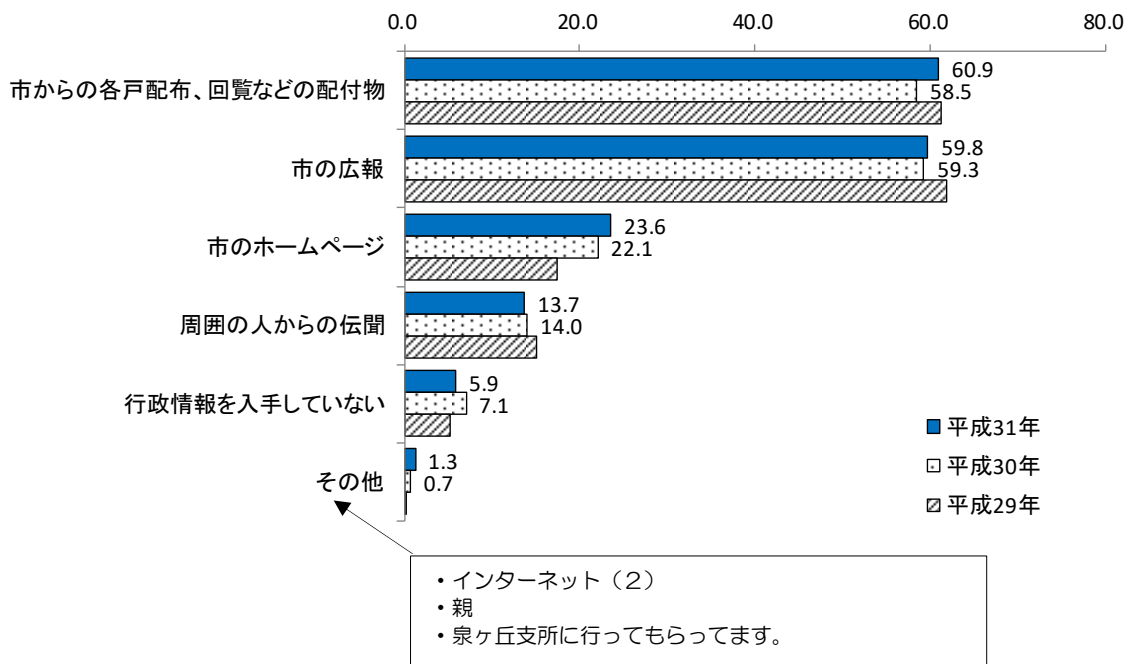
(2) 行政情報の入手 (問59)

あなたは、どのように行政情報を入手していますか？

行政情報の入手については、「行政情報を入手していない」は5.9%となっており、ほとんどの人が情報を入手している。

入手方法としては、「市からの各戸配布、回覧などの配布物」60.9%、「市の広報」59.8%と多く「市のホームページ」が23.6%で続く。

昨年度と比較して上位の項目に違いは見られないが、市のホームページは少しずつではあるが増加している。



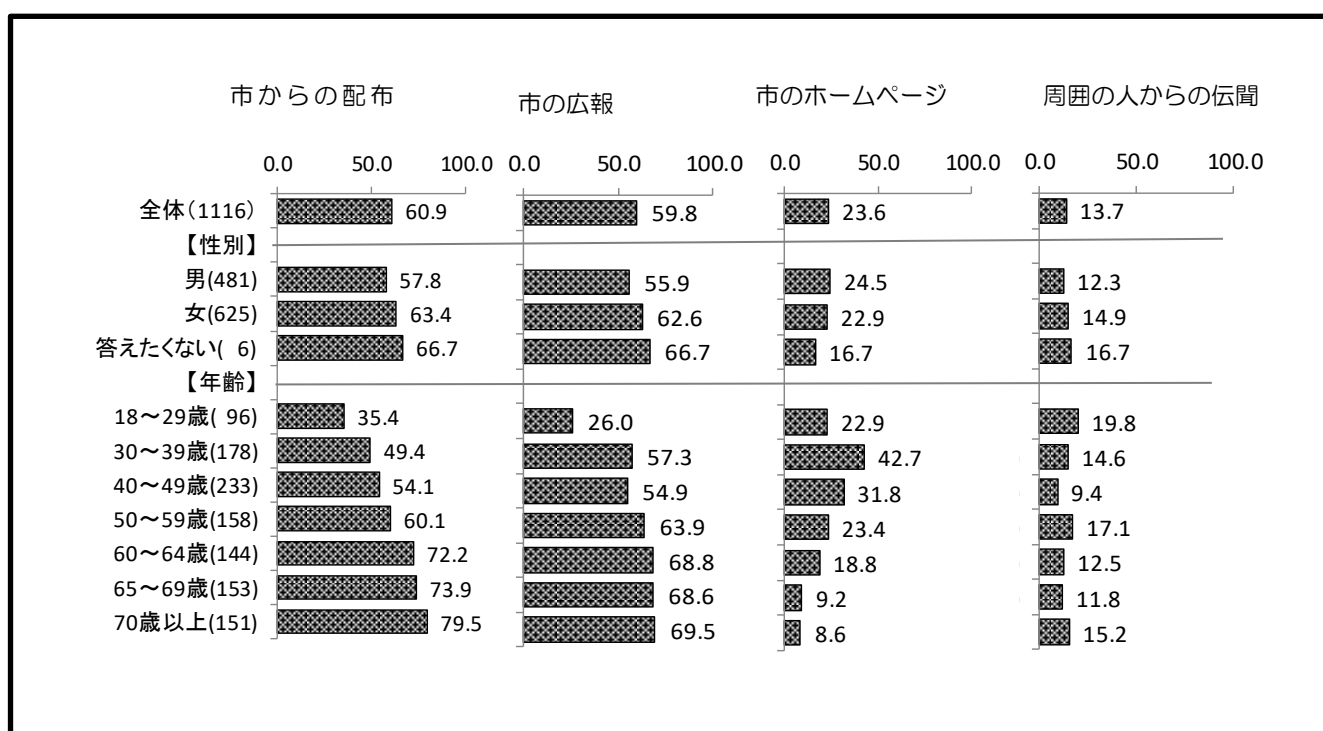
	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	n=1116		n=934		n=135	
	人	%	人	%	人	%
1 市の広報	667	59.8	554	59.3	702	61.9
2 市のホームページ	263	23.6	206	22.1	197	17.4
3 市からの各戸配布、回覧などの配布物	680	60.9	546	58.5	696	61.3
4 周囲の人からの伝聞	153	13.7	131	14.0	172	15.2
5 その他	14	1.3	7	0.7	2	0.2
6 行政情報を入手していない	66	5.9	66	7.1	60	5.3

【性別】

- 「市の広報」「市からの配布物」で入手している割合は、女性では6割以上と男性よりも多い。「市のホームページ」は男性の方が女性よりも若干多くなっている。

【年齢別】

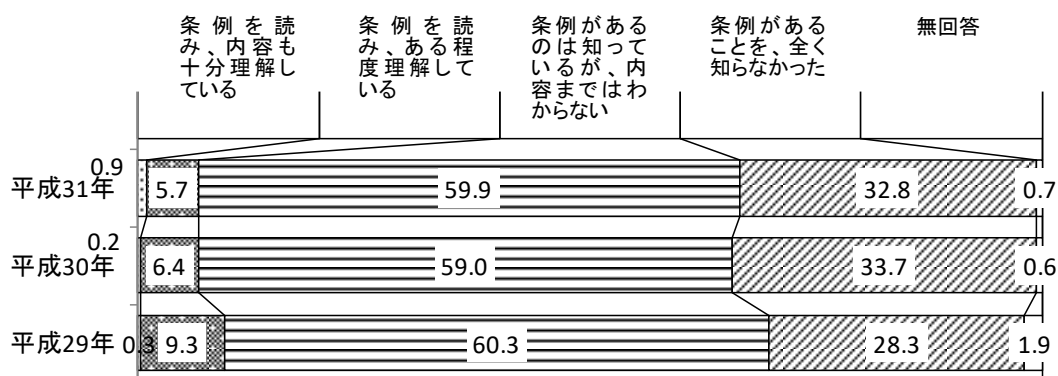
- 「市の広報」「市からの配布物」は年齢が高くなるほど利用している人が多くなる傾向が見られ、50代以上では6割以上が利用している。
- 「市のホームページ」は30代で4割、40代で3割が情報入手で利用しており、昨年度と比較して増えている。



(3) 合志市自治基本条例の認知(問60)

あなたは、合志市自治基本条例を知っていますか？

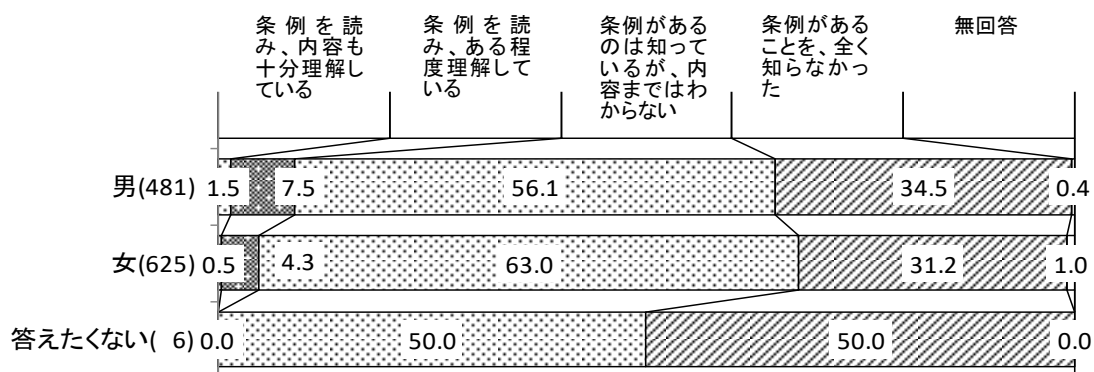
合志市の自治基本条例をほぼ6割強が認知しているものの、内容まで理解している人(「内容も十分理解している」+「ある程度理解している」)は1割に満たず、6割弱は条例の存在は知っていても内容までは理解していない。「条例があることを全く知らなかった」は32.8%となっている。
 昨年度と比較して大きな変化は見られず、認知はあまり進んでいない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 条例を読み、内容も十分理解している	10	0.9	2	0.2	3	0.3
2 条例を読み、ある程度理解している	64	5.7	60	6.4	105	9.3
3 条例があるのは知っているが、内容まではわからない	668	59.9	551	59.0	684	60.3
4 条例があることを、全く知らなかった	366	32.8	315	33.7	321	28.3
5 無回答	8	0.7	6	0.6	22	1.9
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

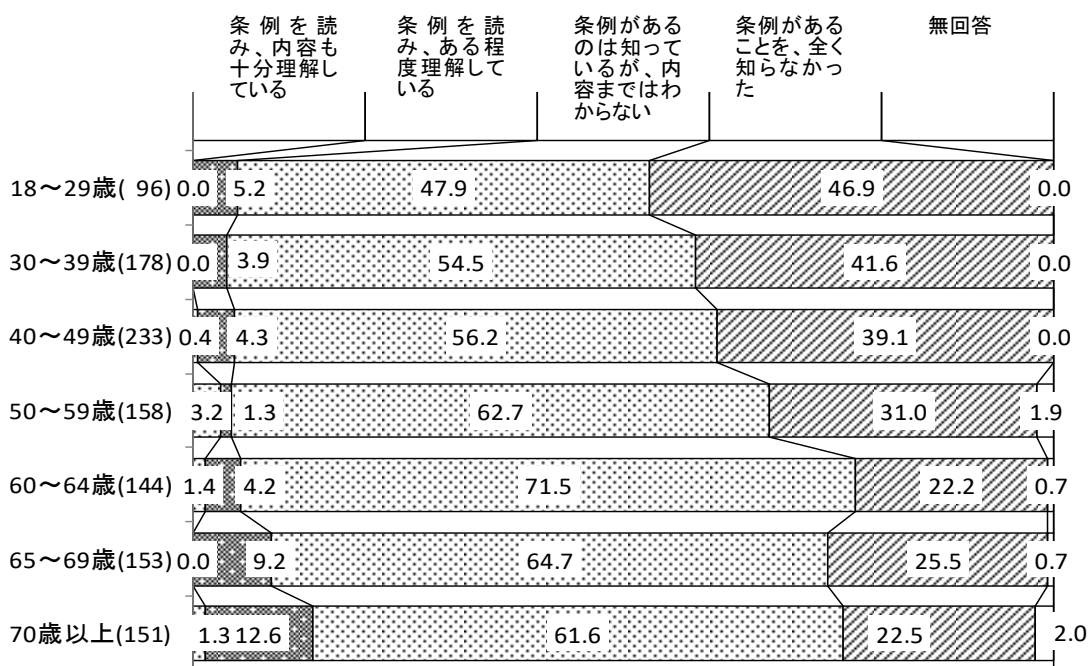
【性別】

- 条例の認知で男女での差はないものの、内容の理解は男性 9.0%に対し女性 4.8%と男性の方がやや進んでいる。



【年齢別】

- 年齢が高くなるほど条例の認知は進む傾向が見られ、認知している割合は 20 代以下の若い年齢層では 53.1%だが、60 歳以上の高齢者では 7 割を超えている。
- しかしながら、内容まで理解している割合は最も高い 70 歳以上でも 13.9%にとどまる。



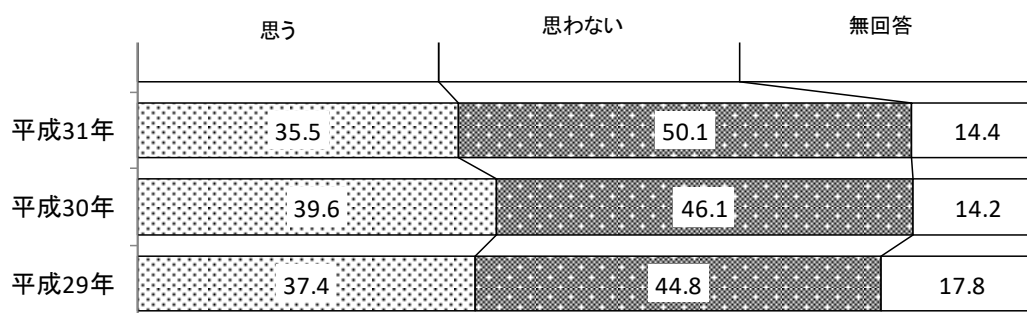
2. 市議会の活動について

(1) 市議会の運営（問61）

あなたは、市議会が市民の意見を反映した運営になっていると思いますか？

市議会が市民の意見を反映した運営になっていると「思う」人は35.5%、「思わない」50.1%と思わないという人が半数となっている。

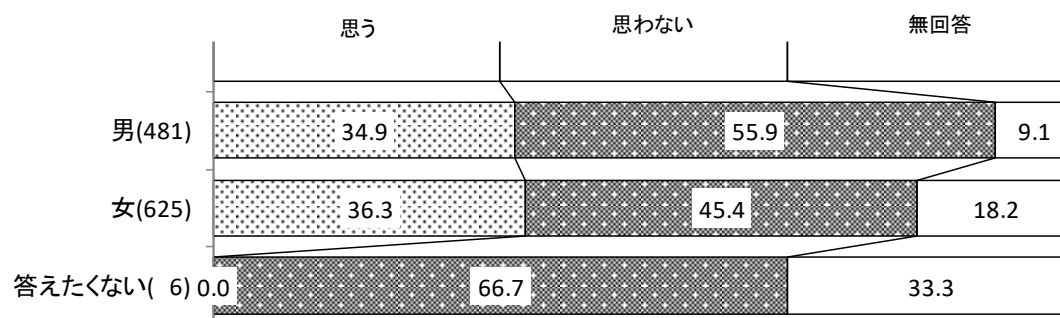
昨年度よりも市民の意見を反映した運営となっていると「思わない」人はやや増加している。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 思う	396	35.5	370	39.6	424	37.4
2 思わない	559	50.1	431	46.1	509	44.8
3 無回答	161	14.4	133	14.2	202	17.8
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

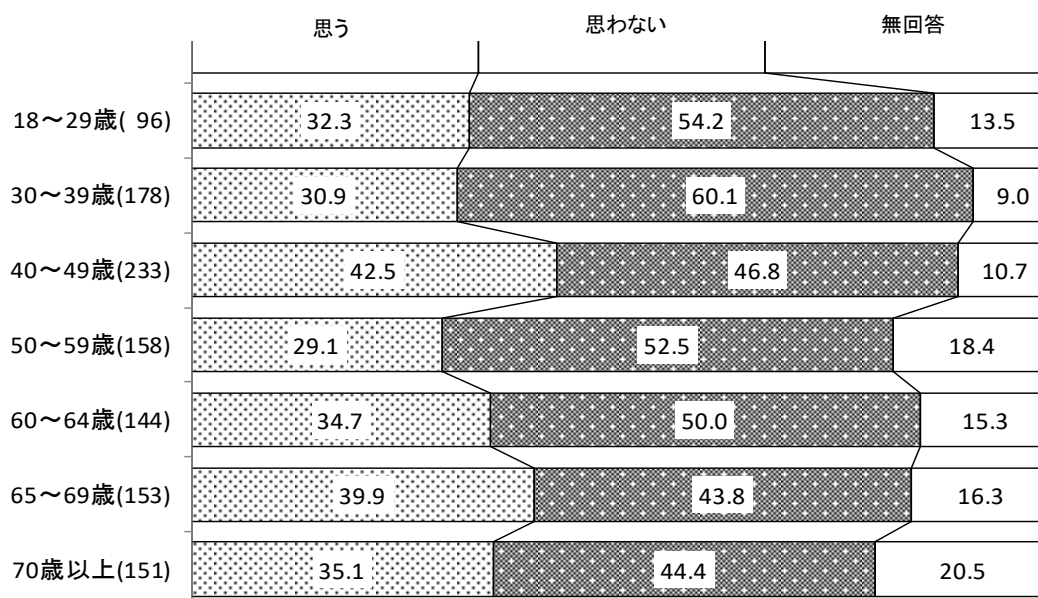
【性別】

- 市議会が市民の意見を反映した運営になっているかについて、男性では「思わない」が55.9%と半数を超える。女性は45.4%と男性よりも10ポイント程度低い。



【年齢別】

- 市民の意見を反映していると「思う」という人は、40代では42.5%と他の年代よりも高い。

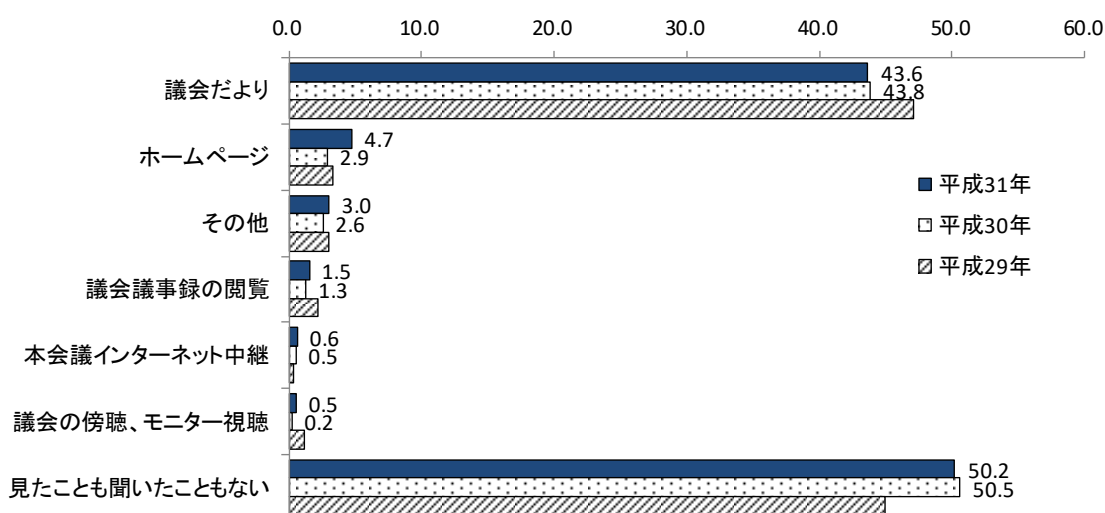


(2) 市議会情報への接触 (問62)

あなたは、過去1年以内に市議会での議論を見た、または聞いたことがありますか？

過去1年以内の市議会での議論について、「見たことも聞いたこともない」という人は50.2%と半数を占めている。何らかの情報と接触している半数の人の具体的な入手方法としては、「議会だよりを読んだ」が43.6%と最も多く、他は5%未満と少ない。

昨年度から大きな変化はないものの、「ホームページで公開されている議会情報を見た」という人は、わずかではあるが増えている。



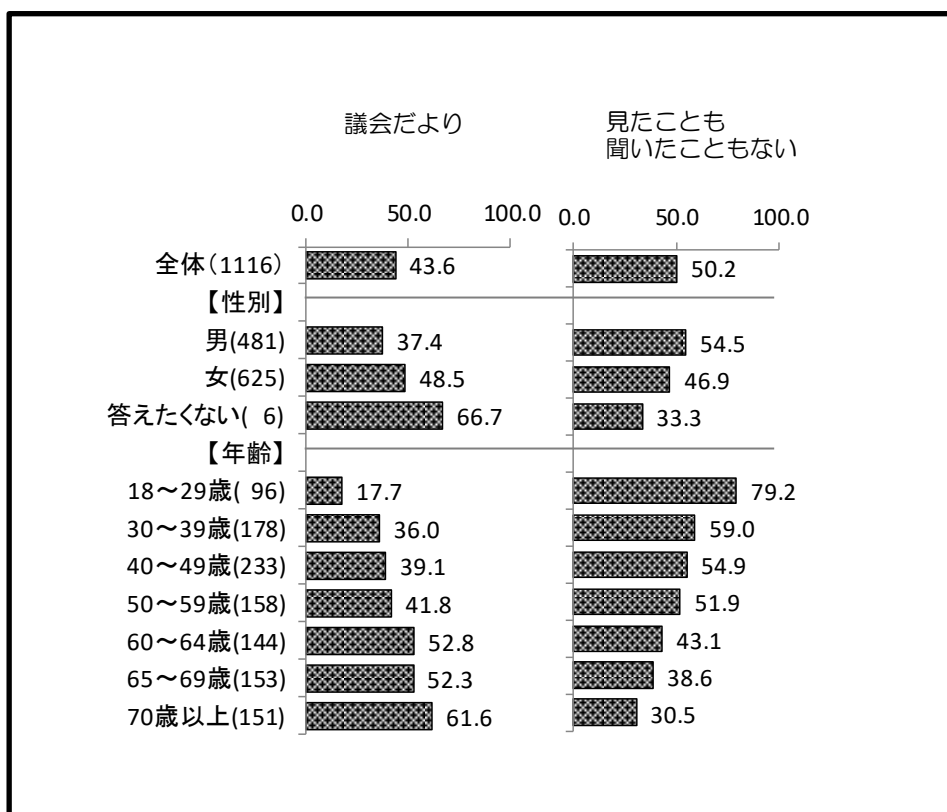
	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	n=1116		n=934		n=1135	
	人	%	人	%	人	%
1 ホームページで公開されている議会情報を見た	53	4.7	27	2.9	37	3.3
2 本会議インターネット中継を見た	7	0.6	5	0.5	4	0.4
3 議会だよりを読んだ	487	43.6	409	43.8	534	47.0
4 議会の傍聴、モニター視聴を行った	6	0.5	2	0.2	13	1.1
5 議会議事録を閲覧した	17	1.5	12	1.3	25	2.2
6 その他(議員や会派が行っている説明会などへの参加等)	34	3.0	24	2.6	34	3.0
7 見たことも聞いたこともない	560	50.2	472	50.5	510	44.9

【性別】

- 市議会の議論について「見たことも聞いたこともない」という割合は、男性 54.5%、女性 46.9%と男性の方が高い。
- 入手手段としての「議会だより」は女性の方が接触している割合が高い傾向が見られる。

【年齢別】

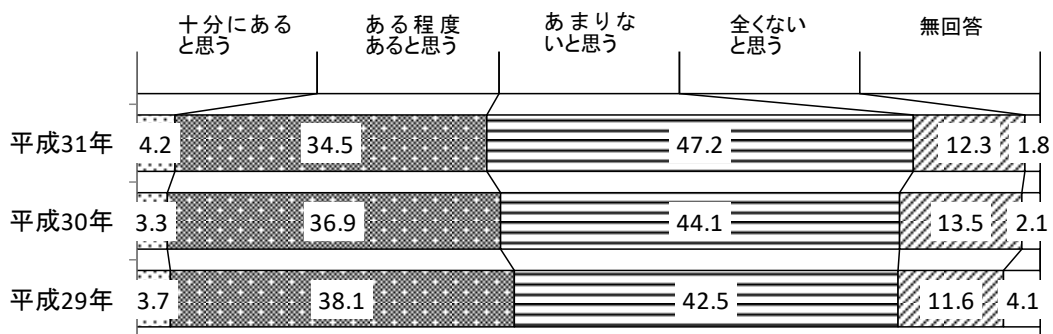
- 年齢別に見ると、市議会での議論を「見たことも聞いたこともない」割合は年齢とともに減る傾向が見られ、20 代以下若い年齢層では 79.2%と高いが、60 代以上では半数以下となっている。
- 「議会だより」で議論を知ったという割合は、年齢とともに高くなり、20 代以下の若い年齢層では 17.7%だが、60 代以上では読んでいる人が半数を超えている。
- これらの傾向は昨年度から全く変わっていない。



(3) 市議会情報を得る機会（問63）

あなたは、市議会情報を得る機会が十分にあると思いますか？

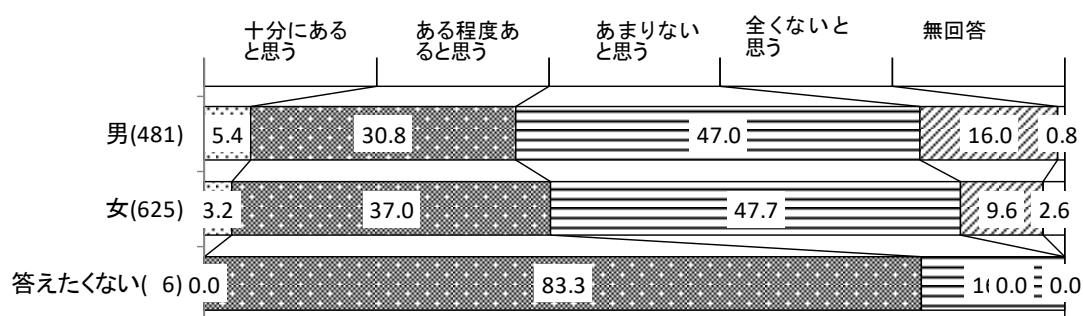
市議会情報を得る機会がある（「十分にある」+「ある程度ある」）という人は38.7%となっており、59.5%と6割が得る機会がない（「全くない」+「あまりない」）としている。
 昨年度と比較して大きな違いは見られない。



	平成31年度		平成30年度		平成29年度	
	人	%	人	%	人	%
1 十分にあると思う	47	4.2	31	3.3	42	3.7
2 ある程度あると思う	385	34.5	345	36.9	432	38.1
3 あまりないと思う	527	47.2	412	44.1	482	42.5
4 全くないと思う	137	12.3	126	13.5	132	11.6
5 無回答	20	1.8	20	2.1	47	4.1
合計	1116	100.0	934	100.0	1135	100.0

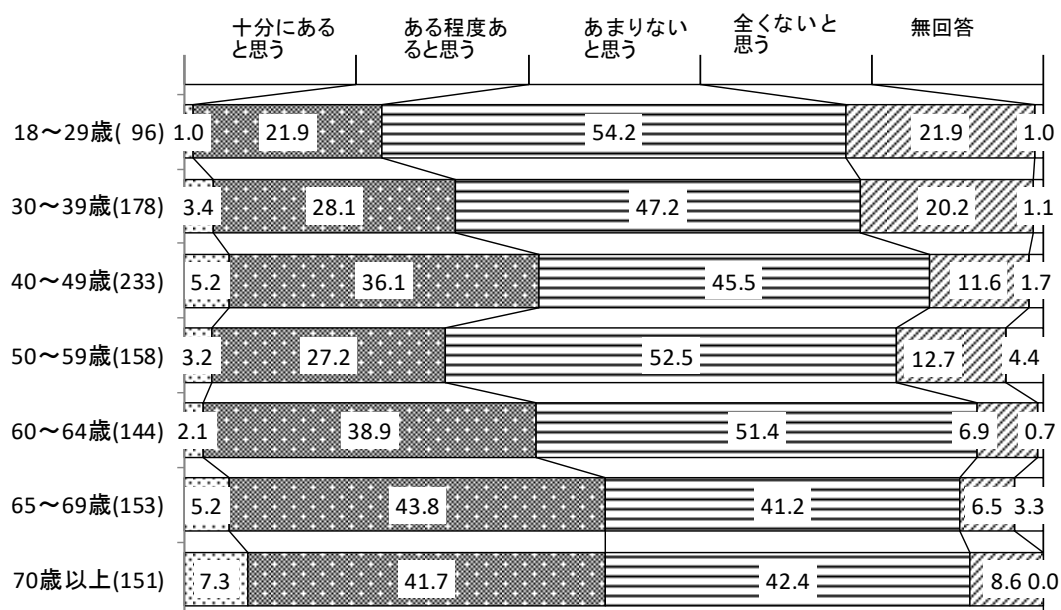
【性別】

- 情報を得る機会があるという割合は、男性 36.2%、女性 40.2%とやや女性が高い。



【年齢別】

- 情報を得る機会があるという割合は、50代でやや低いものの年齢とともに高くなる傾向が見られ、20代以下の若い年齢層では22.9%だが、40歳以上では4割を超え、65歳以上の高齢者では半数近くとなる。
- 情報を得る機会がないという割合は30代以下の若い年齢層では7割前後と高い。



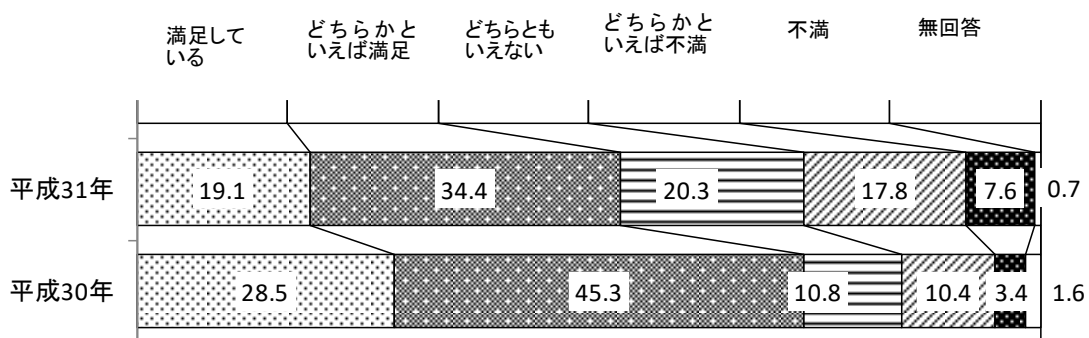
◆買い物事情と土地利用について

1. 買い物利便性について（問64）

合志市において普段の買い物の利便性について満足していますか。

普段の買い物の利便性について満足している（「満足している」+「どちらかといえば満足」）割合は53.5%と半数を超えるものの、不満という人（「不満」+「どちらかといえば不満」）も25.4%見られた。

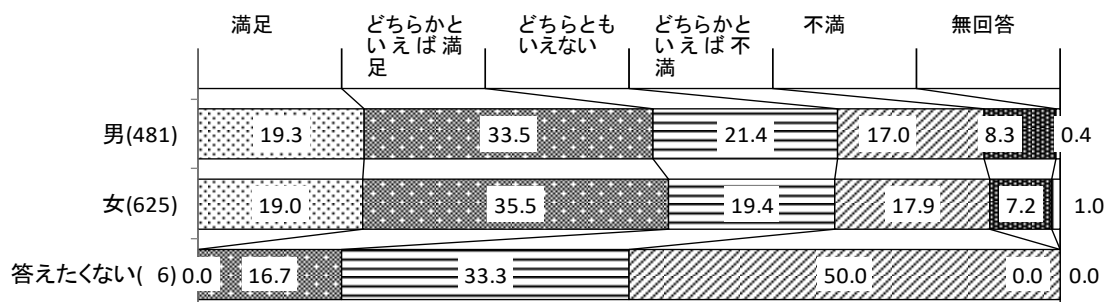
昨年度と比較すると、満足している人は20ポイント減少、不満は12ポイント増加しており、買い物の利便性の満足度は低下している。



	平成31年度		平成30年度	
	人	%	人	%
1 満足している	213	19.1	266	28.5
2 どちらかといえば満足	384	34.4	423	45.3
3 どちらともいえない	227	20.3	101	10.8
4 どちらかといえば不満	199	17.8	97	10.4
5 不満	85	7.6	32	3.4
6 無回答	8	0.7	15	1.6
合計	1116	100.0	934	100.0

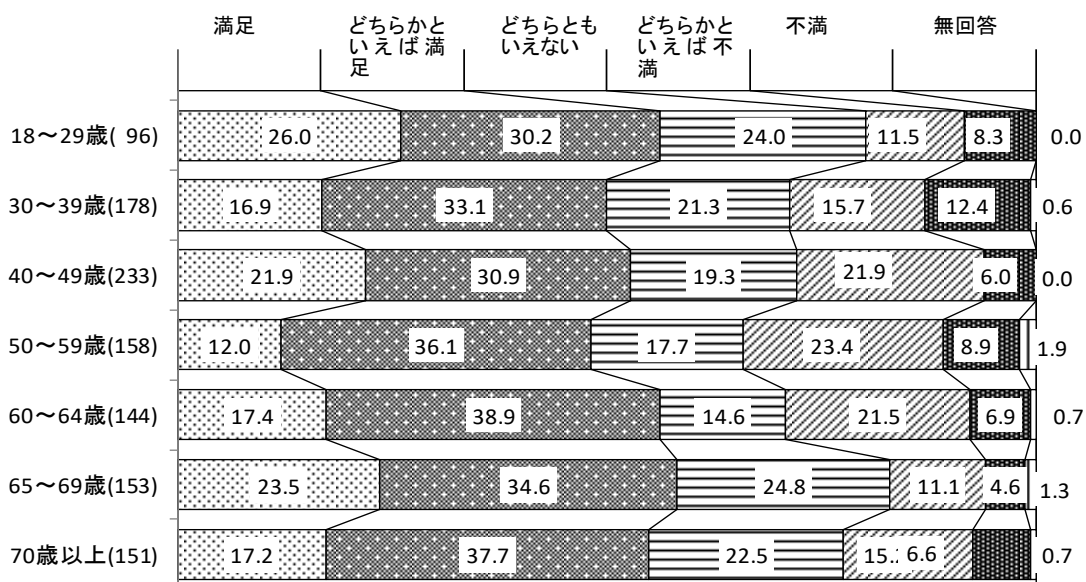
【性別】

●満足している割合は男女で大きな違いは見られない。



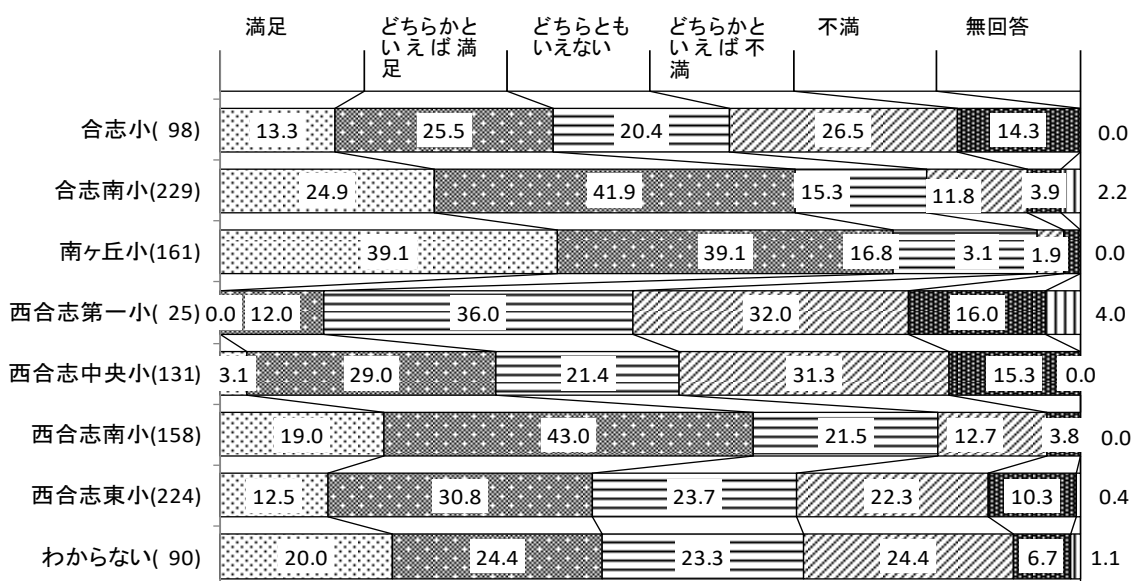
【年齢別】

- 満足している割合はいずれの年代でも 50%前後となっているが、30代～60代前半では不満という人も3割程度見られる。



【校區別】

- 南ヶ丘小では満足している割合が78.2%と最も高い。また合志南小、西合志南小でも6割以上が満足している。
- 一方で西合志中央小、合志小、西合志第一小では不満という割合が4割以上と高い。

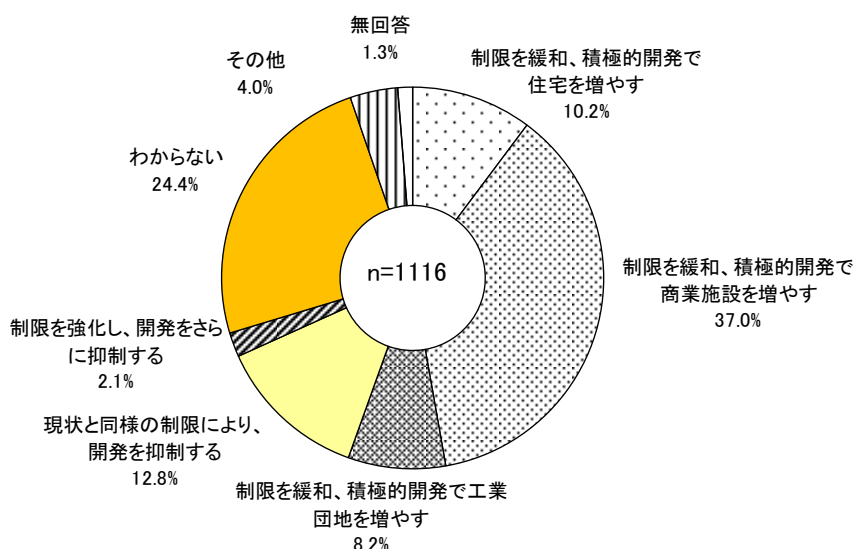


2. 土地利用について（問65）

合志市は、市の南側にある市街化区域を除いて、北側の市街化調整区域では原則的に土地利用が制限されています。今後の本市の発展に必要な対策はどのようなものと思われますか。

今後の市の発展のための土地利用対策については、「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設を増やす」が37.0%と最も多く、次いで「現状と同様の制限により、開発を抑制する」12.8%、「制限を緩和し、開発を誘導し、住宅を増やす」10.2%と続く。

現状の制限を緩和すべきと考える人（「制限を緩和し、住宅を増やす」＋「制限を緩和し、商業施設を増やす」＋「制限を緩和し工業団地を増やす」）は55.4%と半数を超え、現状の制限を維持すべき12.8%、制限を強化すべき2.1%となっている。なお、わからないのは24.4%となっている。



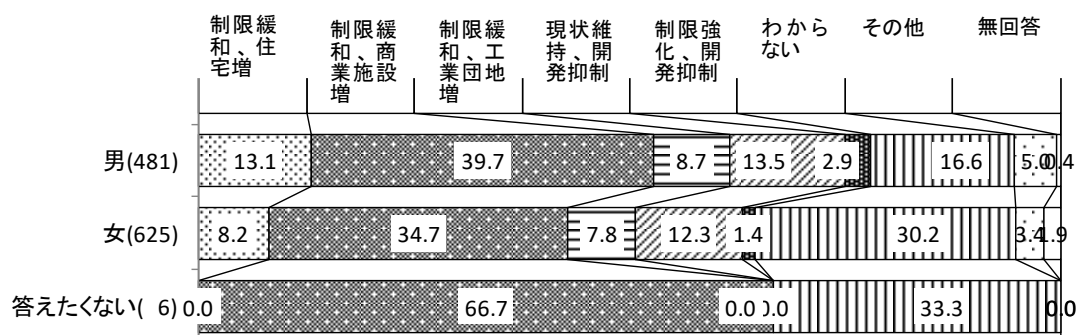
	平成31年度	
	人	%
1 制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、住宅を増やす	114	10.2
2 制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設を増やす	413	37.0
3 制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、工業団地を増やす	92	8.2
4 現状と同様の制限により、開発を抑制する	143	12.8
5 制限を強化し、開発をさらに抑制する	23	2.1
6 わからない	272	24.4
7 その他	45	4.0
8 無回答	14	1.3
合計	1116	100.0

<その他>

- 制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、住宅、商業施設を増やす。(3)
- 制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、住宅、商業施設、工業団地を増やす。(4)
- 制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設、工業団地を増やす。
- 制限を緩和し道路整備をしてほしい。
- 若い方が行きたくなくなる施設がない。
- ライフライン(道路等)を整備して制限を緩和する
- 抑制する必要はないが現状のままでいいと思う。
- 要件的には調整区域はないも同じ。
- 南側の市街地は著しく人口増加が見込まれるために教育施設を増やす。しかし一方で北側の農地も保持、充実を図る。
- 南側の市街化区域を活性化してほしい。
- まず道路、スクランブル交差点になり住宅地内をショートカットし、飛ばして走行し車の量が増え、危なくなり、生活しにくくなった。子ども達、弱者にとっては危険がいっぱい！！スクランブル交差点→ある議員の意見により設置され、迷惑している人が多数。車の量が多くなり渋滞し所により迷惑。
- 文化施設、飲食店
- 広い道路を作る。朝、夕の渋滞緩和。合志南小校区の住宅が増加しているのに、周辺に大きい道路がないため、事故等のリスクも増えるのでは？住宅や施設を増やした後も道路は作れるのですか？
- バランスの用意開発と公共施設や交通の整備が必要だと思う
- 発展＝開発が本当にいいのかわからない。開発した部分をいかに活用していくかが発展につながると思う。
- 農業の土地を残しつつ、北側の方にも可能な土地には商業施設を入れる。市が発展していくのはいいけど、農業の土地がコンクリートになっていくのを見るのは少しかなしい気持ちを持ってしまう。けど北側は買い物不便。北側にコスモスや100均を作ってほしい。(農地も生かせるところは生かしつつ、不便な地域は最低限でもいいから、商業施設を。
- 農業との共生が必要
- 農家の人と仲良くしながら住宅開発が進むとよいと思います。
- 道路の拡張が第一
- 道路整備
- そもそもどこかわからない
- 積極的にすれば交通渋滞がますますはげしくなる。
- 制限緩和し、道路整備を強化
- 住宅や商業施設を増やせばよいというものではないし、抑制するものでもない。今あるものも、きちんとメンテナンスし使い勝手をさらによくして行ってほしい。建物にしても施設や道路も。
- 住宅地をこれ以上増やさない。
- 住宅が増える一方で空室も多くなっている。道路の拡張、整備をして欲しい。
- 住宅、商業施設、工業団地の前に道路状況の改善が第一です。通勤時間帯のいなか道のラッシュを知りませんか？
- 市としての機能を持った開発を
- 市外からの利用を増やすため、大きな野球場など集客施設を増やしてはどうか。
- 市街化、団地化といろいろとやる上で、生きやすい市を目指してほしいです。
- コンセプトをしっかり持って展開する
- 子どもが増えるように生産年齢の人を増やすことを考えて。納税者が増えないと疲弊していく。
- 交通量道路の整備したうえでの開発
- 公式の試合で使える野球場を作り、県外の客、球団も増やす。音楽ライブもできるような作りにする。(合志アリーナ)
- 公共交通機関の充実
- 現状を見たこともないのに判断できない。
- 開発しても利用する人がいないのではないか。公費を投入する意味があるか不明。
- 家は増えるが道路が不便。菊陽と武蔵丘(熊本市)と協力して渋滞緩和に努めてほしい。
- ある程度の緩和は必要だが、積極的に開発する必要はない

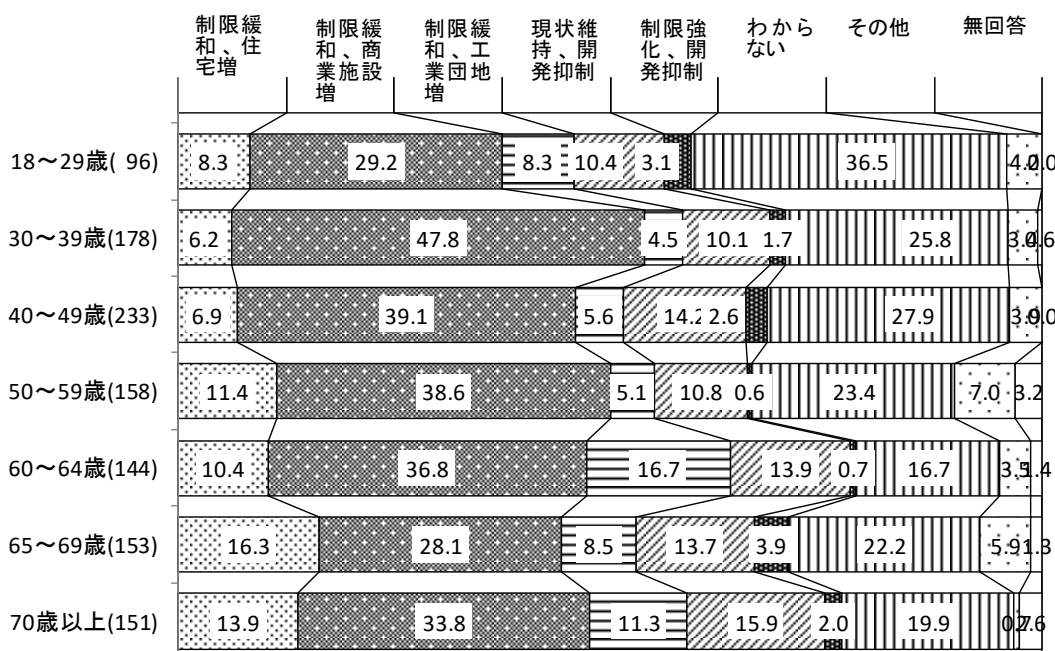
【性別】

- 男女ともに「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設を増やす」が最も多い。
- 制限を緩和すべきと考える人は、男性 61.5%、女性 50.7%と男性の方が多い。制限の強化や現状の制限を維持すべきと考える人に男女で違いは見られない。女性では3割が「わからない」としている。



【年齢別】

- 30代～60代前半では4割前後が「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設を増やす」をあげている。
- 制限を緩和すべきと考える人は20代以下の若い層を除いて、いずれの年代でも半数を超えている。



【校区】

- いずれの校区でも「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設を増やす」が最も多い。特に西合志中央小では半数があげている。
- 合志小、南ヶ丘小では「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、住宅を増やす」も他の校区より多くあげられている。
- 合志小、西合志中央小、西合志東小では「現状と同様の制限により、開発を抑制する」も他校区よりやや多くあげられている。
- なお、合志南小、南ヶ丘小、西合志南小では「わからない」という割合も3割と他よりも高い。

